

建築教育ニュース

2019.12

東日本建築教育研究会

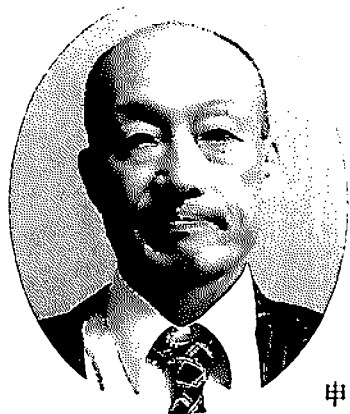
目 次

1. 会長挨拶	会長 平田 誠一	1
2. 平成30年度 事業及び会計（決算）報告	事務局	2
3. 令和元年度 事業計画・会計（予算）報告	事務局	3
4. 令和元年度 役員一覧	事務局	4
5. 令和元年度 総会・研究協議会報告	北海道大会事務局 南 一臣（室岡工）	6
6. 令和元年度 夏期研究協議会報告	構造分科会 小澤 誠志（総合工科）	8
7. 製図分科会 活動報告	主査 吉城 守（大宮工）	10
8. 計画分科会 活動報告	主査 江原 聖直（春日部工）	12
9. 法規分科会 活動報告	主査 大木 英生（藤沢工科）	14
10. 構造分科会 活動報告	主査 小澤 誠志（総合工科）	16
11. 施工分科会 活動報告	主査 林 祐介（市川工）	18
12. 製図コンクール運営委員会 審査結果報告	委員長 卜部寿々子（市川工）	20
13. 資格取得推進委員会 活動報告	委員長 石井 直樹（高崎工）	26
14. 秋田県の建築教育の現状	理事 菅原 伸一（秋田工）	28
15. 群馬県の建築教育の現状	理事 石井 直樹（高崎工）	30
16. 富山県の建築教育の現状	理事 井村 笑子（高岡工芸） 藤井 和弥（富山工）	32
17. 愛知県の建築教育の現状	理事 富山 正士（佐織工）	35
18. 事務局報告	事務局長 中江田澄江（総合工科）	38
19. 編集後記		40

■東日本建築教育研究会ホームページ

<http://www.hnkkk.org/>

1. 会長挨拶



東京都立総合工科高等学校
校長 平田 誠 一

はじめに、東日本建築教育研究会が、来年度創立70周年を迎えるにあたり、その長い歴史の中で、今日まで工業高校で建築を学ぶ生徒の指導に最前線で奮闘されている先生方に敬意を表するとともに、本研究会の活動にご理解、ご協力を賜りました関係の皆様方に心よりお礼申し上げます。

さて、私は、平成29年度第67回東日本建築教育研究会愛知大会の総会において、会長としてご承認いただき、今年3年目の任期を迎えました。本年度も役員の皆様とともに力を合わせ、本研究会の充実・発展に取り組む所存です。そして、この夏に開催された北海道大会も、大会実行委員長の伊藤正法校長先生をはじめ、関係者の皆様のご尽力により、「DESIGN」のテーマの下に、充実した素晴らしい内容となりました。さらに、ご多用のところ、文部科学省、北海道教育委員会、公益社団法人全国工業高等学校長協会、北海道建設業協会の方々にご来賓として、ご臨席を賜りました。誠にありがとうございました。

今さら申し上げるまでもありませんが、工業高校の役割は、地域産業に密着に関わることができる人材を育成していくことにあります。平成34年度次期学習指導要領の実施に向けて、各校では教育課程の編成に先駆け、工業高校で育成すべき、新しい時代に必要とされる資質・能力をあぶり出し、それらをどのようにルーブリックのなかに落とし込んでいくか、というカリキュラム・マネジメントの動きが加速されてきた頃かと存じます。我々、建築教育に関わる者も、この高大接続改革にともなう戦後最大の高等学校教育改革の流れを見極めながら、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という視点に立った建築教育の重要性を十二分に発信し、各校が作成するグラウンドデザインのなかで、明確な立ち位置を示していかなければならないと考えます。建築教育における、この高校改革の中核をなす推進者が、会員の皆様方一人一人であることを忘れないでいただきたいと思います。そして、このような時こそ、本研究会における研究協議や情報交換が極めて重要です。来年度は2020オリンピック・パラリンピック東京大会を控え、本研究会70周年の節目を迎えるにあたり、あらためて本研究会の活動を充実させ、工業教育の振興に一層努めていくためにも、会員の皆様のこれまで以上のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

2. 平成30年度 事業報告

1. 総会・研究協議会

期 日： 平成30年8月2日（木）～8月3日（金）
開 場： ホテルメトロポリタン長野
長野県長野市南石堂町1346
TEL 026-291-7000

- 1) 開会式
- 2) 講演：文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部
教育課程調査官
日本パーステック協会
- 3) 総 会
- 4) 研究協議会Ⅰ（分科会）
- 5) 教育懇談会
- 6) 研究協議会Ⅱ（研究発表等）
- 7) 講 評
- 8) 閉会式
- 9) 研究視察

2. 夏期研究協議会（法規分科会主催）

内 容 「建築物省エネ法・消防法を中心とした建築設備の実習」
期 日 平成30年8月9日（木）～8月10日（金）
会 場 中央工学校、ダイキン ソリューションプラザ「フーハ東京」

3. 理事会・主査会・委員会等の開催

会の構成

- 1) 理 事 会 役員・都道府県理事で総会開催日に年1回開催
- 2) 常任理事会 役員・常任理事で年2回開催予定
- 3) 主 査 会 役員のうち、会長・副会長・主査・委員長・事務局長・会計で
年6回開催予定
- 4) 各種委員会 分科会・委員会の長の召集により開催
- 5) 刊 行 物
(ア) 建築教育ニュース2018年号（400部、11月発行予定）
(イ) 会員名簿（300部、7月発行予定）
(ウ) 参考書（基礎問題集・構造図集・法規学習ノート、共に実教出版発行）

4. コンクール・作品展示等

- 1) 第37回全国高校生建築製図コンクール
(ア) 募集期間 平成30年11月5日（月）～11月9日（金）

5. 平成30年度生徒表彰

申込み 平成31年1月末日 要項は建築ニュース発送時に同封

6. その他 関係諸団体との連絡調整

3. 令和元年度 事業計画

1. 総会・研究協議会

期 日： 令和元年8月1日（木）～8月2日（金）
開 場： ホテルライフオーブ札幌
札幌市中央区南10条西1丁目
TEL 011-521-5211

- 1) 開会式
- 2) 総 会
- 3) 講演Ⅰ：学校法人北海道科学大学理事長
- 4) 研究協議Ⅰ（分科会）
- 5) 教育懇談会
- 6) 講演Ⅱ：文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官
- 7) 研究協議Ⅱ（研究発表等）
- 8) 講 評
- 9) 閉会式
- 10) 研究視察

2. 夏期研究協議会（構造分科会主催）

内 容 「高強度コンクリートの破壊試験」、現場見学
期 日 令和元年8月8日（木）～8月9日（金）
会 場 浅野工学専門学校、春日・後楽園駅前地区第一種市街地再開発工事現場、
東京都中央卸売市場（豊洲市場）

3. 理事会・主査会・委員会等の開催

会の構成

- 1) 理 事 会 役員・都道府県理事で総会開催日に年1回開催
- 2) 常任理事会 役員・常任理事で年2回開催予定
- 3) 主 査 会 役員のうち、会長・副会長・主査・委員長・事務局長・会計で
年6回開催予定
- 4) 各種委員会 分科会・委員会の長の召集により開催
- 5) 刊 行 物
(ア) 建築教育ニュース2019年号（400部、11月発行予定）
(イ) 会員名簿（300部、7月発行予定）
(ウ) 参考書（基礎問題集・構造図集・法規学習ノート、共に実教出版発行）

4. コンクール・作品展示等

- 1) 第38回全国高校生建築製図コンクール
(ア) 募集期間 令和元年11月11日（月）～11月15日（金）

5. 令和元年度生徒表彰

申込み 令和2年1月末日 要項は建築ニュース発送時に同封

6. その他 関係諸団体との連絡調整

4. 令和元年度 役員名簿

1. 会 長 平 田 誠 一 東京都立総合工科高等学校長

2. 副 会 長 伊 藤 正 法 北海道室岡工業高等学校長
 黒 澤 光 弘 秋田県立秋田工業高等学校長
 米 原 良 慈 東京都立総合工科高等学校
 根 岸 俊 行 群馬県立館林商工高等学校

3. 事務局長 中江田 澄 江 東京都立総合工科高等学校

4. 会 計 米 川 誠 次 東京都立総合工科高等学校

5. 常 任 理 事 【※会長・副会長・主査・委員長・事務局長・会計は兼任】

南 一 臣 (室岡工)	佐 藤 裕 二 (東京・葛西工)
菊 田 武 則 (東北ブロック・十和田工)	小 林 勝 広 (東京・田無工)
久 保 芳 男 (北信越ブロック・羽咋工)	遠 藤 悟 (東京・蔵前工)
内 藤 久 義 (東海ブロック・島田工)	白 井 尚 美 (東京・蔵前工定)
田 畑 剛 (東海ブロック・島田工)	柳 澤 力 也 (東京・墨田工)
黒 崎 利 之 (関東ブロック・宇都宮工)	高 橋 康 代 (東京・墨田工定)
菅 谷 太 郎 (埼玉・川越工)	高 野 秀 章 (東京・日工大駒場)
黒 崎 利 之 (栃木・宇都宮工)	増 田 泰 良 (東京・東工大付科技)
石 井 直 樹 (群馬・高崎工)	南 一 臣 (大会事務局・室岡工)
中 田 秀 樹 (山梨・甲府工)	菅 原 伸 一 (次回大会事務局・秋田工)
生田目 淳 子 (茨城・土浦工)	
大 木 英 生 (神奈川・藤沢工科)	

6. 都道県理事

北海道 南 一 臣 (室岡工)	北海道 高 島 浩 (旭川工)
青 森 菊 田 武 則 (十和田工)	岩 手 堺 田 誠 之 (盛岡工)
宮 城 萱 沼 俊 一 (白石工)	秋 田 菅 原 伸 一 (秋田工)
山 形 松 田 宏 美 (新庄神室産業)	福 島 吉 村 守 (福島工)
栃 木 黒 崎 利 之 (宇都宮工)	群 馬 石 井 直 樹 (高崎工)
埼 玉 池 田 健 司 (川越工)	茨 城 生田目 淳 子 (土浦工)
東 京 小 林 勝 広 (田無工)	東 京 佐 藤 裕 二 (葛西工)
神奈川 大 木 英 生 (藤沢工科)	千 葉 高 橋 亮 (市川工)
新 潟 中 村 和 史 (新津工)	山 梨 菅 沼 雄 介 (甲府工定)
富 山 井 村 笑 子 (高岡工芸)	長 野 川 俣 晃 晃 (長野工)
福 井 赤 星 公 司 (敦賀工)	石 川 久 保 芳 男 (羽咋工)
愛 知 富 山 正 士 (佐織工)	静 岡 内 藤 久 義 (島田工)
岐 阜 児 玉 英 哉 (大垣工)	静 岡 田 畑 剛 (島田工)

7. 会計監査 笹 崎 ひろみ 東京都立墨田工業高等学校
 逸 見 淳 子 茨城県立つくば工科高等学校

8. 分科会委員

1) 製図分科会：主査 吉 城 守 (大宮工)

☆中曾根 康 (前橋工定)	小 島 聡 (市川工定)	笹 崎 ひろみ (墨田工)
村 井 和 幸 (新潟県央工)	谷 内 昭 彦 (金沢市立工業)	菊 池 貞 介 (市川工)
阿久津 真 依 (墨田工)		

2) 計画分科会：主査 江 原 聖 直 (春日部工)

☆田 中 和 夫 (田無工)	岩 上 成 輝 (川崎総合科学)	田 村 雄 志 (川崎総合科学)
荒 木 宏 道 (館林商工)	門 馬 紀 介 (葛西工)	畠 山 弘 幸 (石巻工)
中江田 澄 江 (総合工科)	林 田 千 鶴 (橘)	

3) 法規分科会：主査 大 木 英 生 (藤沢工科)

☆岩 瀬 政 利 (東総工) 根 岸 俊 行 (館林商工) 米 原 良 慈 (総合工科)
菅 沼 俊 一 (白石工) 広 田 喜 文 (武生工) 笹 原 玲 香 (科学技術)
田 村 信 義 (安房拓心) 石 井 嘉 隆 (市川工) 佐 藤 裕 二 (葛西工)
森 嶋 真 一 (甲府工) 谷 康 博 (武生工)

4) 構造分科会：主査 小 澤 誠 志 (総合工科)

☆菅 谷 太 郎 (川越工) 榎 本 吉 晃 (安田学園) 沢 野 茂 (蔵前工)
高 橋 康 代 (墨田工定) 松 原 昌 忠 (田無工) 鈴 木 隆 (蔵前工定)
高 橋 裕 (小田原城北工) 遠 藤 啓 史 (市川工) 益 野 英 昌 (仙台工)
黒 澤 昇 (高崎工) 星 野 志 保 (甲府工定) 菅 沼 英 雄 介 (甲府工定)
袖 野 貴 義 (羽咋工) 岩 崎 あす佳 (橘) 出 川 匠 (総合工科)
佐々木 英 治 (神奈川県教)

5) 施工分科会：主査 林 祐 介 (市川工)

☆渡 邊 恵 一 (小山北桜) 吉 村 公 利 (大宮工) 内 藤 好 洋 (大宮工定)
高 旨 清 仁 (京葉工) 首 代 昌 紀 (東総工) 永 田 浩 (桐生工)
浜 辺 恵 一 (磯子工)

9. 編集委員会：委員長 遠 藤 啓 史 (市川工)

☆田 村 信 義 (安房拓心)

10. 製図コンクール運営委員会：委員長 ト 部 寿々子 (市川工)

☆佐 藤 康 雄 (神奈川県) 高 野 史 晃 (真岡工)
(製図分科会) 中曾根 康 (前橋工定) 村 井 和 幸 (新潟県央工) 笹 崎 ひろみ (墨田工)
(計画分科会) 荒 木 宏 道 (館林商工) 畠 山 弘 幸 (石巻工) 田 村 雄 志 (川崎総合科学)
(法規分科会) 佐 藤 裕 二 (葛西工) 菅 沼 俊 一 (白石工) 森 嶋 真 一 (甲府工)
(構造分科会) 菅 谷 太 郎 (川越工) 松 原 昌 忠 (田無工)
(施工分科会) 吉 村 公 利 (大宮工) 首 代 昌 紀 (東総工)

11. 資格取得推進委員会：委員長 石 井 直 樹 (前橋工)

☆泉 隆 一 (大宮工) 小 林 克 哉 (蔵前工) 五十嵐 忠 彦 (宇都宮工)
遠 藤 啓 史 (市川工)

12. 広報委員会：委員長 高 橋 裕 (小田原城北工)

☆菅 谷 太 郎 (川越工) 榎 本 吉 晃 (安田学園)

13. 顧問及び参与

1) 顧問

北 島 敬 己 (第16代会長) 原 田 昭 (第18代会長) 岡 田 義 治 (元委員長)
佐 藤 清 親 (第20代会長) 能 智 功 (第21代会長) 佐 藤 則 夫 (第22代会長)
村 田 敬 一 (元前橋工校長) 平 林 博 (第23代会長) 豊 田 善 敬 (第24代会長)
小 林 晶 代 (第25代会長) 三 神 幸 男 (第26代会長)

2) 参与

土 田 裕 康 (元副会長) 大 間 俊 彦 (元編集委員長) 大久保 健 (元副会長)
小 沢 宏 (元副会長) 鈴 木 隆 (元事務局長)

14. 全国高等学校建築教育連絡協議会

会 長 平 田 誠 一 東京都立総合工科高等学校 (校長)
副 会 長 伊 藤 正 法 北海道室蘭工業高等学校 (校長)
副 会 長 黒 澤 光 弘 秋田県立秋田工業高等学校 (校長)
事務局長 鴨 川 寛 之 東京都立総合工科高等学校
会 計 中江田 澄 江 東京都立総合工科高等学校
理 事 米 原 良 慈 東京都立総合工科高等学校

5. 令和元年度 総会・研究協議会報告

北海道大会事務局長
北海道室蘭工業高等学校
南 一 臣

1. はじめに

第69回総会・研究協議会北海道大会は室蘭工業高校を事務局として、道内の建築系学科を設置している札幌工業高校、函館工業高校、旭川工業高校、北見工業高校、釧路工業高校、帯広工業高校、苫小牧工業高校、札幌国際情報高校、小樽未来創造高校、名寄産業高校、留萌高校一同が大会運営を行った。

2. 大会テーマ

「DESIGN」

3. 期日・会場・参加人数

期日：令和元年度8月1日（木）～2日（金）

会場：ホテルライフォート札幌

参加人数：193名

（内訳 会員138名、賛助会員40名、来賓15名）

4. 大会の概要

第1日目 8月1日（木）

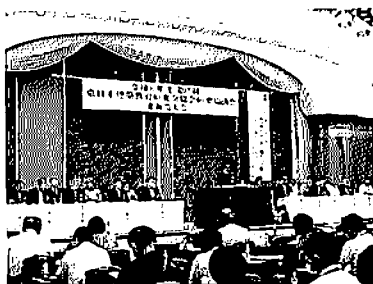
○開会式（13:00～13:30）

＜来賓＞※講師等除く

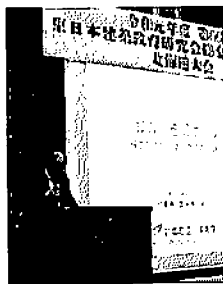
北海道教育庁学校教育局高校教育課	課長	藤村	誠
〃 キャリア教育指導グループ	主査	八丁	正樹
（公社）全国工業高等学校長協会	理事	猪股	康行
（一社）北海道建設業協会	労務部長	井之口	淳治
北海道建築士事務所協会 広報委員会委員長		藤原	昇悟
（公社）日本建築積算協会 北海道支部長		富田	克己
青山建築デザイン・英療事務専門学校教務部		山本	崇仁
藤川建設株式会社 代表取締役社長		藤川	康司
丸彦渡辺建設(株) 人事グループ課長		岩浪	治郎

○総会（13:40～14:30）

平成30年度事業報告・会計決算報告・会計監査報告が行われ、承認された。役員改選の後、令和元年度事業計画と予算案が提案され承認された。続けて各分科会・委員会より活動報告がなされた。



開会式



講演 I

○講演 I（14:40～15:15）

「知の扉を開けよう」

北海道科学大学 理事長 苦米地 司

苦米地理事長ご自身の教育活動をもとに、社会の変化が著しい現代においてどのような生徒の育成が必要なのか講演していただいた。

コンピュータの飛躍的な進化により、わずか数十年で社会が大きく変化している。その中で「自分自身で未来を開く人間」を育てるには「科学的志向」を身につけ、柔軟な発想ができることが必要である。そのためには、生徒に「日々の観察」を習慣付け、そこから「何を学ぶのか」を考えてもらうことで「知の扉」を開くことができると考えている。

講演の中で「学びの目的」がきちんと生徒に伝えられているかをもう一度考え直し、教師が熱を持って指導をしていって欲しいというエールもいただいた。

○研究協議 I…分科会（15:30～17:00）

①製図分科会

「製図課題の指導法」

～教科書「建築設計製図」活用から～

製図分科会では、教科書の製図例2-3木造平屋建住宅（立面図・平面図）の指導方法についてグループ討議を行った。4グループに分かれ、「図面の疑問点」「指導上の工夫点」「その他意見」の3つの観点により話し合った。

活発な意見交換がなされ、指導方法の多様性や建築物の地域による特性などを知ることができ、良い情報交換の場ともなった。

②計画分科会

講演「建築を表現するための

プレゼンテーション・プログラムについて」

星槎道都大学美術学部建築学科

学部長・教授 安藤 淳一

〃 教授 佐藤 善太郎

計画分科会では、星槎道都大学より2名の先生にお越しいただき、美術学部の建築学科ということで、学生に建築物の表現方法をどのように授業で身につけさせているのかを講演していただいた。

安藤先生からは手書きによる表現を身につけさせるためのカリキュラム・指導方法の説明をいただいた。平面表現から立体表現、色彩表現が体系的に学べるように構成されていた。

佐藤先生からは、コンピュータを使った表現方法について画像データの処理方法から、3次元CADそして3Dアニメーションとして建築物を表現できるまでの流れを説明していただいた。

両名の先生から建築を表現するためのアナログ、デジタルそれぞれの手法を学ぶことができた。

③施工分科会

「実践に基づく鉄筋組立実習

～技能検定3級鉄筋組立作業実技課題を通して～」

北海道鉄筋業協同組合 青年部

熊谷 達人

施工分科会では、技能検定3級鉄筋施工「鉄筋組立作業」の実技課題について北海道鉄筋業協同組合青年部

の技能士6名に実演・解説をしていただいた。

最初に動画にて概要を確認し、作業マニュアルについての説明を受けた。その後、技能士の方々に作業の注意点を解説してもらいながら、実演しているところを見学した。職人の技術（正確さ・速さ）を間近に見る事ができた。また、最後には参加教員が鉄筋を結束する体験もすることができた。この検定は高校生でも取得可能な資格であるため、今後の指導方法の参考になった。

第2日目 8月2日(金)

○講演Ⅱ(9:00~9:35)

「高等学校学習指導要領

教科「工業科」の円滑な実施に向けて」

文部科学省国立教育政策研究所

教育課程研究センター研究開発部

教育課程調査官 持田 雄一

昨年改定され、令和4年度から実施されていく高等学校学習指導要領について、今後円滑に実施していくためのポイントについての講演であった。

「学習指導要領の考え方」、これからの教育課程の理念としての「社会に開かれた教育課程」、「カリキュラム・マネジメント」その3つの側面、「教育課程の編成について」を重点的に説明していただいた。

まとめとして、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善について例が示された。

○研究協議Ⅱ

(1) 研究発表(9:40~10:40)

①「北海道高校生建築デザインコンクールについて」

北海道苫小牧工業高等学校建築科

経塚 二郎

北海道建設部が中心となって行っている事業で、平成8年から続く建築物のデザインコンクールである。実際に建てることを前提とし、最優秀作品のデザインが実施設計に反映されるものとなっている。個人またはグループでの出品となり、近年では道内の建築系学科の生徒150名程度が応募している。

ここでは過去の最優秀作品の紹介と実際に施工された建築物の紹介がなされた。今後の社会情勢や道の財政状況によっていつまで続くかわからないが、存続する限りは建築教育を充実させる1つの大きな取り組みとして活用していきたいと考えている。

②「地元産木材の活用事例について」

秋田県立大曲工業高等学校土木・建築科

藤田 悠太

次期70会大会の秋田県より、地元産木材利活用の意義・課題と活用事例についての発表がされた。

最初に日本の森林環境や木材自給率についての現状や問題点、木材を利用した新たな製品・技術(CLTや木造トラス梁等)が説明された。木質耐火構造も開発され、中・大規模の公共建築物での利用も可能となっている。まとめとして、森林資源の循環利用の必要性についても説かれた。

最後に地元産木材の活用事例として、大工の技術が随所に見られるホテル、世界最大級の木造ドーム、空港や

駅の内外装の木質化など幅広い活用事例についての紹介がされた。

(2) 分科会報告(11:00~11:20)

前日の分科会の様子について各主査より報告を受けた。

○調 評(11:20~11:30)

北海道教育庁学校教育局高校教育課

キャリア教育指導グループ

主査 八丁正樹

○閉会式(11:40~12:10)

会長挨拶、次期開催地代表挨拶、実行委員長謝辞

○研究視察(13:15~17:00)

(1) 北海道開拓の村コース

北海道開拓の村は、明治から昭和初期に建てられた北海道各地の建造物を野幌森林公園内54.2haの敷地に移築復元・再現された野外博物館である。52棟の建物を用途ごとに集め「市街地群」「漁村群」「農村群」「山村群」を形成している。

時間の都合上で、ボランティアガイドの方に市街地・漁村エリアに絞って案内していただいた。

それぞれの建築物は内覧が可能であり、調度品などにおいてもその当時の様子が分かるものとなっている。札幌軟石を使って作られた建物や、ニシン漁で賑わっていた頃の漁家など多様な建築物や当時の暮らしぶりなどを見学することができた。

(2) 札幌豊平館コース

豊平館は、北海道開拓時代に明治政府が建てた唯一の洋造ホテルである。1881年に竣工後、1958年に現在の場所である中島公園内に移築された。アメリカ風様式の木造2階地下1階建てとなっており下見板を白、窓枠・柱等をウルトラマリンブルーとする鮮やかな外観となっている。破風や懸魚に加えコリント様式の柱など多様なデザインがとりいられている。

大会会場より徒歩圏内であるため、公園散策もかねて移動した。

現在は結婚式場としても利用されており、館内各室をボランティアガイドによる説明を受けながら見学した。参加者の要望で外観についても案内してもらうなど、有意義な見学会となった。

5. おわりに

ホテルを会場として本大会を盛大に開催することができましたのも、広告協賛等で多大なご支援をいただきました地元建設業協会様をはじめ各種企業・団体様のおかげであります。また、賛助会員様におかれましてはブース出展もしていただき、建築業界についての知見をより深めることができました。

皆様のご支援により北海道大会を終えることができましたことを、改めてお礼申し上げます。

6. 令和元年度 夏期研究協議会報告

東京都立総合工科高等学校
小澤 誠 志

今年度の夏期研究協議会は、構造分科会の主催で「高強度コンクリートの破壊試験」と題し、令和元年8月8日～9日の日程で浅野工学専門学校と春日・後楽園駅前地区第一種市街地再開発事業施設建築物等新築工事【南街区】および豊洲市場で行った。
以下にその内容を報告いたします。

1. 期 日 令和元年8月8日（木）～9日（金）

2. 会 場 浅野工学専門学校
春日・後楽園駅前地区再開発工事現場
豊洲市場

3. テーマ 「高強度コンクリートの破壊試験」

4. 参加校 岐阜県立大垣工業高等学校・山梨県立甲府工業高等学校・関市立関商工高等学校・千葉県立東総工業高等学校・仙台市立仙台工業高校・新潟県立新津工業高等学校・富山県立高岡工芸高等学校・群馬県立館林商工高等学校・足利大学附属高等学校・静岡県立浜松工業高等学校・東京都立墨田工業高等学校・東京都立蔵前工業高等学校・東京都立田無工業高等学校・東京都立総合工科高等学校・神奈川県立神奈川工業高校・神奈川県立小田原城北工業高等学校・実教出版株式会社・中央工学校・日本工学院専門学校
計16校、3賛助会員、29名

5. 研修内容

【第1日目】

令和元年8月8日（木）

浅野工学専門学校

〈講師〉加藤 直 樹 教授

殿 廣 泰 史 専任講師

(1) 高強度コンクリートの破壊試験について

近年の巨大地震に対処するためには、国家的に人命の尊重・社会基盤構造物の強靱化は急務で、全世界的に強調して対策に真摯に対応している。

高強度コンクリート・強張力鉄筋といった高品質材料を用い、柱と梁の工学的特性について実験研究されてきた。

高強度コンクリートの作製

- ・セメント：VKC100SF $\rho_c = 2.99\text{g/cm}^3$
(普通ポルトランドセメント+スラグ石膏系混和材+シカフェム)
- ・細骨材：コンクリート用砕砂A $\rho_s = 2.63\text{g/cm}^3$
- ・粗骨材：混合砕石2005 $\rho_g = 2.65\text{g/cm}^3$
- ・混和剤：高強度コンクリート用 高性能減水剤
マスターグレニウム SP8HU C×1.5%

調合表

G.M (mm)	W/C (%)	s/a (%)	Unit Content(kg/m ³)			
			W	C	G	混和剤
20	15	40	129	833	900	12.5

圧縮強度 100N/mm²超

高張力鉄筋の概要

高張力鉄筋SBPD材使用

降伏点：1275N/mm² 引張強さ1420N/mm²

(参考) 異形鉄筋SD295A

降伏点：295N/mm² 引張強さ440～600N/mm²

SBPD材はSD材に比し、曲げ復元性に富み、耐久性向上に有利。

高強度RC柱・梁の作製

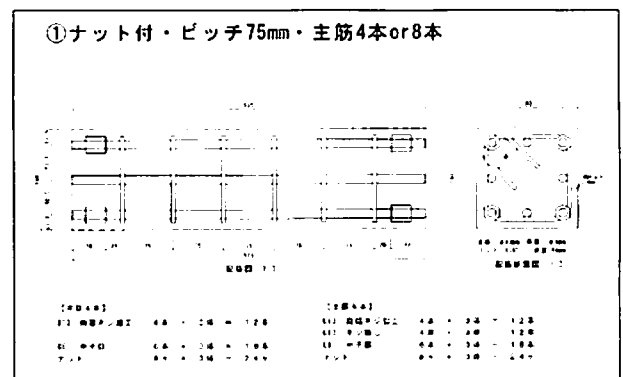
150×150×530の型枠で作製

・主筋：SBPD1275/1420, U13

帯筋：SBPD1275/1420, U6

・ピッチ：75mm (中拘束)

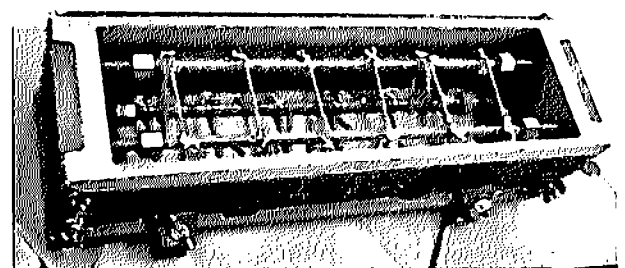
・主筋本数：4本



配筋図



概要説明



配筋

本日の流れ

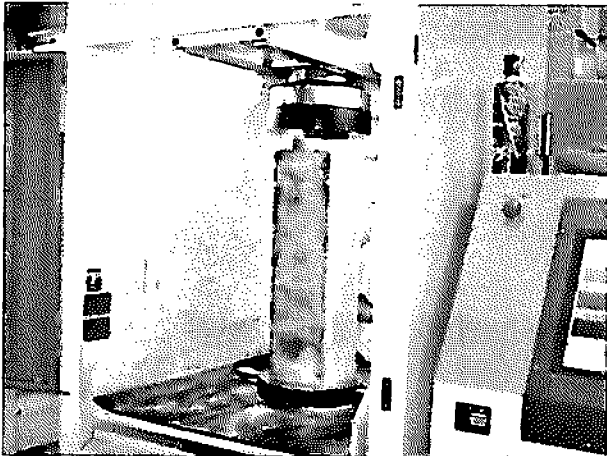
- 午前 ①高張力鉄筋の配筋
②高強度コンクリートの試験練り
- 午後 ①高強度コンクリート供試体の破壊試験
②高強度RC柱・梁の破壊試験



高張力鉄筋の配筋作業



高強度コンクリート供試体の破壊試験



高強度RC柱の破壊試験

高強度RC柱・梁の破壊試験では破壊の挙動としては、一般的な強度のコンクリートとの違いは見られなかったが、高強度コンクリート供試体の破壊試験では、爆音とともに一瞬にしてコンクリートが破壊する様子を見ることができた。この様子はハイスピードカメラで撮影して頂いたので、動画を参加者の方々へ配布する予定である。

また、研究会のホームページにもアップ予定である。

【第2日目】

令和元年8月9日(金)

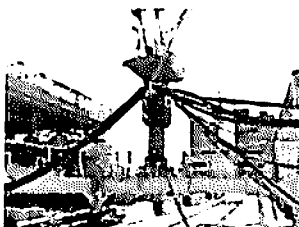
午前：春日・後楽園駅前地区再開発事業【南街区】
施工：大成建設株式会社

こちらの現場は敷地は広いが、東京電力の既存施設の機能を維持しながら施工する点に配慮しているとのこと。

作業員は700名程で、最盛期の現場を見学できた。



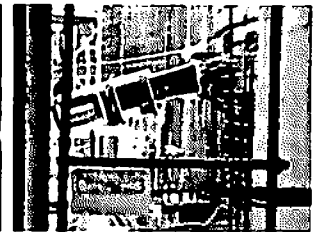
現場概要説明



屋上



中間階



地下土留

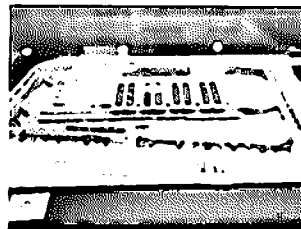
地下部では東京都メトロ南北線後楽園駅と直接アプローチできるトンネル工事も平行して施工されていた。

午後：豊洲市場

ゆりかもめ市場前駅に集合し、2班に分かれて民間のツアーガイドの案内のもと、青果棟→水産卸売場棟→水産仲卸場棟の順番に見学した。



豊洲市場管理施設棟



豊洲市場全体模型



青果棟内

4. おわりに

今回の夏期研究協議会は、普段の高校の授業では扱っていない「高強度コンクリートの破壊試験」をテーマに実施した。巨大地震、巨大災害対策として今後さらに発展して行くことを実感した。また、都市部の再開発の現場では、都市部特有の技術に触れることができた。豊洲市場では施設見学者のために様々な展示や工夫がされていることが感じられた。今回の夏期研究協議会に協力して下さった方々、参加者の皆様に感謝申し上げます。



水産卸売場棟クロマグロ模型前にて

7. 製図分科会 活動報告

埼玉県立春日部工業高等学校
吉 城 守

1. はじめに

製図分科会では「教材の提案」と「研修の場の設定」を大きな目標として活動しています。教科書だけでは指導しづらい部分を補う教材の提案や教員対象の研修会、生徒対象の講習会を実施してきました。

以下に長野大会以降の活動報告をいたします。

2. 製図分科会活動状況

(1) 2018年12月6日 (於：中央工学校)

製図分科会委員会

- ・中央工学校新校舎建設現場見学
- ・長野大会報告
- ・北海道大会研究協議(製図分科会)内容について
- ・2021年度夏期研究協議会について
- ・その他

(2) 2018年12月26日 (於：矢島鉄筋工業株式会社)

鉄筋施工図研修会 ※施工分科会と共同開催

内容：鉄筋施工図作成についての講習、鉄筋加工作業見学

(3) 2019年5月21日 (於：中央工学校)

製図分科会委員会

- ・中央工学校新校舎施設見学
- ・鉄筋施工図研修会報告
- ・北海道大会研究協議(製図分科会)運営について
- ・教科書「建築設計製図」活用状況調査について
- ・2021年度夏期研究協議会について
- ・その他
- ・中央工学校主催、コンペティション入賞作品見学

3. 第69回 東日本建築教育研究会北海道大会 研究協議Ⅰ(製図分科会) 報告

開催日：令和1年8月1日(木)

会 場：ホテルライフオート札幌

参加者：28名

テーマ：「製図課題の指導法」2

～教科書「建築設計製図」活用から～

平成27・28年度に実施しました教科書「建築設計製図」活用状況調査をもとに、多くの学校で指導されている教科書製図例2-3(木造平屋建住宅 立面図・断面図)について、参加された先生方から意見をいただき、更に情報交換の場となるよう「グループ討議」の形式で実施いたしました。

このテーマは、平成28年の千葉大会で行った製図例2-1(木造平屋建住宅 配置図・平面図)に続いての実施となります。

グループ討議の前に、製図分科会委員の群馬県立前橋工業高等学校定時制・中曽根 康先生から授業での取組状況を報告いただき、それをきっかけにグループ討議をしていただきました。

グループ討議の方法は、参加者28名が4グループに分かれ、個々が気になる点を付箋に記入し、その付箋をA1サイズに拡大した図面に貼り付けながら、各グルー

プの意見としてまとめ、各班4分間程度で発表するという形で行いました。ちなみに、付箋は3色使用し、赤い付箋に「図面の疑問点」、青い付箋に「指導上の工夫点」、黄色い付箋に「その他意見」を記入していただきました。

スタートの時点では、参加された先生方に戸惑いも見られましたが、付箋を貼り付けていくうちに段々と話し合いが活発になり、情報交換の場になったと感じています。実際アンケートにも「同じ悩みをもっていることが分かり情報共有できた。」「戸袋、雨樋の有無、屋根の勾配など、地域の違いや他県の情報を得ることができた。」「様々な指導方法を知ることができた。」など、有意義な研究協議会になったとの意見をいただき、情報交換の場が提供できたのではないかと感じています。

このグループ討議で出た意見や内容を今後の研究に活かし、授業展開方法や指導法の提案につなげていきたいと思えます。

最後になりますが、研究協議会にご参加いただきました先生方、急速まとめ役をお願いした先生方並びに、運営をお手伝いいただきました北海道の先生方に感謝いたします。



■アンケート結果

1) グループ討議についてお聞かせください。

(1) グループ討議時間はどうでしたか？

- ・短い【4】
- ・ちょうど良い【23】
- ・長い【0】

(2) グループ討議の方法はどうでしたか？

- ・良かった【23】
- ・普通【4】
- ・あまり良くなかった【0】

2) 研究協議会(製図分科会)全体を通しての感想をお聞かせください。(一部抜粋)

- ・他校の取組が分かった。同じところで指導に苦労されていることが分かった。
- ・先生によって様々な指導法があって参考になった。問題を共有できて、指導の力となった。
- ・設計製図の状況を知る良い機会となりました。
- ・地域性や指導法など、様々なことが話せて有意義でした。
- ・各校で取組む単位数や学校事情が違うので難しい面もあるが、研究協議は継続してほしい。
- ・今回の議論が教科書づくりに反映して欲しい。
- ・2度目の参加でしたが、様々な工夫されていて感心しました。

- ・1年生を対象とした内容が良かったです。大変参考になりました。
- ・グループディスカッションは面白い。
- ・同じ悩みを持っていることが分かり、情報共有ができて良かった。
- ・定時制のみのグループ分けがあっても良かったのではないと思う。
- ・気候、風土、雨樋や雨戸が無い地域があることを初めて知った。

3) 製図分科会で取上げて欲しいテーマやご要望がありましたらお書きください。

- ・製図の課題内容について【2】
- ・自主設計（コンペ含む）の取組について【3】
- ・CADの取組、指導法について【3】
- ・製図の指導方法について【3】
- ・カナバカリ図の指導について
- ・グループディスカッションRC編

4) 現3年生が、卒業後すぐに2級建築士の受験ができるようになる予定ですが、御校の取り組み状況をお聞かせください。

(1) 在学中に2級建築士に関する指導をされていますか？

- ・指導している【3】 ・指導する予定【7】
- ・指導の予定はない【16】

(2) 「指導している」「指導する予定」を選んだ方は、その内容をお聞かせください。「指導の予定はない」を選んだ方は、その理由をお聞かせください。

「指導している」

- ・選択製図（3年）の後半で取り組ませている。幾つか課題を準備して、生徒が選択して取組んでいる。
- ・施工管理の勉強を2級建築士も視野に入れて指導している。
- ・対策授業を組んでいます。

「指導する予定」

- ・自主設計で減点するポイント等を話しながら指導する予定です。
- ・受験対策（過去問）をしたいと思います。
- ・現在の授業が2級とつながる。「資格」の指導はできないはずでは？
- ・どう指導するかは未定。
- ・今後、方針を決めていく予定。
- ・未定であるが、授業の内容も考えて取り組んでいかなければならない。
- ・具体的な指導は決めていませんが、受験時の手助けになるような内容にしようと思っています。

「指導の予定はない」

- ・2級施工管理のための授業をやっています。（施工の授業で）それに加えて2級建築士のためともなると、資格のためだけになる。
- ・2級施工管理とのバランスを考えて、今後どうするかを検討しているところです。
- ・まだ2級施工管理に重点をおいている。
- ・現状、2級施工管理の指導に力を入れている。
- ・カリキュラム上、難しい。先生方の負担が大きい。

- ・単位数が1～3年各2単位なので、まだ予定を組めない。
- ・来年度以降検討する。今までの課題スケジュールの見直し中。
- ・そこまでの内容にふみ込めない。

4. 建築設計製図資料「平面図・立面図・断面図の描き方」

平成27、28年と教科書の活用状況調査を実施しましたが、多くの学校で教科書以外の教材を活用していることが分かりました。そこで、今まで製図分科会で研究をつづけてきた初期製図の指導方法を冊子（建築設計製図資料「平面図・立面図・断面図の描き方」）にまとめました。

内容は、1/50の平面図を1/100の表現で描くことにより図面の描き方を学ぶ方法や、平面図と関連付けて立面図や断面図を描く方法。また、屋根伏図を学びながら立面図や断面図に表現する資料など、初期製図指導の参考にしていただけるような内容を編集いたしました。

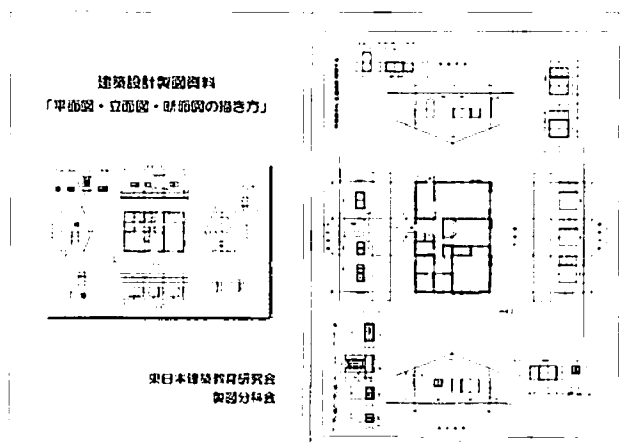
興味を持った方がいらっしゃいましたら、担当者へメールでご連絡ください。データ（PDF）をお送りいたします。指導の一助としていただければ幸いです。

連絡先：seizu@hnkkk.org

製図分科会主査 吉城 守

埼玉県立大宮工業高等学校全日制 建築科

TEL 048-651-0445



5. おわりに

製図分科会担当の各種研修会の様子は報告書として、東日本建築教育研究会のホームページ(<http://www.hnkkk.org/>)に掲載してありますので、是非ご覧いただければと思います。

今後も製図の指導方法について研究を重ね、会員の皆様に情報提供していきたいと考えています。製図指導に関するご意見やご要望をお待ちしております。また、過去に実施してきました製図指導に関する教員向けの研修会や生徒向けの講習会等を県や学校単位で実施したいとの要望があれば、お声掛けいただければと思います。

現在、製図分科会委員を募集しています。製図指導に興味のある方がいらっしゃいましたら、是非一緒に研究をしていただければと思います。

最後になりますが、今後も製図分科会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

8. 計画分科会 活動報告

埼玉県立春日部工業高等学校
江原 聖 直

1. はじめに

計画分科会では、現在「模型製作及び活用方法」に関して平成27年度より5年間の計画で研究を進めて参りました。

これまでの研究の経緯としまして、平成28年度の千葉大会の研究協議において「模型製作の基本的な指導法」と題して、基礎的な演習課題を用意し、参加者に実際に加工と組み立てをグループで検討しながら行いました。29年度は、昨年度の基礎的な研究を踏まえ、更に発展させる目的とし日本工学院専門学校並びに建築家の長沖充様にご指導いただき夏期研究協議会を開催いたしました。

本年度は、この5年間の研究のまとめとしまして、建築模型の仕上げやプレゼンテーション表現について参考となる講演会を北海道大会にて開催いたしました。以下は今年度の活動報告となります。

2. 計画分科会活動状況報告

平成30年12月6日(木)第3回 研究協議会

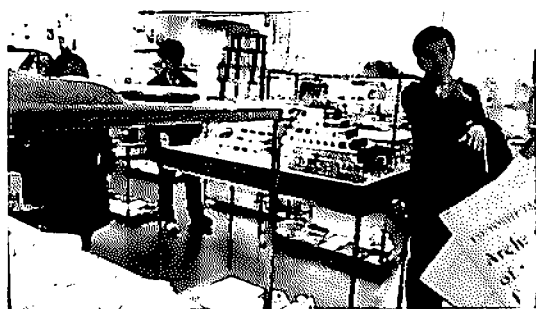
○「田根 剛 | 未来の記憶」見学会

場所：TOTOギャラリー間

参加委員：岩上 荒木 門馬 林田 江原

<展示概要>

建築家、田根剛の作品についてギャラリー間の館長、橋田光明氏による展示説明会に参加しました。展示会場は2階に分かれており、模型を中心とした各建築作品について、完成（アンビルド、コンペ応募作も含む）までのプロセスがエスキス・プレゼン模型やコンセプト・造型・部材のヒントとなった写真などが会場の壁一面に展示されていました。また、別の階では映像による作品紹介を部屋の四方全面にプロジェクター投影され、靴を脱ぎ床に座りながら見る事ができました。

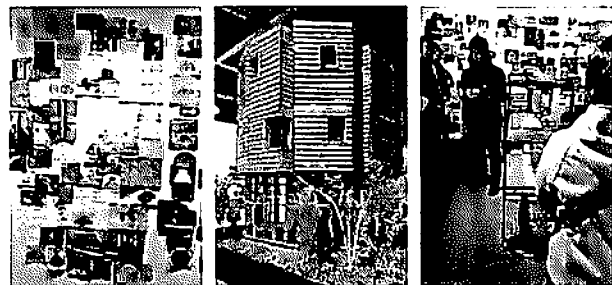
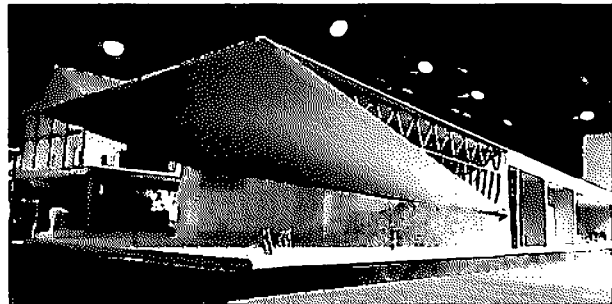


橋田館長によるギャラリーツアーの様子

橋田館長からは建築家田根剛と本展示会開催に至るまでの経緯や実際にエストニア国立博物館（田根剛設計）へ行った際の話や展示に対する建築家の拘りを聞く事ができました。

今回の展示会の見学では、模型を利用したプレゼン方法の事例から建物が完成するまでの過程が整えられたらコンセプトによる説明ではなく、その土地から読み取れた情報を写真や歴史が窺える資料を見学することができました。

今後の生徒への設計の指導の参考として、どのようにその地から素材と状況を導き出すか、建築物として作り上げていく過程においての素材の検討方法、コンセプトの組み立て方など様々な角度から思考する方法など模型の活用方法を含め多くを学びました。



令和元年5月24日(金)第1回 研究協議会(葛西工高)

①今年度の活動方針について(確認)

平成27年度より5年間を目安に「建築模型」を主題とした研究と教材開発、教員の研鑽の場を設け、総会・研究協議と夏期研究協議会において実施する。(今年度が最終年度)

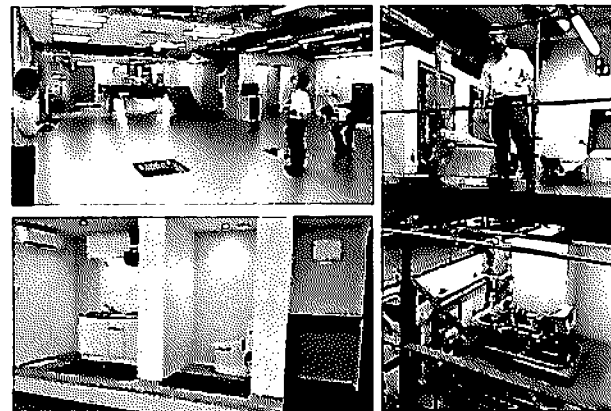
②次年度の活動テーマについて

建築計画の教科書の第4章「都市計画」の分野を研究対象。

令和元年7月4日(木)第2回 研究協議会(中央工学校)

①研究視察(中央工学校 新2号、3号館の新築校舎)

初めに学科長の生川先生より新校舎の概要について15分程説明を頂き、その後1時間程度で新校舎及び設備(計画実習計の展示)などをご説明頂きながら見学しました。



中央工学校 新校舎の様子

②令和2年度以降の研究協議について

テーマ「社会を取り巻く環境やコミュニティに関する研究」(仮)として、研究活動を実施する。

<テーマ決定の経緯と研究成果の可能性について>

- ・リノベーションや地域資源(ストック)を活かす実例が増えてきているが、教科書では部分的には取り挙げているに留まっている。
- ・身近な地域を題材とすることが可能であり、各校の事例を集めて情報提供できると期待できる。
- ・また、実践例を持ち寄りディスカッションすることも可能である。

3. 第69回 東日本建築教育研究会北海道大会研究協議Ⅰ報告

日 時：令和元年8月1日(木)

会 場：ホテルライフォート札幌

テーマ：「建築を表現するためのプレゼンテーション・プログラムについて」(講演)

講 師：星椋道都大学美術学部建築学科教授

安 藤 淳 一 氏

星椋道都大学美術学部建築学科教授

佐 藤 善 太 郎 氏

参加者：45名(計画分科会委員3名を含む)

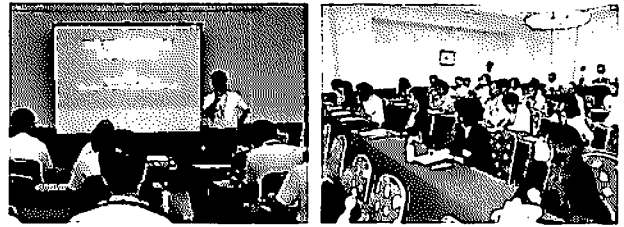
<講演概要>

同大学で実践されている授業内容を取り上げられ、美術学部建築学科ならではの指導方法をご紹介いただきました。まず、安藤先生からは「アナログ的手法」による、建築表現の基礎として、3年生までの前後期合わせて6つの講座について課題をご紹介いただきました。概要としては、鉛筆の削り方から始まり有名建築物の添景を描かせるものであったり、発想力を育成するため「壁」のみ、または「床」のみで空間構成をさせる模型製作課題を紹介されました。ここでは、与えられた課題に忠実に取り組むことも重要であるが、ユニークな発想についても評価することが、その後の建築表現力を伸ばすきっかけとなるとのことでした。

また、模型材料やその道具についても学生自身で街へでかけて購入することにより、自身が目指す表現をより深く考えるようになるとのことでした。そして、最終的には各自の作品をポートフォリオとしてまとめることにより、作品の見直しとブラッシュアップをさせることが到達点となります。

次に、佐藤先生からは「デジタル的な手法」による建築表現方法の習得として、情報技術基礎やCAD演習の実例をご紹介いただきました。先程の安藤先生が教えられているアナログ手法による課題内容について、デジタルツールを使用し課題に取り組むものでした。最終的には模型に代わり、3Dアニメーションによる自主設計内のウォークスルーを作成している事例をご紹介いただきました。また、実社会で活躍している卒業生から、今どんなスキルが必要かを伺ってはその都度授業内に取り入れているとのことでした。異なるデータの変換方法や、写真の解像度とそれによる出力状況の違いなどが例にあげられていました。

最後に安藤先生よりアナログとデジタル双方の良い点を補完することがこれからも教材研究をする点において必要不可欠であるとのことでした。



研究協議の様子

4. 研究協議Ⅰでのアンケート結果

・令和元年度 北海道大会研究協議(R1. 8. 1)

・回答総数：34 ※抜粋して掲載しております

①今回の講習会についての意見及び感想

- ・アナログとデジタルの両輪の重要性がよく理解できた。
- ・建築表現の指導法を点景や模型からのアプローチが興味深い。
- ・高価なデジタルソフトを扱うことは高校では難しく、高校生向けの講演ではなかった。テーマの趣旨から外れていた。

②今後計画分科会での活動についての要望

- ・教科書の内容を補えるような資料やワーク等を協力して作成できると良い。
- ・製図、法規分科会との連携を含め新テーマに臨んで欲しい。
- ・今回のように教科書外の課題も取り上げて欲しい。
- ・HPで協議会及び活動内容が分かるよう更新して欲しい。
- ・都市計画については、最後まで各校へ配布して欲しい。

③次年度以降のテーマである「社会を取り巻く環境やコミュニティに関する研究」実施を前提として、その指導内容の基本となる建築計画(第4章都市と地域の計画)の実施状況を調査した。

問1) 授業での「第4章都市と地域の計画」の扱い状況

教えている：4 ある程度教えている：10
教えていない：16

※学科または個人として教えているかについては不明

問2) 問1で教えている、ある程度教えている場合

「都市計画」を扱っている教科名、実施時数、学年

教科名	実施時数	学年
建築計画	平均5.1時間 <small>※但し、単位数で記入されている方も居る</small>	1年：1
		2年：5
		3年：9
建築計画計画以外：建築法規、学校設定科目		

建築計画 第4章で教えている範囲	14校中
1節：都市と都市計画	10校
2節：都市計画制度と都市計画法	11校
3節：建築と地域の計画	11校
4節：地域の計画とまちづくり	13校

問3) 学校の周辺地域のストック等を活かした授業の実践例

- ・地域の歴史を持つ蔵造りについて調査している(課題)
- ・地域の建築物を模型やCAD化している(課題)

5. おわりに

アンケートに御協力頂きました先生方に感謝しております。頂きましたご意見は参考としまして、指導に活用できる方法や事例紹介を行っていきたく考えております。

9. 法規分科会 活動報告

群神奈川立藤沢工科高等学校

大木 英生

1. はじめに

法規分科会では、会員参加型講習会として「各種講習会・現場見学会」の実施、研究調査による研鑽と委員の更なる建築法規理解を兼ね「建築法規 過去問題集」及び「建築法規 ワークノート」の編集を、行っております。

以下、既済の活動内容及び今後の活動予定を報告します。

2. 活動報告

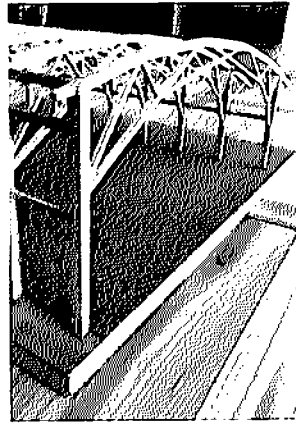
(昨年度 長野大会から、本年度 北海道大会まで)

1. 分科会議事

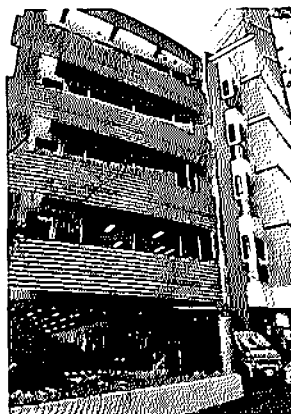
(1) 第68回 法規分科会 研究協議会

(H30/12/1)

- ・平成31年度総会 北海道大会 法規分科会研究協議会について
- ・平成31年版「建築法規 過去問題集」及び「建築法規 ワークノート」の編集
- ・見学会等
- ・見学：Gallery TEN「か木くけ子どもの家/象設計集団による保育園・幼稚園の作品展」
- ・施設見学及び意見交換会：ICSカレッジオブアーツ専門学校
- ・講演会：「限研吾 ひと・モノ・空間 都市と建築の新時代」(めぐろパーシモンホール)



Gallery TEN



ICSカレッジオブアーツ専門学校

(2) 第69回 法規分科 研究協議会

(H31/3/4 建築会館)

- ・平成31年度総会 北海道大会 法規分科会研究協議会について
- ・平成31年版「建築法規 過去問題集」及び「建築法規 ワークノート」の編集
- ・見学会等
- ・見学：パナソニック 汐留ミュージアム「子どものための建築と空間」

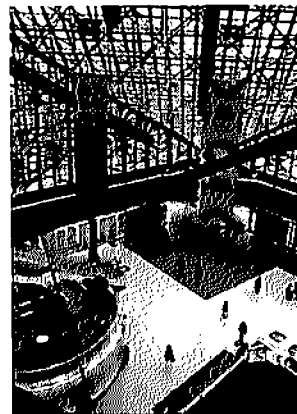


(3) 第70回 法規分科会 会議 (R1/7/2)

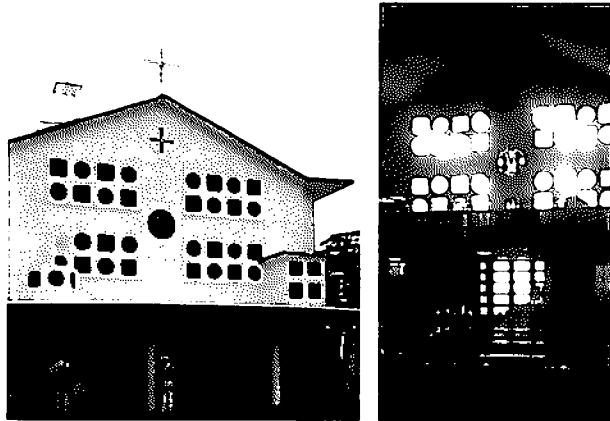
- ・令和元年度総会 北海道大会 法規分科会研究協議会について
- ・令和元年版「建築法規 過去問題集」及び「建築法規 ワークノート」の編集
- ・見学会等

池袋界限建築物見学

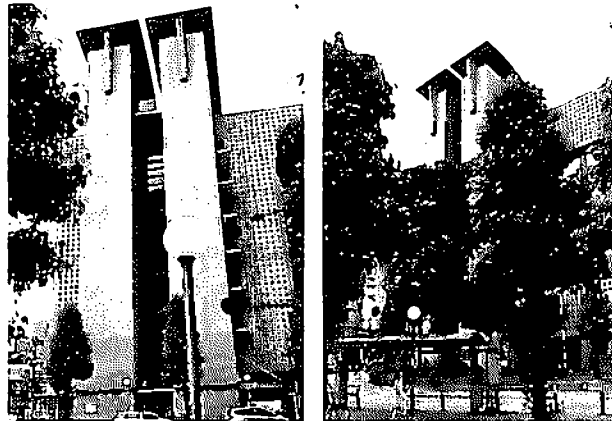
東京芸術劇場(設計：芦原頼信)、カトリック豊島教会(設計：アントニン・レーモンド)、としまエコミュージータウン(豊島区役所)(設計：日本設計、隈研吾、ランドスケープ・プラス)、ルポア平喜(設計：梵寿綱)平喜屋(設計：梵寿綱)、豊島合同庁舎(設計：大江匡)



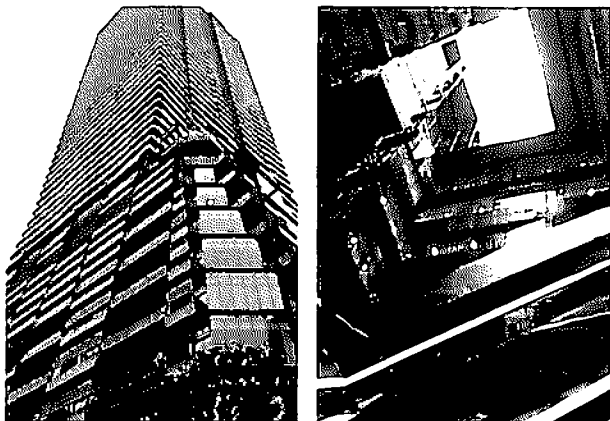
東京芸術劇場(設計：芦原頼信)



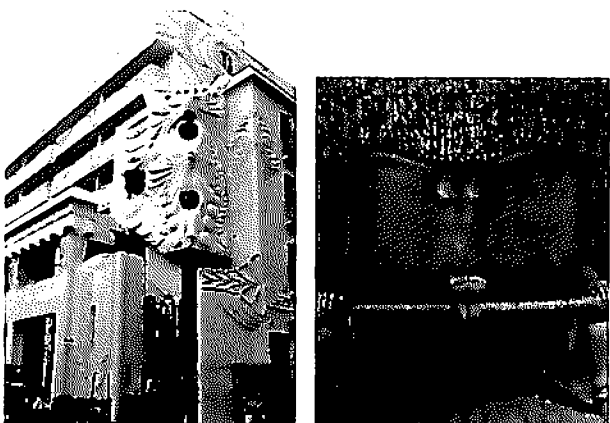
カトリック豊島教会（設計：アントニン・レーモンド）



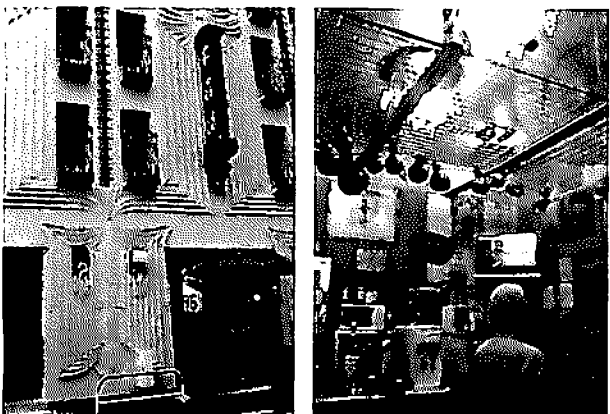
豊島合同庁舎（設計：大江匡）



としまエコムーゼタウン（豊島区役所）



ルポア平呂（設計：梵寿綱）



平呂屋（設計：梵寿綱）

Ⅱ. 建築法規 過去問題集

（HPに掲載中）

研究調査による研鑽として、基礎的理解を深める発展的学習の教材「建築法規 過去問題集」の編集を行いました。

平成22年度より従前の建築士試験過去問題集に「2級建築施工管理技術検定試験問題の法令関係」の問題を追加しています。

頒布については研究会HPよりダウンロードできるようになっております。是非、ご活用いただきご意見等をお寄せ下さいますようお願い致します。

Ⅲ. 建築法規 ワークノート

（HPに掲載中）

研究調査による研鑽として、生徒自らがノート代わりに手元に置きながら必須事項を整理する教材「建築法規 ワークノート」の編集を行いました。現行の教科書に対応させていただいております。

「建築法規 過去問題集」と同様に研究会HPに掲載しておりますので、ご活用いただきご意見等をお寄せ下さいますようお願い致します。

研究会HP【http://www.geocities.jp/hn_kkk/】

Ⅳ. 令和元年度総会 北海道大会 法規分科会研究協議会

（2019/8/1 ホテル サンルート札幌にて）

- ・平成30年度総会 長野大会 法規分科会研究協議会報告
- ・令和2年度総会 秋田大会 法規分科会研究協議会について

Ⅴ. 今後の活動予定

- ・「建築法規 過去問題集」、「建築法規 ワークノート」の編集
- ・2級建築施工管理技術検定 過去問題も含む
- ・今後の研究テーマは、「まちの中の建築法規」を実施します。
- ・ご意見ご要望などありましたら、連絡ください。
- ・今後も活発な分科会活動に努めます。会員の皆様のご指導ご協力の程、よろしくお願い致します。

法規分科会メールアドレス【houki@hnnkkk.org】

10. 構造分科会 活動報告

東京都立総合工科高等学校

小澤 誠志

1. はじめに

長野大会総会以降の活動についてご報告いたします。

今年度も数名の委員が交代しましたが、17名と本研究会の分科会では一番の大所帯となっています。年5～6回程度、東京周辺で建築構造・建築構造設計の内容に関わる研究・協議を行っております。しかしながら、委員の所属校の行事予定がそれぞれ異なるため、なかなか全員の参加ができない状況ですが、連絡を取り合いこれからは構造分科会は、全国の工業高校発展のために尽力して参ります。

2. 分科会活動報告

(1) 平成30年度 第5回構造分科会

日時：平成30年10月16日（火）

会場：東京都立蔵前工業高等学校

内容：長野大会の反省と次年度の夏期研究協議会のテーマと内容の検討を行いました。

①長野大会反省

②次年度の夏期研究協議会のテーマと内容の検討
1日目（2019年8月8日）浅野工学専門学校様で高強度コンクリートに関する実習を行う。

2日目（2019年8月9日）コンクリート工場や工事現場の見学をする方向で検討しました。

(2) 第6回構造分科会

日時：平成30年12月10日（月）

会場：浅野工学専門学校

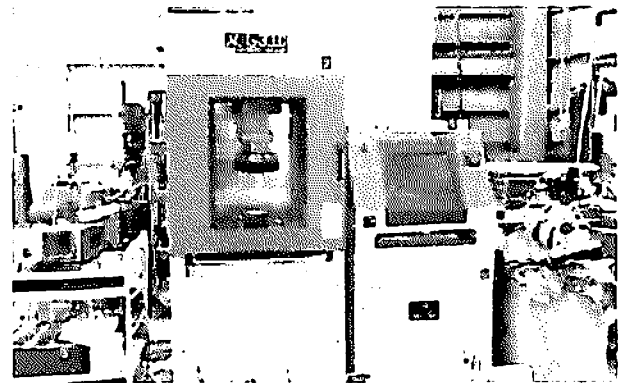
内容：2019年度の夏期研究協議会1日目でお世話になる浅野工学専門学校様で打合せを行い、破壊試験を実施する供試体を次のように決定しました。

①高強度コンクリートと高張力鉄筋を使用したRC構造の梁、柱モデルの破壊試験

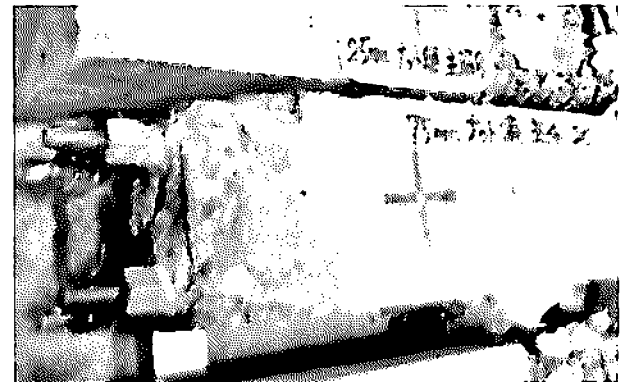
②無筋高強度コンクリートの破壊試験（爆裂の状況をハイスピードカメラで撮影）



実験室内



圧縮試験機



RC供試体



会議の様子

(3) 第7回構造分科会

日時：平成31年3月4日（月）

会場：東京都立蔵前工業高等学校

内容：夏期研究協議会2日目の見学会を午前は春日・後楽園駅前地区市街地再開発と決定し、集合場所、午後の見学場所までの移動方法や案内方法を確認しました。

また、午後の見学場所は最近の話題性がある建築物として豊洲市場にすることを決定し、ガイド役として民間の豊洲市場見学ツアー会社に委託することを確認しました。

また、最終的な実施要項、参加申込書の確認を行いました。

(4) 令和元年度 第1回構造分科会

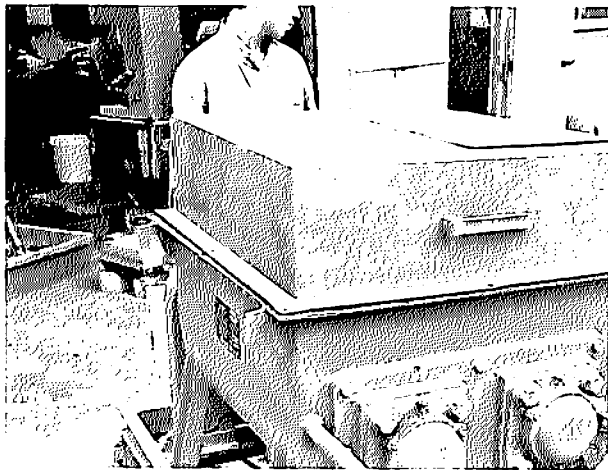
日時：令和元年5月22日（水）
場所：東京都立蔵前工業高等学校
内容：夏期研究協議会について
詳細内容の確認、必要物品の検討など

(5) 令和元年度 第2回構造分科会

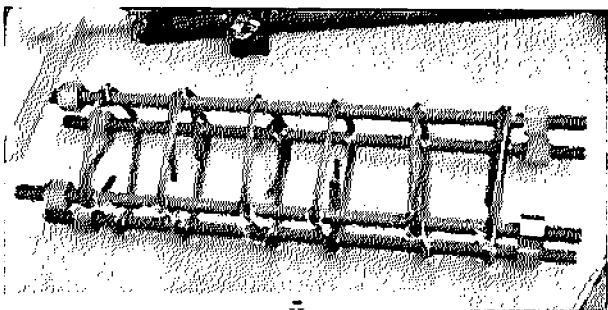
日時：令和元年7月4日（木）
場所：東京都立蔵前工業高等学校
内容：夏期研究協議会役割分担の確認
参加者の確認

(6) 令和元年度 第3回構造分科会

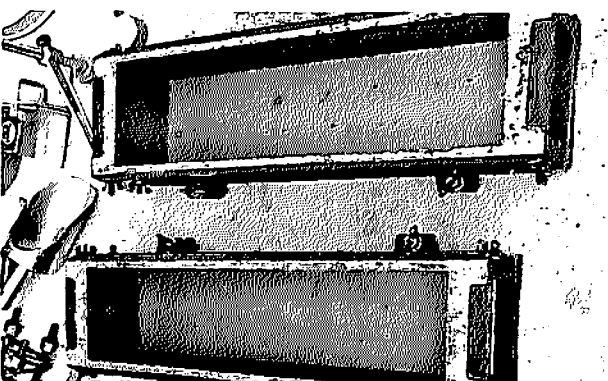
日時：令和元年7月9日（火）
会場：浅野工学専門学校
内容：高強度コンクリートと高張力鉄筋を使用したRC
構造の供試体の製作



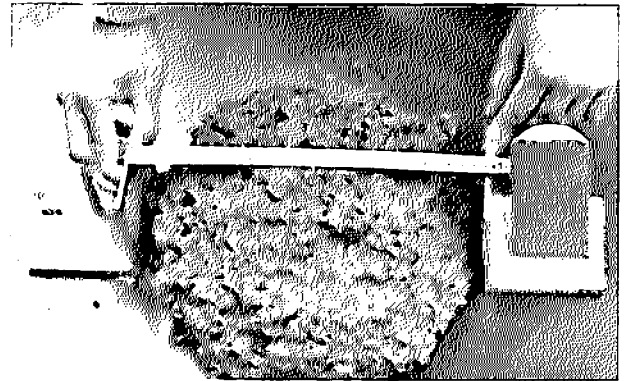
高強度コンクリートの練り混ぜ



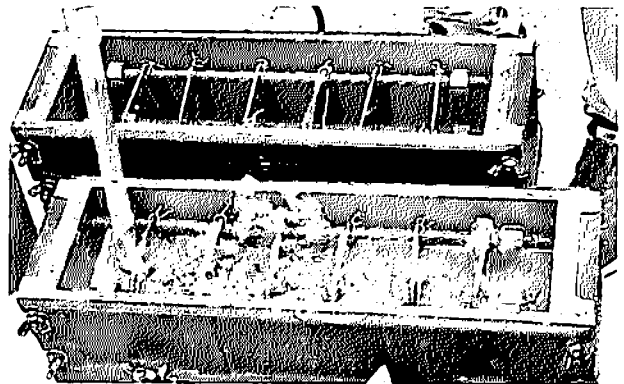
高張力鉄筋



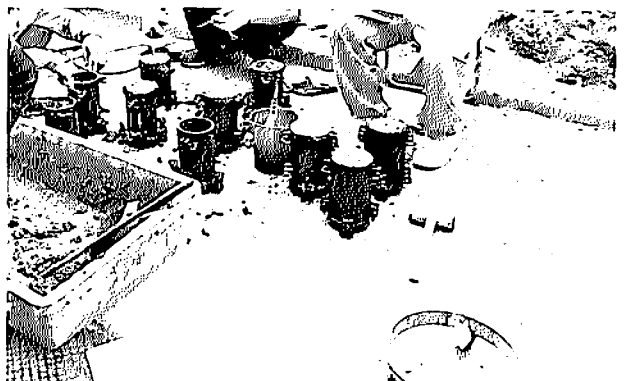
型枠



フロー試験



柱・梁供試体コンクリート打設



無筋コンクリート打設

3. 令和元年度 北海道大会

日時：令和元年8月1日（木）～2日（金）
場所：ホテルライフオーツ札幌

数年前より、夏期研究協議会を担当する分科会は当該年度とその翌年度は研究協議は実施しないことになったため、今年度は構造分科会は研究協議を実施しませんでした。そのため、構造分科会委員は他の分科会の研究協議に参加することができ、見聞を広げることができました。今後の研究協議の取り組み方法や内容について学べる機会ができたと考えております。日常の教育現場で生徒指導に有効に生かせる工夫が随所になされており、今後の構造分科会としての活動にも参考にさせていただきたいと思っております。

4. おわりに

夏期研究協議会については、夏期研究協議会報告をご覧ください。

11. 施工分科会 活動報告

千葉県立市川工業高等学校

林 祐 介

1. はじめに

施工分科会では、「建築施工」と関連付けた「実習」指導について研究主題を設定し協議を重ねてきました。一昨年は、鉄筋コンクリート造の躯体の墨出し実習を通して、測量技術の活用方法を生徒に理解させるとともに、その方法を習得させる実習の展開事例について協議しました。昨年度は墨出した子墨に従って、鉄筋を組み立てる事を想定し、鉄筋組立て実習を題材に協議を進めてきました。鉄筋組立ての課題として、技能検定3級鉄筋施工「鉄筋組立て作業」の実技課題を題材とし、教材や指導方法について協議を重ねました。技能検定3級鉄筋施工は平成28年度に新設され、今年で4年目の実施となり、資格取得に向けて取り組む学校も増えてきています。そこで、施工分科会では実技課題の作業手順マニュアルを作成いたしました。

北海道大会における施工分科会の研究協議は、そのマニュアルをもとに、技能検定3級鉄筋施工「鉄筋組立て作業」の実技課題の指導方法等について協議しました。

それでは、以下に長野大会以降の活動を報告いたします。

2. 活動報告

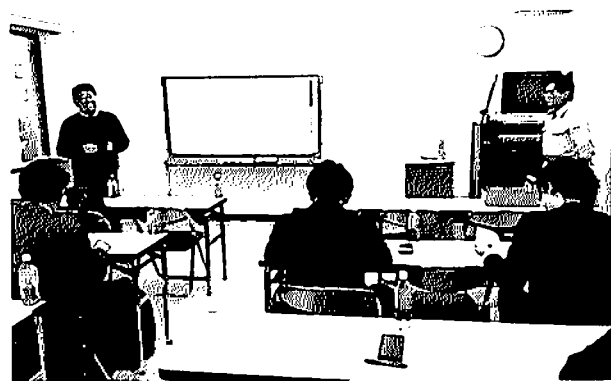
(1) 平成30年度 第2回 施工分科会

期 日：平成30年12月26日（水）
会 場：午前 千葉県立市川工業高等学校
午後 矢島鉄筋工業株式会社

長野大会における分科会研究協議のアンケート結果をふまえて反省点や改善点について協議しました。また、北海道大会の分科会研究協議の内容について検討を行いました。

施工分科会の通年的な活動内容については、前年度に鉄筋組立実習をテーマとする方向で決定していたので、具体的な内容について協議しました。

午後から会場を矢島鉄筋工業株式会社（墨田区立花）に移動し、製図分科会と共同で鉄筋施工図作成の講習会を実施しました。技能検定2級鉄筋施工（鉄筋施工図作成作業）の実技問題の解法について取り組み、鉄筋加工作業の工場見学をさせていただきました。



鉄筋施工図作成講習



研究視察

(2) 平成30年度 第3回 施工分科会

期 日：平成31年3月12日（火）
会 場：千葉県立京業工業高等学校

技能検定3級鉄筋組立て作業の実技課題について、作業手順マニュアルを作成し、その内容について協議しました。

(3) 令和元年度 第1回 施工分科会

期 日：令和元年7月5日（金）
会 場：千葉県立京業工業高等学校

北海道大会の分科会協議の準備を行い、技能検定3級鉄筋組立て作業の実技課題について、作業手順マニュアルの完成に向けて協議しました。また、来年度施工分科会が担当する夏期研究協議会の内容について協議しました。

3. 第69回東日本建築教育研究会北海道大会 研究協議会報告

期 日：令和元年8月1日（木）
会 場：ホテルライフォート札幌
参加者：39名

テーマ：実践に基づく鉄筋組立て実習 ～技能検定3級鉄筋組立て作業 実技課題を通して～

講 師：北海道鉄筋業協同組合 青年部 熊谷達人様

(1) 協議内容

施工分科会主催のあいさつのあと、鉄筋組立てを協議会の題材として選定した経緯の説明から協議がはじまりました。

前述したとおり、技能検定3級鉄筋施工「鉄筋組立て作業」は平成28年度に新設され、今年で4年目の実施となり、資格取得に向けて取り組む学校も増えてきています。ものづくりマイスター制度を活用して、検定に向けて取り組みをしている学校も増えてきています。無料動画サイトでも関連動画が多くありますが、授業等においては、生徒のフィードバックの材料として、また、授業中の参考資料が必要であると考え、施工分科会で実技課題のマニュアルを作成しました。技能検定3級鉄筋施工「鉄筋組立て作業」の実技課題の作業手順に関する動画を視聴し、課題内容を把握したあと、施工分科会が作成した作業マニュアルについて説明しました。

実技課題内容および作業マニュアルの概要説明の後、北海道鉄筋業協同組合青年部の技能士5名を講師にむかえ、課題の組立て作業について、マニュアルを参考にし、実演しながら作業の注意事項などの解説をいただきました。

作業手順は一通りではないので、施工分科会が作成したマニュアルは一つの方法でしかありません。鉄筋の組立ての練習を重ねれば、「この方がやりやすい」「この方が速く組み立てられる」など、改善されることも少なからずあると考えます。講師の熊谷氏もいろいろなやり方があるので、それぞれがやりやすい方法を模索してほしいと挨拶の中で話していました。組み立て手順も大事であるが、図面を読み解き、図面を理解した上で、鉄筋の組み立てをしなければいけません。図面を理解し、鉄筋に正確にチョークで結束位置を記す必要があり、鉄筋の結束が素早く、正確に出来ることが大切なので、結束をとにかくしっかりと練習してほしいと話がありました。

実技課題の作業に関する内容については、ベース筋の組み立てでは、ベース筋の向きを間違えないようにすること、鉄筋のかぶりを確保することがポイントとなる。

柱筋の組み立てにおいては、組み立て用のウマを正確に配置し、柱筋（主筋）が鉛直に立つようにすることがはじめのポイントである。一人で作業するときには、柱筋（主筋）にフープを結束するのが難しいので、体をうまく使い、場合によっては、一度、仮結束をしておき、再度、重ねて結束しても問題ないとのことでした。また、柱の主筋は、4隅4本を先に立てるのではなく、3本立てた状態でフープ筋を先に結束していくことにより、フープ筋が組み立て易くなるという助言もありました。

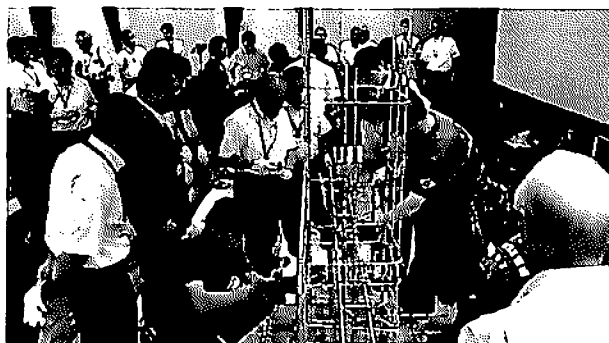
梁筋の組み立てに関しては、向きによってあばら筋の数が異なるので、向きを間違えないようにすることが大切となります。また、図面上では、梁の主筋はフープに接触することなく、浮いている状態になるので、結束線で吊り上げ、図面の通りの位置に梁主筋が来るように調整することも注意事項の一つとなります。

講師による実演を通して、鉄筋の組み立て作業の注意点を確認するとともに、少しの工夫で作業効率が向上することがわかりました。

一通りの実演が終了した後、参加者にも、鉄筋の結束の体験をしてもらいました。講師の熊谷氏は、「高校での授業で鉄筋についても取り組んでいただき、生徒が建設業に興味をもってくれて、業界に就職してくれればうれしい。鉄筋業協同組合として、要望があれば指導の手伝いなどしていきたい」と工業高校における建築教育への激励の言葉で研究協議会を閉じました。



協議会風景



教材作品

(2) 参加者感想（一部抜粋）

- ・実技も体験でき、その都度講師にきけるのがよかった。
- ・実演や動画による説明など、イメージしていた以上のものので有意義な時間になりました。
- ・本校での授業内容として取り入れられるか検討が必要ですが、参考にしたいと思います。
- ・3級実技課題の指導について多くのやり方があると思ひ、一番伝わり易い方法を考えていたので実演を見て改めて考えることができた。
- ・鉄筋施工の3級技能検定を実施している学校が本県にはないので、初見でした。全体像がつかめたので取り入れていくか検討していきたい。
- ・職人の技術を見られたのが大変よかった。速さ、正確さ、勉強になりました。
- ・実演があり、作業の流れやテクニックを直に拝見させていただけたのは、今後の指導に生かしたい。
- ・指導のポイントを直接聞け、体験出来たのがよかったです。
- ・動画だけでなく、実践、体験させてもらい、さらに資料がもらえて満足である。

4. おわりに

今年度、北海道大会における分科会研究協議では、北海道鉄筋業協同組合のご協力のもと、実演および実習を交えた研究協議となりました。理事長の熊谷様をはじめ、ご多忙の中、ご協力いただいた講師の皆様方に感謝申し上げますとともに、分科会研究協議会に参加していただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

建築施工は実習と関連付けて学習することにより、知識・技能を効果的に身につけることができると考えられます。そのため、施工分科会では建築施工と関連づけた実習の展開について、協議してきました。分科会研究協議におけるアンケート結果をふまえ、研究テーマを精査し会員の皆様に役立つ資料が提供できるような分科会の活動をしていきたいと考えております。

現在、施工分科会は委員8名で活動しております。しかし、年数回の分科会活動も、公務等で出張が困難な委員も多く、限られた委員で活動しているのが現状です。分科会活動を通して、他県の先生方との情報交換等、委員としての活動自体が有意義な研修の場となっております。建築施工や実習指導に関心の高い先生におかれましては、施工分科会にお力添えいただきますようお願いいたします。

12. 平成30年度 第37回全国高校生建築製図コンクール結果報告

製図コンクール運営委員会

委員長 ト 部 寿々子

第37回全国高校生建築製図コンクールには、東日本建築教育研究会の加盟校および加盟校以外の先生方から、校務ご多忙にもかかわらず絶大なるご協力を頂きました事を厚くお礼申し上げます。

1. 応募状況

(1) 応募校数

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29
49	55	44	52	5	3	39	47	5	3	5	5	0	0

2. 応募作品数

(1) 課題1

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
46	120	46	113	41	110	43	108	5	10	3	5	36	97
39	99	5	10	3	5	5	13	4	9	0	0	0	0

(2) 課題2

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
12	28	16	38	12	28	16	38	0	0	0	0	11	25
14	32	0	0	0	0	1	3	2	6	0	0	0	0

(3) 課題3

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
18	39	24	56	18	39	23	55	0	0	1	1	17	36
22	52	0	0	1	1	1	3	1	3	0	0	0	0

(4) 課題4

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
9	17	15	36	9	17	15	36	0	0	0	0	8	14
13	31	0	0	0	0	1	3	2	5	0	0	0	0

(5) 課題5

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29
校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数	校数	作品数
6	9	8	19	6	9	8	19	0	0	0	0	5	6
7	16	0	0	0	0	1	3	1	3	0	0	0	0

3. 各学校内における作品審査数の総計

(1) 課題1

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
1502	1365	1411	1352	91	13

(2) 課題2

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
323	391	320	374	3	17

(3) 課題3

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
425	515	422	551	3	4

(4) 課題4

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
27	73	23	56	4	17

(5) 課題5

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
10	36	7	33	3	3

4. 各課題別の応募総数と入賞者一覧

(1) 課題1

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
120	113	107	104	13	9

金賞

岐阜県立大垣工業高等学校 建設工学科 1年 有馬 美羽

銀賞

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 1年 小崎 沙月

静岡県立浜松工業高等学校 建築科 1年 大場 えみ

宮城県石巻工業高等学校 建築科 1年 保原 愛奈

埼玉県立春日部工業高等学校 建築科 1年 笹 葵未花

銅賞

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 1年 林 亜希

宮城県古川工業高等学校 建築科 1年 小椋 蒼

山梨県立富士北稜高等学校 建築デザイン系列 2年次 荒井 結衣

入賞

栃木県立真岡工業高等学校 建設科 1年 小菅 杏珠

長野県飯田HOIDE長姫高等学校 建築学科 1年 早水 美月

宮城県古川工業高等学校 建築科 1年 泉 まこ

宮城県古川工業高等学校 建築科 1年 宮嶋 悠花

愛知県立豊橋工業高等学校 建築・土木科 1年 園田 麻衣

山梨県立富士北稜高等学校 建築デザイン系列 2年次 堀内 南徳

埼玉県立春日部工業高等学校 建築科 1年 野中 理央

群馬県立前橋工業高等学校(定時制) 建築科 2年 松村 真穂

神奈川県立神奈川工業高等学校(定時制) 建設科 1年 八木 恒星

(2) 課題2

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
28	38	25	32	3	6

銀賞

岐阜県立岐南工業高等学校 建築科 2年 今城 疾風

愛知県立豊橋工業高等学校 建築科 2年 水野那奈美

神奈川県立神奈川工業高等学校 建設科 2年 蛭澤 舞友

銅賞

神奈川県立神奈川工業高等学校 建設科 2年 寺崎 唯純

松山聖陵高等学校 建築科 2年 宇都宮紗帆

松山聖陵高等学校 建築科 2年 濱邊 麻帆

入賞

岐阜県立岐南工業高等学校 建築科 2年 長屋 百美

松山聖陵高等学校 建築科 2年 安田 了将

岐阜県立可児工業高等学校 建設工学科 2年 山田 智哉

長野県飯田HOIDE長姫高等学校 建築学科 2年 小林 美友

愛知県立豊橋工業高等学校 建築科 2年 林 茉莉那

栃木県立宇都宮工業高等学校 建築デザイン科 2年 村川 智秋

(3) 課題3

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
39	56	36	53	3	3

銀賞

松山聖陵高等学校 建築科 3年 魚住 龍矢

銅賞

新潟県立新潟県央工業高等学校 建設工学科 3年 黒田 直也

岐阜県立岐南工業高等学校 建築科 3年 中村華奈未

長野県飯田HOIDE長姫高等学校 建築学科 3年 織田 渚

神奈川県立神奈川工業高等学校 建設科 3年 齋藤 桃香

入賞

岐阜県立岐南工業高等学校 建築科 3年 鈴木 研夏

静岡県立浜松工業高等学校 建築科 2年 森下 彩里

宮城県石巻工業高等学校 建築科 2年 水口 璃音

愛知県立豊橋工業高等学校 建築科 3年 及部 捺代

愛知県立豊橋工業高等学校 建築科 3年 山本 芽依

神奈川県立神奈川工業高等学校 建設科 3年 足立 紗也

神奈川県立神奈川工業高等学校 建設科 3年 鈴木 美桜

松山聖陵高等学校 建築科 3年 宮谷 昂規

栃木県立宇都宮工業高等学校 建築デザイン科 3年 金澤 加偉

(4) 課題4

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
17	36	14	31	3	5

銀賞				入賞			
松山聖陵高等学校	建築科	3年	池田 勇介	愛知県立半田工業高等学校	建築科	3年	梅田 大翔
銅賞				栃木県立宇都宮工業高等学校	建築デザイン科	2年	神山 颯斗
松山聖陵高等学校	建築科	3年	田口 翔大				

(5) 課題5

応募総数		加盟校		加盟校以外	
H30	H29	H30	H29	H30	H29
作品数	作品数	作品数	作品数	作品数	作品数
9	19	6	16	3	3

金賞				入賞			
松山聖陵高等学校	建築科	3年	玉井 辰欣	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科	3年	緒方 瑞希
銀賞				埼玉県立春日部工業高等学校	建築科	3年	大島 綺音
松山聖陵高等学校	建築科	3年	池田 勇介				
銅賞							
岐阜県立可児工業高等学校	建設工学科	3年	加藤 由輝				
栃木県立真岡工業高等学校	建設科	3年	菊地 亮汰				
松山聖陵高等学校	建築科	3年	中川 優奈				

5. 審査について

(1) 賞の選出

- ①各課題最高作品を金賞とし、順次銀賞銅賞入賞とする。
- ②各課題定時制課程参加作品から入賞以上を選出する。

(2) 審査方法

①一次審査

- ア. 審査は委員全員で行う。
- イ. 原図を使用する。
- ウ. 各課題参加数の1/5程度(最大20点程度)を目安に絞り、入賞作品の対象とする。
- エ. 審査基準は、各課題の観点に従う。
- オ. 作品を相対的に比較する。

②二次審査

- ア. 審査は委員全員で行う。
- イ. 表題欄をカットする。
- ウ. 複写図面を使用し、チェックを書き込む。
- エ. 入賞作品以外の作品で再度入賞以上に該当するものがないか確認する。

③最終決定

- ア. 最終決定を投票で行う。

(3) 課題別審査の観点

①課題1「軒先マワリ詳細図」

- ア. 図が正確に描かれているか。(部材の大きさや厚み・金物等の形状・部材相互の距離等)
- イ. 明瞭な図であるか。(線の使い分け・線の始端から終端までが均一な太さ、濃さであるか)
- ウ. 文字や数字は明瞭で正確であるか。(抜けている、大きすぎる、小さすぎる、形状がバラバラ等)
- エ. その他
松丸太に関して
・太鼓落しを表現する曲線はフリーハンドより定規使用の方が良い。
※ただし曲線がフリーハンドで描かれていても失格ではない。
野縁に関して
・位置は軒桁中心から測られているか。
天井に関して
・位置が製図例2-6に基づいているか。
線の使い方に関して
・下書き線が濃すぎないか。
・仕上げ線(断面線)が極端に太すぎないか。

②課題2「木造平家建専用住宅」

- ア. 敷地の配置、外構計画に工夫があるか。
- イ. 平面図は正確に描かれているか。(教科書3章に準じているか)
- ウ. 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類、位置等が平面図と異なっていないか)
- エ. 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)
- オ. 屋根の形状に工夫があるか。(機能を果たす屋根の形状であるか)
- カ. 図面相互に違いがないか。
- キ. 明瞭な図であるか。(線の使い分けが正しい

か)

ク. 製図規約を重視しているか。

ケ. その他

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線、隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・隣地境界線を実線で描く等、線の使い方を間違えていないか。
- ・床の仕上げを表現していないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。

立面図に関して

- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・平面図に記された切断線の位置とのくい違いがないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。
- ・ロフトの天井が極端に高くないか。

屋根伏図に関して

- ・水勾配や寸法が記入されているか。
- ・屋根仕上げに用いた材料名称が描かれているか。
- ・断面線の表示がされているか。

③課題3「木造2階建専用住宅」

- ア. 計画性を重視する。
- イ. 配置・平面・立面・断面・外構の計画に工夫があり機能的であるか。
- ウ. 構造的に無理がないか。
- エ. 製図規約に配慮しているか。
- オ. その他

設計主旨に関して

- ・主旨と計画に違いがないか。

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線、隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・家族構成に対して、所要室や各室の面積に配慮しているか。
- ・将来的に高齢者に配慮した計画であるか。
- ・外構計画において高低差に配慮しているか。
- ・車と駐車スペースの大きさや表記方法に間違いがないか。
- ・平面図に家具が記入されているか。
- ・平面図に柱や通し柱が抜けていないか。
- ・平面図に記された階段の段数は正確か。
- ・平面図に記された階段には、手すりを設けているか。

立面図に関して

- ・平面図とのくい違いがないか。
- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・切断位置が開口部を含む位置であるか。
- ・形状が不適切でないか。(異常に高すぎる、低すぎる)
- ・高さに関する寸法の記入があるか。

④課題4「木造平家建専用住宅」(CAD製図)

注意：2枚提出されているか。(1枚しか提出されていない場合は失格とする)

- ア. 敷地の形状や配置・外構計画に工夫があるか。
- イ. 平面図は正確に描かれているか。(教科書第3

章に準じているか)

- ウ. 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類、位置等が平面図と異なっていないか)
- エ. 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)
- オ. 屋根の形状に工夫があるか。(機能を充たす屋根の形状であるか)
- カ. 図面相互に違いがないか。
- キ. 明瞭な図であるか。(線の使い分けが正しいか)
- ク. 製図規約を重視しているか。
- ケ. その他
 - ・ロフトを計画した場合は、それを平面図や断面図等に描いているか。
 - ・手書き表現で描かれているか。(CAD特有の表現のままでないか)

⑤課題5「木造2階建専用住宅」

(プレゼンテーション作品)

注意：2枚提出されているか。(1枚しか提出されていない場合は失格とする)

- ア. プレゼンテーション・表現を重視する。(プレゼンテーションと作りだされている作品が一致しているか)
 - ・パース、模型、説明、着色等で判断する。
- イ. 製図規約については重視しない。
- ウ. その他
 - ・計画や表現はオリジナリティがあるか。
 - ・各図面間での整合性はあるか。
 - ・縮尺については重視しない。
 - ・表面に氏名等を記入しない。

6. 審査講評

(1) 課題1 軒先マワリ詳細図

金賞図面は、文字のムラなどが見当たらず美しく整っており、バランスがよい作品でした。また、1本1本の線がハッキリとしており、安定している線で、メリハリのある大変美しい作品でもありました。

金賞以外の図面についても、丁寧かつ、正確に描かれている作品が多く見受けられたが、2次審査はコピー図面で審査をするため、引き出し線などにムラ(強弱)があるとコピーにハッキリとと写り、作品の出来映えにも大きく影響を与えている作品がありました。

【アドバイス】

次年度は、直線や垂線を美しく安定して描けるように、基本的なことを習得してください。

(2) 課題2 木造平家建専用住宅

金賞図面は、ありませんでした。

金賞以外の図面についても、細かく丁寧に作図している作品や立体を工夫し全体をまとめている作品が見受けられました。線が美しく作図力も高い図面もあったが、外構の計画や表現力が乏しい作品がありました。

【アドバイス】

次年度は、造園の計画も大切だが、基本的な作図能力を養い、断面線の切断場所や線の使い分けなどを工夫してください。

(3) 課題3 木造2階建専用住宅

金賞図面は、ありませんでした。

金賞以外の図面についても、昔ながらの土間を活かした老夫婦の生活を考えていることがうかがえたりする図面があったが、明らかに構造的に柱が不足しているであろうという図面もありました。

【アドバイス】

次年度は、生活する側の視点を大切にしつつも、より良い作品になるよう検討を重ね、老夫婦に優しい作品を期待します。

(4) 課題4 木造平家建専用住宅(CAD製図)

金賞図面は、ありませんでした。

金賞以外の図面についても、CADの特性を活かしてしっかりと作図している作品がありましたが、寸法の記載の仕方が間違っており、組立基準線のXY軸が目立ち過ぎてバランスが悪い作品も目立ちました。また、印刷する際の設定が不十分なのか、線種のメリハリがない作品が多数、見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、画面上で見ている作品と紙面上では大きく異なるため、完成図面を一度印刷してから、全体的なバランス等を確認していただけると単純なミスは防げるかと思えます。

(5) 課題5 木造2階建専用住宅

(プレゼンテーション作品)

金賞図面は、レイアウトを工夫し、コンセプトが受け手に伝わるようにプレゼンテーションされている作品でした。また、パース等の表現が見やすいだけでなく、わかりやすく見応えのある作品でした。

金賞以外の図面についても、CADで描いただけでなく、細部までこだわって作図している図面や、イメージを伝えようと努力している跡が感じられる作品が見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、様々な手法を凝らし、第37回を超える作品を期待します。

平成31年4月1日

製図コンクール運営委員長 卜部 寿々子

13. 資格取得推進委員会 活動報告

群馬県立高崎工業高等学校
石井直樹

1. 「二級・木造建築士」試験について（生徒の受験）

全国高等学校建築教育連絡協議会 会長 平田誠一様（東京都立合工科高等学校長）のご理解・ご協力を賜り、全国高等学校建築教育連絡協議会 前事務局長 小島聡様（千葉県市川工業高校）のご尽力により、平成29年12月11日（月）に国土交通大臣 石井啓一様（担当課：国交省住宅局建築指導課）宛てに標記試験の早期受験（実務経験0年）が可能となるよう、建築士法等の関係法令の見直し検討を依頼する要望書を提出していただきました。

この要望が認められ、2018年12月14日に公布された「建築士法の一部を改正する法律」により、二級・木造建築士試験の受験資格の要件となっている実務経験が、原則として、建築士免許の登録要件に改められました。

この改正により、一定の指定科目を修めて高等学校等を卒業した者は、高等学校等を卒業後にすぐに標記試験が受験可能になります。

早ければ2020年試験からの適用が想定されます。

標記試験の実施団体である公益財団法人 建築技術教育普及センター様による、受験意向アンケートを実施していただきありがとうございました。

2. 「一級建築士」試験について （教員の実務経験の認定依頼）

一級建築士試験も、二級・木造建築士試験同様に2018年12月14日に公布された「建築士法の一部を改正する法律」により、建築士免許の登録要件に改められています。

従いまして、一定の指定科目を修めて大学等を卒業した者は、大学等を卒業後にすぐに標記試験が2020年より受験可能になる見込みです。

平成17年度の構造計算書偽装事件以降、一級建築士試験の受験資格のうち実務経験として、研究者（大学教員）及び教育者（専門学校教員・高等学校教員）としての各経験がその対象から外されてしまいました。

この内容を見直していただく為に、平成30年9月20日（木）国土交通省 住宅局 建築指導課様による「建築士資格に係る実務経験のあり方に関するヒヤリング」に本委員会の五十嵐先生（宇都宮工業高校）、小林先生（蔵前工業高校）、石井の3名が参加しました。

その後、平成30年10月4日（木）国土交通省 住宅局 局長 石田 優様に「1級建築士試験」の研究者・教育者の受験認可要望書を提出しました。

要望書は全国高等学校建築教育連絡協議会 会長 平田誠一様（東京都立総合工科高等学校校長）名で提出しました。

訪問者は、平田誠一会長と石井で、一般社団法人 日本機械土工協会 事務局長 保坂益男様にも同行していただきました。

多くの先生方の教育業務が実務経験として認めていただける様に、丁寧に説明をしてきたつもりです。

国土交通省が「建築に係る教育・研究に関する業務」等の見直しについて検討していただいています。

国土交通省住宅局建築指導課による「建築士法の一部を改正する法律の施行に伴う関係省令・告示の改正案」に関するパブリックコメントに対して、令和元年8月9日（金）に意見書を全国高等学校建築教育連絡協議会として下記内容を提出しました。

また、専門学校の全国組織である全国専門学校建築教育連絡協議会（会長：日本工学院八王子専門学校 山野大星様）としてもご理解・ご協力を賜り、上記のパブリックコメントに意見書を提出していただいております。

記

平成29年度より建設業界への若手の入職促進と定着を目的に技術検定試験の政令改正が行われるなど、建設産業の担い手確保に向けた取り組みがなされています。一方、建設産業政策会議（平成29年7月4日）建設産業政策2017+10～若い人たちに明日の建設産業を語ろう～の22ページ、⑦担い手の育成（指導者等）を確保するで、「工業高校等と連携した地域ぐるみの取り組みの推進」では地域の建設業団体や教育委員会等と連携した学校キャラバン等の全国展開の実施と提言されています。

教える側の人材を確保し、技術力を向上させることにより次代に誇れる産業となり、建設業界のさらなる発展に繋がるものと確信しております。

この点、平成17年度の構造計算書偽装事件以降、一級建築士試験の受験資格のうち実務経験として、研究者（大学教員）及び教育者（専門学校教員・高等学校教員）としての各経験がその対象から外されております。

平成30年度の高等学校学習指導要領で「実践的・体験的な学習活動」が明記されています。実践の場である製図のコンペティションの機会も増えております。また、官民間連携教育が行われていて研究機関や民間機関との共同での研究を行うことが増え、議論する為にも一級建築士の資格を取得している必要があると考えます。

建築教育に携わる教員は学生・生徒に資格取得を勧める立場にありながら教員自らが資格を有していないという矛盾が生じております。

平成17年度以前の教育者は一定数の一級建築士資格を有しております。

建設業振興基金様が平成28年6月に発行した「建設系学科工業高等学校取組事例集」で教員の建設業関係の保有資格のアンケート結果によると、1級建築士保有者は131名（比率：11.4%）と報告されています。

（全国の建設系学科239校を対象に実施し、回答率49.8%）

近年の社会的な背景を基に、設計・施工の実務に即した教育が求められていることから教育者も高度な知識・能力を有していると感じております。

つきましては、教育者が実践している教育業務を、実

務経験の対象として認めていただきますようお願い申し上げます。

以上

国土交通省が、どのように判断するか分かりませんが、できるだけ多くの教育関係者の教育業務が「一級建築士試験」の実務経験として認めていただける様に活動してきたつもりです。

14. 秋田県の報告

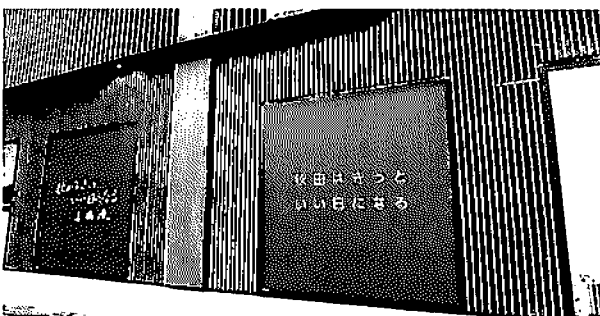
秋田県立秋田工業高等学校
菅原伸一

2020東日本建築教育研究会秋田大会へ向けて

第63回の都道府県理事会において、70回大会は秋田県でよろしいですか？と突然聞かれた。資料に掲載されていたローテーションがあり、断る理由が思いつかなかったため参加者の視線を感じながら了解した。そう、あれから早6年が経ち、少しずつ準備を進めているところであるが、多種で膨大な準備に追われている。早く各校に分担したく、分担するための準備を進めている。

昨年より、主査会に同席しながら本部の準備運営を垣間見て、北海道大会の準備を進める室蘭工業高校の南先生の姿が一年後の自分であることに不安を覚えながら、始まったのだと感じた。昨年の長野大会を運営側目線で学び、また過去の大会事務局長の先生方との情報交換を深めていった。データを見れば、各県ともよくここまで準備が出来たものだと、ため息が出ることもある。

そして、今年の北海道大会には、各校より計11名が参加した。秋田県内には6校あるが、1校は10数年大会参加ができておらず、他校でも一部の職員に偏っての参加で近年は参加していない職員の方が多いという実態があるため、多くの職員で視察できたことは大変有意義であった。ポイントと役割分担をしながら、3日間の視察で大会期間の動きはだいぶ感触を掴むことが出来たが、遂行するための準備がやはり重要であることを改めて感じた。それを受けて、遅まきながら今年2回目の準備委員会を11月に行ったところである。7月には地元の講演講師の方に依頼、持田様にも北海道大会で直接依頼し、順調にいったことは良かった。しかし、その後も大会テーマが決まらない。北海道大会では、5月に決めた(仮)テーマと大会をイメージしたリーフレットを配付。その後、講師が正式に決まったので、その方の研究や実践を鑑み、私達にとってより納得がいくテーマにしようと思慮し、11月に「本都秋田 温もりを次世代へ」と決めた。



秋田県内各地で、公共空間の木造化や外観も含めた木質化が進んできている。特に、県都秋田市はその傾向が顕著で大きく進化してきた印象がある。中でもノーザンステーションゲート秋田プロジェクトは、JR秋田駅を中心とし、秋田県、秋田市、JR東日本が地域と連携して進めている名称であり、2017年4月に秋田駅の諸施設のリニューアルを実施した。地域資源である秋田杉を始めとした県産材を活用した特徴を持つ新たな景観・公共空間を実現した。「アキタリビング」という空間コンセプトのもと、秋田に訪れたお客さまのおもてなしと地元の方の居心地の良さがデザインとなっている。

本部の了承後、この大会テーマの元、秋田の建築や街並みを全面に出した節目の大会となるよう、誠心誠意務めていきたいと思ひます。ぜひ秋田へお越し下さい。

秋田県立秋田工業高等学校

本校は秋田県中央部、日本海を望む秋田市中心部に位置し、明治37年に工業技術者の養成を目的に創立された、創立115周年を迎えた県内最古の工業高校であり、建築科は創立当時からある歴史ある学科です。以来、校訓である「質実剛健」の精神を守り、歴史と伝統を築きこの間3万余名が卒業し、地元はもとより全国各地で産業界のリーダーとして活躍しています。今年5年がかりだった改築工事が終わり、9月に落成式が行われました。これからも新たな歩みを続け、地域と共に躍進します。

機械科70名、電気エネルギー科、土木科、建築科、工業化学科各35名の定員です。2年次からは、技術者として就職したい生徒と、進学してより高度な技術を学びたい生徒のために選択制カリキュラムを導入しています。

【建築科】人間生活に欠かせない建築について、考え方や構造・デザイン・設備・施工方法の基礎的・基本的な学習をします。さらにコンピュータを使った実習で、情報化社会にも対応します。そして、次世代の建築各分野で社会に貢献し、活躍できる素養を身に付けた人材を育成します。県建築設計作品コンクール最優秀賞、秋田の住宅コンクール高校生の部・最優秀賞、県立大学建築提案コンテスト優秀賞、ものづくりコンテスト1位などの県内トップクラスの実績があり、多様な進路選択ができます。

秋田県立大館桂桜高等学校

本校は、平成28年度、大館桂高等学校、大館工業高等学校、大館高等学校全日制課程の3校が統合して開校しました。校名の「大館」は三つの高校が位置する地域を示すとともに大館高校に、「桂」は大館桂高校の校名や佐竹西家の城が「桂城」と呼ばれていたことに、「桜」は、大館工業高校の所在地であった「花園」に由来しています。校訓を「至誠 創造 錬磨」とし「生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばし、地域社会を愛し、自立してふるさと秋田の発展に貢献できる人間の育成を目指す」ことを教育理念に掲げ、多様な学科が協働し合いながら、特色ある教育活動を展開しています。また、2

1世紀を生き抜くために桂桜生に身につけさせたい力「桂桜力」として「習得力」「思考力」「行動力」「発信力」を掲げ、生徒の進路志望を実現するために生徒と教職員が一体となって邁進しています。普通科（2クラス）、生活科学科、機械科、電気科、土木・建築科（各1クラス）があります。

【土木・建築科】建築コースは平成9年に大館工業高校に開設され、現在に至ります。2年次の実習では地元工務店の大工をマスターとして招き、熟練の技術を見て直接指導を受けながら、墨付から建方まで行い、在来工法の軸組を完成させます。3年次は、設計コンクールや3級技能士への挑戦、実習の廃材を活用した木のおもちゃ作りによる地域貢献など、幅広い活動をしています。

秋田県立能代工業高等学校

本校は明治45年秋田県工業講習所として設立されてから、今年度で107年となる伝統校であり、校是「和衷勤労」のもと、ものづくりを中心にすえた教育を実施しております。平成30年度は全国ものづくりコンテスト木材加工部門で全国優勝することができました。木都能代にある本校が、木材加工部門で全国優勝できたことはとてもうれしいことです。これは、木都を形成した地域の技術が本校に伝わっていたことと地域の皆様が常に本校を応援してくれたためであると思っております。

さて、今年度は能代工業高等学校も変わりました。今年度の入学生は、令和3年4月に誕生する能代地区専門系統合校（仮称）（以下、統合校）の一期生になります。彼らは能代工業高校の制服ではなく、統合校の新しい制服を着用しています。また、従来の本校のカリキュラムではなく、新しいカリキュラムで学習しています。現在は、一部校舎の解体が終了して新しい校舎の建設が始まっています。このように今年度は大きく変化する年ではありますが、これまでの能代工業高等学校の伝統をしっかりと継承しつつ、それをさらに発展させ、統合校につなげていきたいと考えています。設置学科は、機械科、電気科（電気コース・情報技術コース）、建設科（建築コース・土木コース）、理数工学科（現3年のみ）。

【統合校：工業科3科（機械科・電気科・建設科）、農業科2科（生物資源科・生活福祉科）】

【建設科 建築コース】設計から施工まで建築に関する基礎的な知識や技術を習得し、将来は創造性豊かな技術者として社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

秋田県立由利工業高等学校

本校は昭和37年に、急速に発展する産業界の要請と地域の強い高校進学希望に応えるため、本荘市由利郡および県当局の熱望と協力によって設立された工業高等学校であって、南に鳥海山を望み西に日本海を控える。平成13年度より校舎全面改築を行い、16年度11月には新校舎の竣工式を行った。新しい時代にふさわしい工業高等学校として近代的な校舎、実習工場、および各種運動施設等が約10万㎡の広大な校地に整備された。

現在、機械科、電気科、環境システム科、建築科の4学科が「自律・創造・誠実」の校訓の下、建学の精神である「全人の夢を育む」という高邁な理想に向け、将来の自己実現を目指し学業、部活動、生徒会活動等教職員

とともに充実した学校生活を送っている。また、工業高校では北海道・東北初の「航空機コース」を設け、1年次には全生徒が概論を学び、2、3年次には先端加工技術などについても学べるよう全学科を対象として希望生徒が選択できる教育課程を編成している。

【建築科】「人間生活を豊かにする住空間の創造」というテーマをもとに、将来建築技術者として現場で活躍できる人材の育成を目指して取り組んでいる。生徒の興味関心を引き出す面からも進路選択の自由度の面からも、航空機コースを含むどの選択科目を学んでも二級建築士の指定科目が修得可となる教育課程としている。地元や県外の建設企業で多くの卒業生が活躍している。

秋田県立大曲工業高等学校

本校は、昭和37年（1962年）高度経済成長最盛期において、工業立国を目指す産業界の要請と地域産業の発展に寄与する技術者育成の期待を担って、機械科、電気科、土木科、建築科で開校し、令和4年（2022年）には創立60周年を迎える工業高校です。現在は機械科、電気科、土木・建築科（土木コースと建築コース）の3学科からなり、各学年4クラスの計12クラス、生徒定員420名となっています。卒業生は現在12,155名を数え、県内はもとより日本各地において産業界の第一線で活躍しており、県南地区における工業教育の中心校として着実に歩みを進めてきました。また、今年度から県内高校では二番目となるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し「地域の教育力を活用し、次世代を担う人材を育成する」をテーマとした学校運営を進めています。

【土木・建築科】2年次から希望によりコース選択ができるようになっています。建築コースにおいては、基礎・基本の充実を図るとともに、2級施工管理技士試験などの高度な資格取得に挑戦し、実績を残しています。

平成26年12月には、体育館および実習棟の改築工事が完了し、これまで以上に教育環境が充実する中で、生徒一人一人がそれぞれの目標の達成に向けて努力を積み重ねてくれるものと期待しています。

秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校

本校は、平成16年4月に秋田県で初めての県立中高一貫教育校として、県南部の横手市に開校しました文学と歴史の薫り漂う横手市の大きく開けた横手盆地を見渡せる場所にあります。施設として太陽光発電や、雪冷房システムを備え、276名収容の清陵ホールやメディアホール（図書館）も自慢の設備です。本校は全国初の工業系学科のある中高一貫教育校で、中学校は各学年2学級、高校は1学年と2学年が普通科、総合技術科（工業系）とも2学級で3学年は普通科3学級、総合技術科2学級となっており、生徒が興味のある分野の探究や発展的な学習によってより深い学びに取り組んでいます。

設置学科は、普通科（2）、総合技術科（2）システム類型、情報類型、環境類型の3コース。

【環境類型】土木や建築に係わる分野の知識を習得し、将来建設業で働く人材を育成している。資格取得では2級土木施工管理技士や2級建築施工管理技士、測量士補、建築CAD検定などの資格取得に力を入れている。

15. 群馬県の報告

群馬県立高崎工業高等学校

石井直樹

A：各校の紹介

1. 前橋工業高校 全日制・定時制

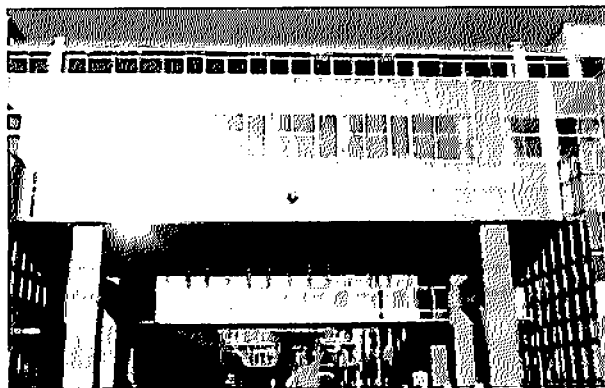
所在地 〒371-0006 前橋市石関町137番地1
TEL 027-264-7100
FAX 027-264-7101

○教育目標

専門教育と普通教育の調和を図り、社会の形成者として必要な資質と能力を開発伸長させ、平和で文化豊かな国家及び国際社会の発展に寄与する人材を育成します。また、「ものづくり」を通して豊かな人間性の育成を図り、将来のスペシャリストとして、心身ともに健康で、勤労と責任と協調を尊び、創造的な能力と実践的な態度を育てます。

募集定員：全日制 建築科 40名

募集定員：定時制 建築科 40名



2. 高崎工業高校 全日制・定時制

所在地 〒371-0046 高崎市江木町700番地
TEL 027-323-5450
FAX 027-325-1247

○教育目標

社会の変化に適切に対応するため、生徒一人一人が豊かな人間性を備え、自ら考え計画し、意欲的に行動できる力を育成する。また、能力・適性、興味・関心の幅を拡げ、価値ある新しいものを生み出せる創造力や自立的な社会生活を送ることのできる規範意識の高い人間づくりを目指す。

募集定員：全日制 建築科 40名

募集定員：定時制 工業技術科 くり募集40名

(入学後に都市デザインコース、テクニカル工学コースを選択)



3. 桐生工業高校 全日制

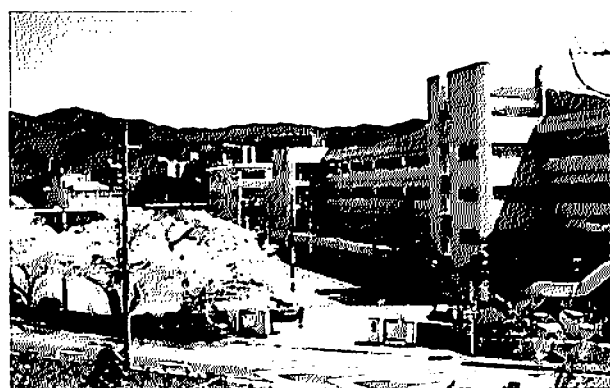
所在地 〒376-0054 桐生市西久方町1-1-41
TEL 0277-22-7141
FAX 0277-46-4703

○教育目標

科学技術創造立国日本の中核をなすスペシャリストとして、産業に従事しようとする者に必要な知識と技術を習得させるとともに、責任を重んじ、自立的精神に充ちた心身を有する健全な人材を育成する。

募集定員：建設科40名

(2年次より建築、土木各コースを選択)



4. 館林商工高校 全日制

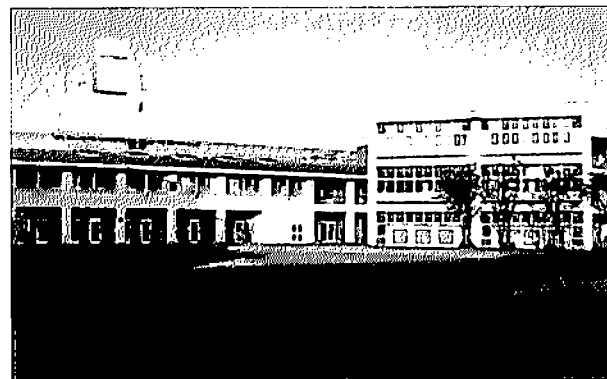
所在地 〒370-0701
邑楽郡明和町南大島660番地
TEL 0276-84-4731
FAX 0276-84-5258

○教育目標

- 1 真理を求め、自ら考える力を養う。
- 2 勤労と奉仕を尊び、自立する精神を涵養する。
- 3 スポーツ、文化を愛し、明るくたくましい心身を育てる。

募集定員：工業系 くり募集80名

(入学後に建築科、生産システム科を選択)



5. 利根実業高等学校 全日制

所在地 〒378-0014 沼田市栄町165番地の2
TEL 0278-23-1131
FAX 0278-22-5136

○教育目標

— 地域に根ざした特色のある専門高校の創造 —

「正しく、明るく、和やかに」の校訓のもと、生徒と職員がともにステップアップできる、地域に根ざした特色ある日本一の実業高校の創造を目指し、産業社会や地域社会で意欲的に活動できる、誠実で思いやりのある人材を育成する。

募集定員：工業系 くりり募集80名

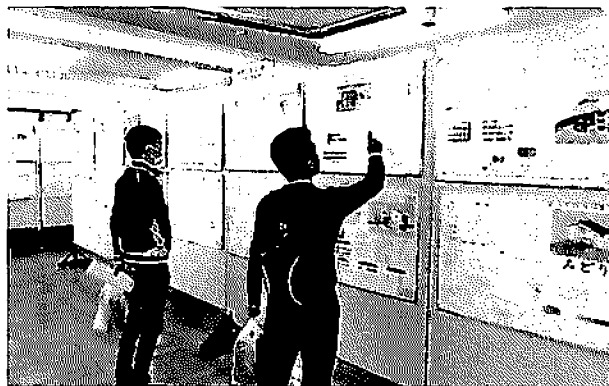
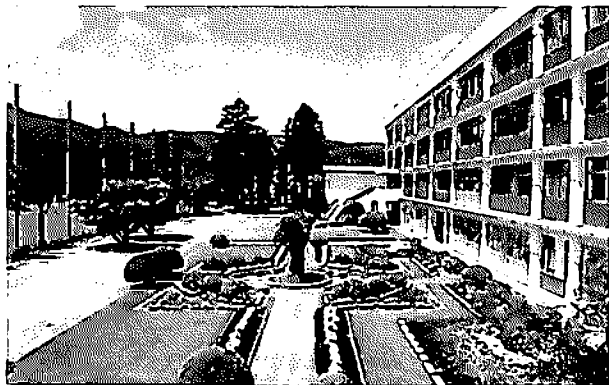
(2年次より科・コースを選択)

環境技術科 加工技術コース、建設コース

(建築コース、土木コース…H31年度入学者から)

機械システム科

機械コース、メカトロコース



設計製図課題展示の様子

B：群馬県高校生「建築展」の取り組みについて

第56回群馬県高校生「建築展」を下記内容で実施しました。

実施日：令和元年11月8日（金）、9日（土）

会場：高崎工業高校（同校の文化祭と同時開催）

主催：群馬県工業教育研究会

後援：群馬県・群馬県議会・群馬県教育委員会・群馬県産業教育振興会・群馬県定時制通信制教育振興会・高崎市・（一社）群馬県建設業協会・（一社）群馬建築士会・（一社）群馬県建築士事務所協会・（一社）日本建築学会関東支部群馬支部・（公社）日本建築家協会関東甲信越支部群馬地域会

活動内容についてご理解を賜り、多くの団体から後援をいただき各校持ち回りで毎年開催しています。

設計製図課題

課題1：木造平屋建専用住宅（トレース）

主に1年生が対象

課題2：木造住宅の設計（設計）

主に2年生が対象

課題3：店舗併用住宅（設計）

主に3年生が対象

作品展示

各校の授業で作成した作品を展示しました。

文化祭と同時開催だった為、多くの方に製図図面や生徒作品を観ていただきました。

来場者数：705名

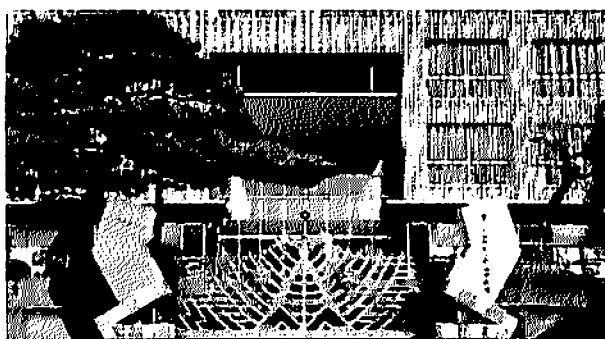


作品展示の様子

16. 富山県の報告

富山県立高岡工芸高等学校 井村 笑子
富山県立富山工業高等学校 藤井 和弥

富山県立高岡工芸高等学校 全日制 建築科



本校は、富山県の西部にある高岡市に明治27年に富山県工芸学校として開校された。その後、昭和16年に富山県立高岡工芸学校に改称し、昭和26年に建築科が創設される。平成22年に学校統合により、機械科、電子機械科、電気科、建築科、土木環境科、工芸科、デザイン・絵画科の7学科となる。平成26年に創立120周年記念式典を迎えた伝統校である。

教育目標は、より高さを求めてやまない「尚美」の精神に根ざし、豊かな教養を身に付け、ものづくりを通して新しい時代の創造を担う、自主自律の気風に富んだ健康でたくましい人材の育成を目指している。全国でも珍しい美術館（青井記念館：内井昭蔵設計）が併設され、芸術に触れる環境が整っている。

1学年で取り組む「ものづくり学」では、所属学科以外の実習を体験するという、学科の枠を越えた横断的な授業を展開している。各学科における専門的な知識や技術の習得を軸としながら、「ものづくり学」を通して、ものづくりに必要な幅広い視点や、多様な職業に対応し得る能力や態度を身に付ける。2学年では、全生徒を対象に、3日間のインターンシップを実施している。生徒は原則、各自が所属する専門分野の事業所へ赴き、職場体験を行うことで、専門教科への興味関心を高め、職業観を養い、進路実現に役立てている。また生徒の進路実現を達成するため、進学に向けての選択科目と就職に向けての選択科目を導入し、進路目標に合わせて、共通科目と工業科目を選択学習することができる。

ここ数年の建築科の生徒の進路希望の傾向は、4年制大学の建築学科を中心とする進学希望者が5割、富山県内の建設業を中心とした就職希望者が5割となっている。近年は、女性の現場監督の需要も増え、各企業で活躍している。そのため、2級建築施工管理技術検定は全員受験で取り組み、高い合格率を維持している。また、厚生労働省委託「若年技能者人材育成支援等事業」より木材加工の出前講座を開講し、木材加工の技術・技能を高め、高校生ものづくりコンテスト木材加工部門や技能検定3級、2級（建築大工）に挑戦する生徒が増えた。今後は、「大工」、「瓦」、「板金」、「左官」、「インテリア」、「建具」などの出前講座（高校生建築志の未来授業）を富山工業高校と2校合同で行う予定である。（本校で開催予定）

昨年からはJIA北陸支部 富山地域会主催の「即日

設計・ONE DAY WORKS」が開催され、2019年は、地方鉄道の駅舎の計画というテーマのもと、1日目は計画予定地の現地調査を実施し、2日目には現役の建築士の方から直接アドバイス受けながら基本設計を行い、優秀作品は発表、表彰される研究会が本校で開催される。

企業との連携事業について

県内の住宅メーカーからの依頼を受け、新興住宅地に建設を予定するコミュニティーセンターの企画・設計に本校建築科生徒が携わった。企画に興味・関心のある生徒を募り、H30年5月～H31年3月の期間で実施された。

生徒（2年生3名、3年生2名）は建設予定地の現地調査を行うことからスタートし、新興住宅地の規模（全98区画）や入居予定者の家族構成、年齢構成の検討などを企業の方や教員と話し合いながら考えた。新興住宅地ということから、若い子育て世代の住居が想定できたため、設計コンセプトを「子育て支援を考えたコミュニティーセンター」とし、テーマに従って配置計画から平面計画・立面計画などの基本設計を行った。そして、2つの設計案を考え、企業の方にプレゼンテーションという形で審査を頂き、設計案を決定した。

その後、選考された案をもとに企業の方とともに実施設計を行い、9月に起工式が実施された。起工式で行われた地鎮祭では生徒は、初めて参加する式典に緊張しながらも、「鎌入れ」や「楸入れ」などの所作を経験することができた。

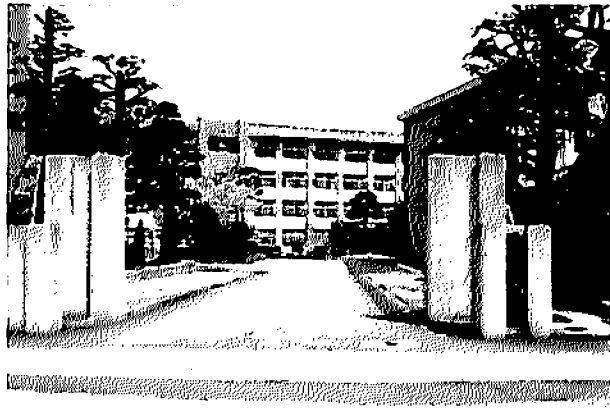


工事が始まると、現場の見学や内装・外装の打ち合わせなどを併行して進めた。生徒達は、自分が設計した建築物が実際に現実として形になっていくことに喜びを感じ、また、さまざまな工程があることや、そこには多くの職種の方々が関係していることに改めて関心を寄せていた。そして、2月に行われた竣工式では、関係頂いた多くの方々とともに、その完成を喜んだ。

このコミュニティーセンターの企画・設計が関係生徒にとって貴重な学習の場となったことは言うまでもないが、建設過程の細かな現場の写真や、様々な図面や書類などを本校建築科生徒の今後の学習教材として活用して欲しいと提供いただいた関係企業の方には、心から感謝申し上げたい。



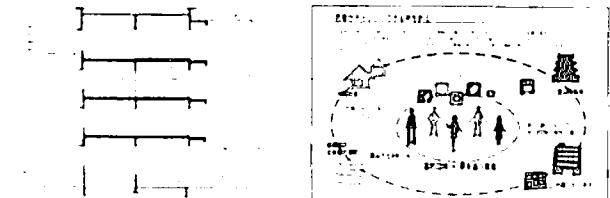
富山県立富山工業高等学校 全日制 建築工学科



本校は、大正5年に市立富山工業学校として開校し、名称や規模を変えながら現在に至る、県内最大の総合的な工業高校として、創立から100年以上つづく伝統校であり、また富山のものづくり産業を支える中核校となっている。全日制と定時制で構成され、全日制は1学年に6学科8クラス（機械工学科と電気工学科のみ2クラス）の320名、全校生徒数は1,000人近くになる。これまでの卒業生の累計も約39,000人に及び、様々なかたちで地元富山の産業を支えている学校といえる。

建築工学科は、その中でも最も古くからある学科の一つである。着任して15年目になるが、その間、建築教育という学習カリキュラム以外のところで、有志の生徒を募っているいろいろな設計コンペの指導を行ってきた。この活動が私にとってライフワークのようなものであり、これまで幾度か大きなコンペで生徒が全国入賞するなどの成果を上げることができた。その中でも高校生の「建築甲子園」で2016年と2017年の2年連続で全国優勝をしたことが最も大きな成果であったといえる。

そして、2017年度の作品「夢を描きながら住まうこと～地域を創るわかもん団地～」が、1年後の富山県令和元年度予算において、優勝案をいかした地域の活性化事業に向けて予算化された。



事業化のきっかけは、2018年1月15日に富山電気ビルで連合会より片山審査委員長はじめ関係者の皆様をお迎えし、生徒・教員・OBや建築士会会員が見守る中、「建築甲子園」の優勝表彰式を行い、同月26日には富山県建築文化賞の表彰式があり、建築甲子園優勝チームは「特別賞」を受賞したところからはじまった。

後日、知事表敬した際に、「素晴らしい作品だ。折角

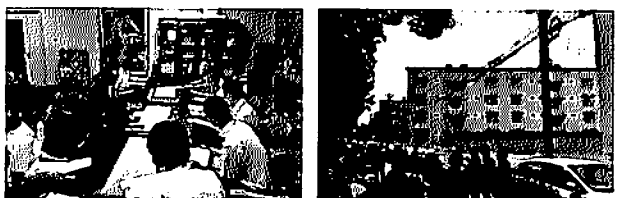
のアイデア、うまく生かせないか検討したい」と発言があった。リップサービスとばかり思っていたところ、今年2月に県の新年度予算発表があり、その際に優勝作品のアイデアをいかした新事業がなされ、テレビや新聞誌面で大々的に報道された。

若い高校生のアイデアを知事が見逃さず、県の事務当局が真剣に検討した粋な計らいとも言える事業化に向けた動きは、県内高校生の励みと刺激となり、県民の大きな反響とともに「令和」の新時代を感じさせる出来事となった。

建築甲子園での提案は、富山市連町の県職員住宅を題材にした団地のリノベーション計画であった。団地に6つの機能（シェアハウス、コワーキングスペース、レンタルオフィス、創作活動スペース、ギャラリー、保育室）を持たせ、職住一体型の複合施設へとリノベーションする。その結果、それぞれの夢が叶い、地域も活性化する「わかもん（若者）団地」を提案した。アプリの開発者や子育てをしながら起業をめざす女性など、夢を追う若者や夢を叶えたい若者が集まり、同じ場所で仕事や共同生活をしながら、互いに刺激し合いさまざまなコラボレーションが実現する。

また、SNSを使い、個々のイベントの様子、普段の生活などを、さまざまな地域や国境を越えて世界へ発信することによって、新たな人と物と情報の動きにつながり、地域社会が活性化することも狙っている。実際の事業プランでは、高校生の優勝プランを最大限に活かしながら、整備対象の4棟のうち1棟をスタートアップカフェ、コワーキングスペース、シェアオフィスなどの創業支援施設、2～3棟をUIターン、起業家向け住居などとする予定である。プロポーザルによる整備内容を決定したうえで、今年度は基本・詳細設計を行い、その後、2020年度の改修工事を経て、2021年度当初のオープンをめざして整備を進めていく予定である。

プロポーザルにあたり、私も選定委員の一人として、また建物のデザイン監修者として参加することとなっている。また、設計や施工段階で高校生の協同参加も予定されており、まさに県の目玉事業であると共に、建築教育の学習プログラムとしても大きな可能性を秘めたプロジェクトとなった。



今回の事業化をうけて、在校生や卒業生、教職員、企業や建築関係団体の方々から、期待や激励の言葉を掛けていただけたことは大変嬉しく、また、感慨深いことだった。建築教育の分野では、1分の1で実物をつくる機会などほほなく、それが在校生と一緒に民間事業者と協同プロジェクト化できることは、教育的に大変価値あることだからだ。また、もともと若者の夢を描ける場をつくろうという提案だったのが、本当に若者の夢を叶えるような出来事となったことがすごいと思っていて、それを実行に移してくださった石井富山県知事をはじめ、県庁の方々に対しても敬意を表したい。

17. 愛知県の建築教育の現状

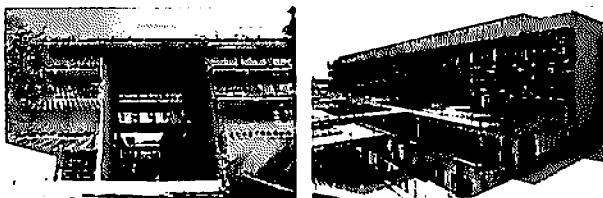
愛知県理事
愛知県立佐織工業高等学校
富山正士

1. 愛知県立愛知総合工科高等学校 全日制 建設科

本校は、愛知工業高校と東山工業高校を統合し、東山工業高校の跡地に新しい校舎が建設され、平成28年4月に開校した。機械加工科・機械制御科・電気科・電子情報科・建設科・応用化学科・デザイン工学科の7学科が設置されているが、入学時は全科一括募集を行い、1年次の前期にもづくりの基礎基本を、後期から5系列に分かれ専門的な知識の基礎を学ぶ。2年次からは、各科に分かれて専門的な知識の習得に励む。建設科では、建築・土木どちらの分野も学習し、未来の住みよい生活環境を構築する技術者を育成する。

新しく建設された校舎は、建物自体が教材となるように設計施工されており、建築の授業でも利用できる部分が多くある。建設途中の写真や資料も施工会社から提供されており、授業に大いに活用されている。

「夢志(ゆめ) 実現、輝かせ 知・技・心」の校訓の元、自らの専門分野を基幹として幅広い知識、技術・技能を学び、総合的なものづくりの実践力を育成している。



2. 愛知県立城北つばさ高等学校 定時制 ものづくり科

平成29年4月、愛知県立愛知工業高等学校と同じ敷地内に愛知県立城北つばさ高等学校が開校された。定時制課程昼間部と夜間部があり、共に単位制である。夜間部は前身の愛知工業高校定時制ものづくり科を継承した形を取っています。以前設置されていた機械科・電気科・建築科の内容を中心に授業を行っています。

建築系の授業は構造と設計、実習・製図・課題研究などです。実習系では1年生の継手・仕口、踏台の製作。2年生ではプランターの製作とCAD。3年生では3級技能士の課題。4年生では小椅子の製作を行っています。他にはアーク溶接・旋盤・ロボット・電気工事・MCなどを実施しています。

近年は入学者が定員を満ちし、退学する生徒も減ってきています。新入生の半数近くが不登校生徒ではありますが、入学後は欠席も少なく、意欲的に登校して生活しています。中には積極的に資格試験に挑戦し、電気工事士や消防設備士、左官技能士を取得してジュニアマイスターを取得した生徒もおります。昔の定時制は元気のいいヤンチャな生徒ばかりでしたが、近年は大人しく、メンタル的に弱い子が多くなりました。基礎学力を向上させて、進級・卒業、そして建築関係の仕事に就職させたいと考えています。



3. 愛知県立一宮工業高等学校 全日制 建築科

昭和38年に開校した伝統ある学校である。学年あたり、機械科2クラス、電気科2クラス、建築科1クラス、土木科1クラスの合計6クラスで構成されている。学校としての特徴は、大学進学コースと工業スペシャリストコースの2つのコースが選択できるカリキュラムが組まれている。建築科は、1年生においては土木科との一括募集で2クラス80人を受入れ、2年時に建築科40人、土木科40人に分ける選科を行っている。建築科の特徴は、生徒の就職希望が施工会社から個人の棟梁に弟子入りする大工希望まで多岐にわたるので、全員実習のテーマで基本をおさえながら選択実習のテーマで様々な技能教育を行っている。木造在来構法2階建て骨組みと鉄骨造3階建て骨組みの建て方実習は、施設にも恵まれて建築科の代表的な全員実習のテーマである。選択実習のテーマとしては、2級鉄筋技能士実技問題を使った鉄筋組立て実習、型枠組立て実習、3級大工技能士実技問題を製作する木材加工実習、溶接実習などを取り入れている。製図については、製図の時間のみを使い、ほとんど家庭課題のない展開で行っている。授業後は、体力とコミュニケーション能力を高める部活動に取り組ませている。



4. 愛知県立豊橋工業高等学校 全日制 建築科

本校は、昭和19年4月に当時の豊橋市立商業学校を変えし豊橋市立工業学校として創設される。昭和27年県立移管により、愛知県立豊橋工業高等学校となる。本年度創立77年を迎え、機械・電子機械・電気・電子工学・建築・土木の6学科からなる学校である。

本校の教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成を図り、時代の進展に適應でき、創造力・実践力に富む人材を育成する。」のもと、地域差社会で必要とされる学校であることを目指している。

建築科の取組としては、基礎基本を大切にしている。製図は3年間を通して東日本教育研究会の建築製図コンクールに挑戦し、毎年数名の入賞を果たしている。卒業設計では、設計条件をもとにテーマを決めて取り組み、人に伝える力を身に付けるため個人発表にも挑戦している。実習では、木工・計画・施工・模型・CAD・透視

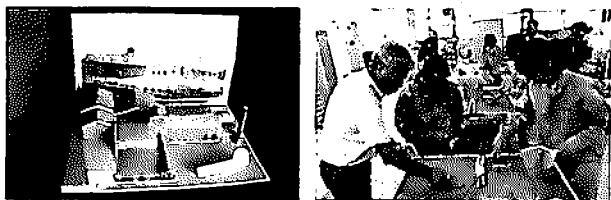
図・配筋・構造と多岐にわたり実施している。実習の内容は、時代の変化に対応できるように、毎年精査を進め内容の検討をしている。

卒業後は、毎年建築関連の地元企業を進路先として選択する生徒が多く、一部の生徒は専門的知識を高めるために進学している。



5. 愛知県立半田工業高等学校 全日制 建築科

本校は昭和38年4月、地域社会の強い要望により知多半島唯一の工業高校として機械科と電気科の2学科で開校されました。建築科は土木科との一括募集にて昭和49年に新設されました。現在は電子機械科2クラス、電気科2クラス、土木科1クラス、建築科1クラスの4学科6クラスの工業高校です。校訓は「人となれ」を目標に教科指導や特別活動および校外活動など、あらゆる機会を指導の場として望ましい人間形成に努めています。毎年2月には平成6年度から継続している課題研究発表会を企業の方や地元の中学生を招いて行っています。建築科では、ものづくりを中心とした授業内容とし、生徒が興味を持って積極的に取り組めるよう創意工夫に努めています。中でも、課題研究の一つであるペーパークラフトでは、東日本大震災で被害にあった大川小学校や地元の半田市赤レンガ建物、ミツカンミュージアムなどをペーパークラフト化し、赤レンガ建物こどもワークショップ・ペーパークラフト体験教室などの各種イベントに参加し、地域との連携にも努めています。また、建設業協会の支援のもと、左官や造園の体験実習、建設現場の見学など、生徒が建設業により興味・関心を示すようにと様々な取組を行っています。



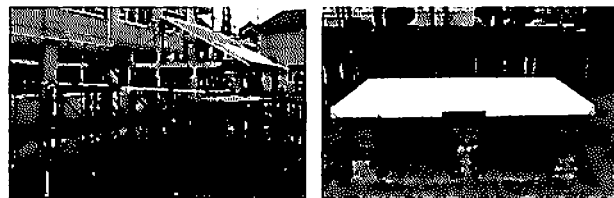
6. 愛知県立碧南工業高等学校 全日制 建築科

本校は碧南市北部に昭和48年に設立され、機械科2クラス、電子工学科2クラス、建築科1クラス、環境工学科1クラスの4学科が設置されている。本校の近隣には、自動車関連企業が多くまた、三州瓦の製造工場もあり瓦の産地でもある。校訓「人成って技育つ」の精神のもとに社会人基礎力を養うことを教育目標としている。

本校では、平成19年度より地元企業の協力により2年次において4学科生徒全員に4日間のインターンシップを実施している。また、全学科において一部の生徒は、「クラフトマンⅢ」研修講座に積極的に参加し、高度の専門技術・技能の習得を目指している。他にも、地域との連携を図り、地元の小学生を対象にものづくり教室や中学校出前授業を実施している。

建築科では、進路を踏まえ専門の資格取得を目標に建築大工技能士・2級建築施工管理技術検定・建築CAD検定など指導の充実を図っている。

課題研究では、木造平屋建ての墨付け、加工、建方まで実践的な実習や「高校生防災セミナー」に参加し専門性を活かした取り組みとして校内に「かまどベンチ」を設置しました。また、全国高校生建築製図コンクールをはじめ大学、企業等の設計競技にも積極的に取り組んでいる。



7. 愛知県立佐織工業高等学校 全日制 建築科

本校は養老山脈を西方に望む愛西市に位置し、尾張西部唯一・期待の工業高校として昭和51年4月に開校し、昭和52年4月に建築科が設置されました。本校は開校以来、「活（いかす）」の校訓のもとに、実社会で通用し貢献できる人材の育成と、実社会から必要とされる工業人の育成に邁進してきました。

建築科では日本の伝統技術・技能を継承できる建築技術者を育成することを目標としています。木材加工競技をはじめとし、建築大工技能士の資格取得にも積極的に取り組んでいます。また、製図の授業では建物の図面を手書きで描くことを基本とし、CADを活用した設計製図や三次元で立体的に表現できる力も養っています。

特に木材加工の分野では、高校生ものづくりコンテスト東海大会に12度出場し、そのうち全国大会へ6度進出している。平成27年度には、初の全国制覇、平成30年度には準優勝を果たすなど精力的に活動を行っている。また、設計製図の分野では、各大学、専門学校等主催のコンペに積極的に参加し、着実に成果を上げてきている。

各種競技会への参加を通し、建築への更なる興味・関心を高めている。



8. 名古屋市立工芸高等学校 全日制 建築システム科

木構造・鉄筋コンクリート構造・鋼構造等の計画から設計・施工までの各過程についての基礎的な知識・理論・技術に情報技術を系統的に関連させて、建築物の設計・施工の業務に携わることのできる能力を養っている。

建築計画・構造・構造設計・法規・施工において建築に関する基礎的な知識・理論を学び、それに建築総合・環境工学基礎・建築史を関連させた学習を行っている。

工業技術基礎・情報技術基礎などで工業に関する広い視野を養い、工業技術の基礎を習得します。

製図において製図法の基礎を理解し、身近な木造住宅から各種の構造・用途の建築物の設計製図法に至るまで学習します。さらに、CAD製図からコンピューターグラフィックの操作法を習得し、プレゼンテーション能力を身につけます。

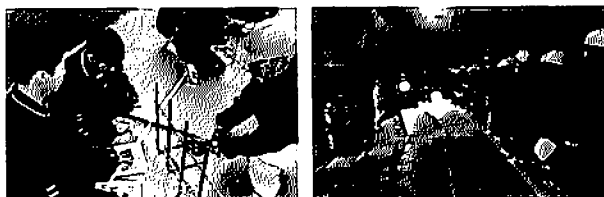
各実習では、2年次・3年次と2年間にわたり、系統的な学習を設計して、造形・情報処理・材料・環境・測量などについて学習します。また、課題研究において、創造性や問題解決に取り組む力の育成に努めている。



9. 名古屋工業高等学校 全日制 建築科

本校は、創設者、林 聖叡先生の「我が国は工業立国なり」との卓越した洞察力の下に、我が国の繁栄は、優れた工業技術者の育成にあると大正9年に創立、建築科は大正11年に設置されました。以来、「工業立国日本」の担い手として、平和国家の建設と、社会の発展に貢献できる中堅技術者の育成を目指し「心身の健全」、「着実な修学」、「礼節を尚ぶ」を建学の精神として、心・技・体の調和のとれた技術者の育成に努めています。また、建学の精神に基づき、礼儀正しく、勤勉で、責任を重んじる人物を育成する一方で、技術者としての基礎的な技術・技能を習得した有用な人材を育成することを目標としています。建築科では、資格取得に関して「自主学習の精神」・「チャレンジ精神」の高揚などを目標に、生徒自身が意欲的に取り組むことのできる環境づくりに力を入れるとともに、専門分野に関する資格取得などにも取り組んでいます。

近年では、建設現場や関連施設の見学をする機会を多く持つようにしています。さらに、建設関連企業で生徒対象に実施されるインターンシップなどにも参加し、建設現場での就業について理解を深められるようにしています。今後は、このような活動をいかした生徒への指導が充実するようにしていきたいと思ひます。



18. 事務局報告

1. 大会開催都道県について

現在、開催順を下記の通り計画をしております。

元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
北海道	秋田 (70周年)	栃木	青森	山梨	群馬	岐阜	静岡
決定	決定	決定	決定	決定	決定	予定	予定

2. 東日本建築教育研究会HPをご利用ください。

各種要綱・案内、申し込みフォームなどが掲載されております。

<http://www.hnkkk.org/>

連絡

1. 東日本建築教育研究会刊行物のご利用をお願いいたします。

2. 個人会員

田村 信義 千葉県立安房拓心高等学校
榎本 吉晃 安田学園高等学校
林原 紳二 鳥取県立米子工業高等学校
三河 友美 東京都立橋高等学校
林田 千鶴 東京都立橋高等学校
岩崎 あす佳 東京都立橋高等学校
大和田 隆寛 東京都立蔵前工業高等学校定時制
佐々木 英治 神奈川県教育委員会

3. 入会なし

4. 退会

北海道函館工業高等学校 定時制 建築科
北海道美唄尚栄高等学校 全日制 総合科
私立昭和第一学園高等学校 全日制 工学科（建築デザインコース）
（令和元年7月現在 会員校128校）

☆事務局 東京都立総合工科高等学校・建築・都市工学科内
事務局長 中江田 澄江 / 会計 米川 誠次

☆所在地 〒157-0066 東京都世田谷区成城9丁目25-1

東京都立総合工科高等学校 建築・都市工学科内

TEL 03-3483-0204 FAX 03-3483-1194

Eメール <jimu@hnkkk.org>

令和元年度 会員名簿 正誤表

令和元年10月1日

個人会員

千葉県立安房拓心高等学校 総合学科 土木工学系列 〒299-2712 千葉県南房総市和田町海発1604	教諭 田村信義 TEL:0470-47-2551
安田学園高等学校 普通科 〒130-8615 東京都墨田区横綱2-2-25	教諭 榎本吉晃 TEL:03-3624-2666
鳥取県米子工業高等学校 建設科 〒689-3213 鳥取県西伯郡大山町門前135	教諭 林原神二 TEL:0859-54-3875
東京都立橋高等学校 産業科 〒131-0043 東京都墨田区立花4-29-7	教諭 三河友美 TEL:03-3617-8311
東京都立橋高等学校 産業科 〒131-0043 東京都墨田区立花4-29-7	教諭 林田千鶴 TEL:03-3617-8311
東京都立橋高等学校 産業科 〒131-0043 東京都墨田区立花4-29-7	教諭 岩崎あす佳 TEL:03-3617-8311
神奈川県教育委員会 学校支援課 〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通33住宅供給公社ビル5階	指導主事 佐々木英治 TEL:045-210-8230
東京都立蔵前工業高等学校 定時制課程 建築工学科 〒111-0051 東京都台東区蔵前1-3-57	実習助手 大和田隆寛 TEL:03-3862-4488

令和元年度 加盟校以外の会員(校長・教頭・指導主事)

青森県立 十和田工業高等学校 〒034-0001 青森県十和田市三本木字下平215-1	教頭 北城高広 TEL:0176-23-6178
山形県教育庁高校教育課 〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8-1	指導主事 油井敏和 TEL:023-630-3067
山形県立 酒田光陵高等学校 全日制 〒998-0015 山形県酒田市北千日堂前字松境7番地の3	教頭 佐藤有二 TEL:0234-28-8833
栃木県立 矢板高等学校 全日制 〒329-2155 栃木県矢板市片保618-2	校長 菅野光広 TEL:0287-43-1231
茨城県立歴史館 資料学芸部 〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15	主席研究員 長谷川拓也 TEL:029-225-4425
千葉県立松戸馬橋高等学校 全日制 〒271-0043 千葉県松戸市旭町1-7-1	校長 江口敏彦 TEL:047-345-3002
千葉県立千葉工業高等学校 全日制 〒260-0815 千葉県千葉市中央区今井町1478	教頭 青柳昭 TEL:043-264-6251
東京都立荒川工業高等学校 全日制 〒116-0003 東京都荒川区南千住6-42-1	副校長 鈴木邦夫 TEL:03-3802-1178
神奈川県教育委員会学校支援課 〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通33住宅供給公社ビル5階	指導主事 佐々木英治 TEL:045-210-8230
金沢市教育委員会学校職員課 〒920-8577 石川県金沢市広坂1丁目1番地1号	主任管理主事(兼)指導主事 中田智晴 TEL:076-220-2436
名古屋市立 工芸高等学校 全日制 〒461-0027 愛知県名古屋市東区芳野二丁目7番51号	校長 石原正道 TEL:052-931-7541
岐阜県立国際たくみアカデミー 〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3545-3	校長 中西竜也 TEL:0574-25-2423

19. 編集後記

東日本建築教育研究会関係者の皆様の御指導・御協力により、お陰様にて「建築教育ニュース」2019年号を完成することができました。日頃より教育活動にお忙しいところ、御執筆頂きました先生方に感謝申し上げます。

2019.12

編集担当

建築教育ニュース2019.12号

発行日 令和元年12月
編集 編集委員会 遠藤 啓史(市川工) 田村 信義(安房拓心)
発行 東日本建築教育研究会(会長 平田 誠一)
事務局 〒137-0066 東京都世田谷区成城9-25-1
TEL 03-3483-0204
FAX 03-3483-1194
東京都立総合工科高等学校(事務局長 中江田 澄江)
編集事務局 〒272-0031 千葉県市川市平田3丁目10番10号
TEL 047-378-4186
FAX 047-393-2405
千葉県立市川工業高等学校 内(編集委員会 委員長 遠藤 啓史)
印刷 株式会社 川口印刷工房
〒288-0044 千葉県銚子市西芝町1-6
TEL 0479-22-0721

目指せ、ビル外装のプロフェッショナル!



LIXILビル建材技術専門校

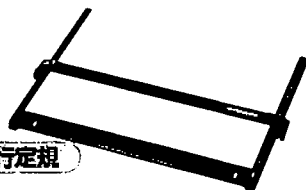
ビルサッシ、カーテンウォール施工の技術を学べます。

ホームページ <http://www.lbtc.jp/> お問い合わせ lbtc@lixil.com

高精度・高操作性の平行定規<A2対応>

Liner Board UM-06N7

MUTOH製平行定規。小さくともほとんどの図面に対応できるA2サイズ。衝撃に強い2WAYショルダータイプの専用キャリングケース付きで、一級・二級建築士の試験会場への持ち込み可能です。

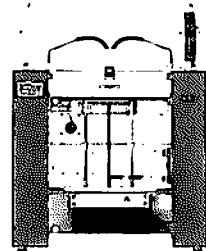


一級・二級建築士 受験用平行定規

熱溶解積層方式3Dプリンタ

Value 3D MagiX

日本品質MUTOH製3Dプリンタ。FDM方式の3Dプリンタは低価格なランニングコストが魅力。授業でも手軽にお使いいただけます。最小積層ピッチは0.05mm。造形サイズ300×300×300mmの大型造形が可能です。



武藤工業株式会社

HOME PAGE <http://www.mutoh.co.jp>

東京都世田谷区池尻 3-1-3 〒154-8560 TEL(03)6758-7000(代)

株式会社マルサ
MALSA
新潟支店 TEL.0256-38-6861 東京支店 TEL.03-3552-4121
山形営業所 TEL.022-235-0303 E-mail query@malisa.co.jp

教材用ミニチュア足場 1/5スケール

体感する。 理解する。

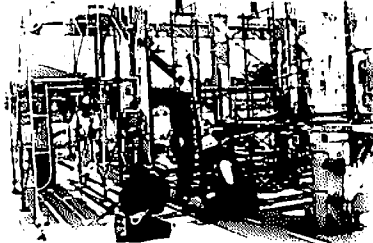


富士教育訓練センターでは、多くの実業高校生や専門学校生が建設業で仕事ができる技能を身に付けるため実習に取り組んでいます。

富士山西麓の恵まれた環境のもとで、手に職を目指す若者に実務教育のための充実した実習の場が用意されています。



学校の夏休みを利用して
高校生や大学生、専門学校生が
資格取得や現場で仕事ができる
技能を身に付けるため、実習に
取り組んでいます。



上木・建築・内装など
富士山西麓の恵まれたフィールドで
充実した教育を

行っ
てい
ま



学校や先生方のお問合せ、来訪をお待ちしています。

母体組織法人 全国建設産業教育訓練協会

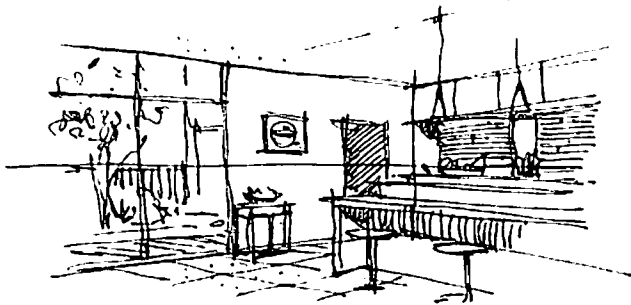
富士教育訓練センター

URL <http://www.fuji-kkc.ac.jp>

〒418-0101
静岡県富士宮市根原492-8

TEL 0544 (52) 0968
Email info@fuji-kkc.ac.jp

描くチカラは、伝えるチカラ。



ものづくりに携わる者が身につけておきたいスキル、
それが「描くチカラ」。

「伝える」を「確実に伝わる」に変える、
有効なコミュニケーションツールなのです。

一般社団法人
日本パーステック協会
Japan Pers-tech Association

手描きパースの普及・教育・指導 / パース検定主催

立体を表現する力

パース検定

1級、2級、3級

2019年12月8日(日)開催

<http://www.pers-tech.org> 詳しくはHPをご覧ください

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-5-11

TEL : 06-6267-5331 FAX : 06-6267-5332

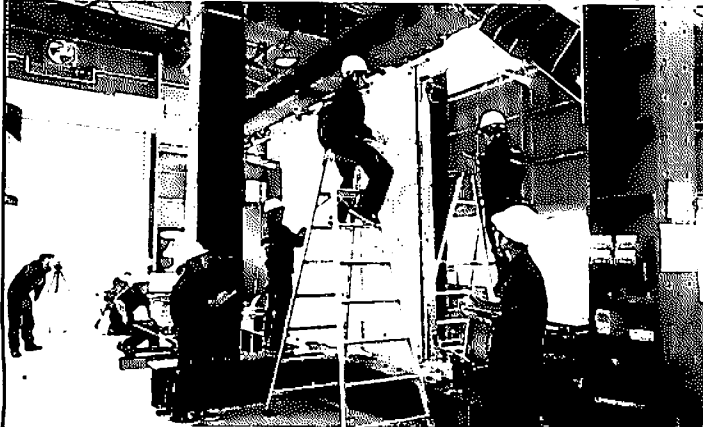
E-mail : info@pers-tech.org

安全で快適な空間づくりを担うエキスパートを育成します。

建築学部建築学科に建築コース、生活環境デザインコースの1学部1学科2コース制により、全教員が連携しながら、建築・都市デザイン、構造・環境エンジニアリング、住空間デザイン、福祉空間デザインなど、幅広い分野を体験的に学べる層の厚い教育を実現します。住宅からまちづくりまで、魅力的で安全・快適な建築空間を生み出す建築家や建築技術者を養成します。

〔建築学科建築コース〕 建築・都市デザイン/構造・環境エンジニアリング

〔建築学科生活環境デザインコース〕 住空間デザイン/福祉空間デザイン



〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1

TEL 0480-33-7676 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp <http://www.nit.ac.jp/>

日本工業大学

唯一！本格的に木造建築の技術と心が学べる

日本建築専門学校

一級建築士受験資格認定校（4大と同等）

〒418-0103 静岡県富士宮市上井出2730-5
TEL 0544-54-1541



建築士会とは、多種多様な建築分野で活躍する建築士が集まる、建築士法第22条の4で定められている社団法人で、全国47すべての都道府県に設立されている世界有数、日本最大のスペシャリスト集団です。

一級建築士中央指定登録機関 <http://www.kenchikushikai.or.jp>

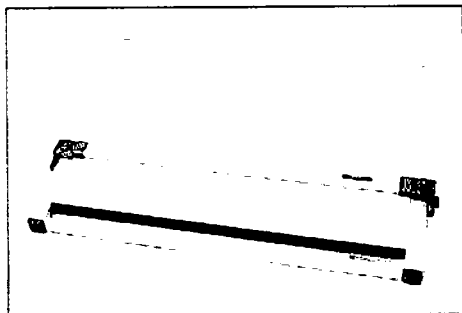
公益社団法人日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館5階 TEL 03-3456-2061

建築士受験用平行定規のベストセラー製品です！

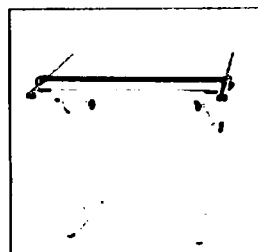
DRAPAS BOARD DXM-601

- ◆マグネットボード仕様・携帯バッグ(防水)付属 ◆重量 3.0kg(本体)
- ◆外形寸法 505×685mm 製図範囲 426×600mm
- ◆マグネットフレート 500mm×2枚・300mm×2枚 付属



※ポートフォリオバッグ
付も選べます。

◆好評のドラパスボードの姉妹品 DXM900 (A1)



用途に応じ、製図台付
セットも用意できます。

お問い合わせは下記まで

DRAPAS 設計製図・画材・デザイン材料の総合発売元

ドラパス株式会社

本社：東京都北区滝野川7-26-7 〒114-0023
TEL: 03(3916)3201 FAX: 03(3916)5532
<http://www.drapas.co.jp>



専門学校
東京テクニカルカレッジ

入学相談室 〒164-8787 東京都中野区東中野4-2-3

☎ 0120-1969-04

🌐 <http://www.tera-house.ac.jp/tec/>



- ◆ 建築監督科
- ◆ 建築科 (昼・夜)
- ◆ インテリア科
- ◆ ゲームプログラミング科
- ◆ 情報処理科
- ◆ Web動画クリエイター科
- ◆ 環境テクノロジー科
- ◆ バイオテクノロジー科

私の夢は、人と自然にやさしい家を建てること。
だから、東京建築カレッジ。

建築の夢とやりがいが見つかる、週2日(金・土)の短期大学校



職業能力開発短期大学校 厚生労働省所管・東京都認定

東京建築カレッジ

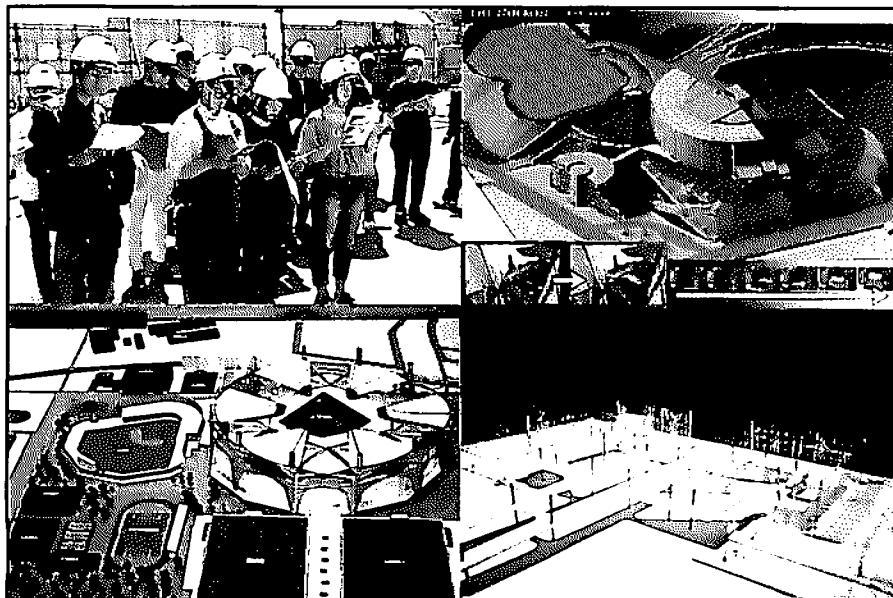


TEL 03-5950-1771
E-MAIL info@doken-college.ac.jp

公式ウェブサイト、facebookで、授業の様子を公開中！
検索キーワードは「東京建築カレッジ」

■池袋校舎/東京都豊島区池袋1-8-6

■江東実習場/東京都江東区北砂1-15-12



SEISA

星槎道都大学

美術学部建築学科

- 建築プロフェッショナル専攻
- 建築デザイン専攻



〒061-1196 北海道北広島市中の沢149番地 TEL 011-372-3111

☎ 0120-870205

木造注文住宅 「住友林業の家」の施工専門会社

住友林業100%出資のグループ会社で、私たちは高品質の「住友林業の家」を技術で支えています！

確かな技能を育む訓練体制

入社後は、住友林業建築技術専門校にて1年間『木造軸組工法』の基礎を学んだのち、配属されます



毎年、国内の若手技能者がその技を競う「技能五輪全国大会」の建築大工職種で常に上位入賞を果たしています

「技能五輪国際大会(world skills)」にも出場実績があります

1999年ダ・モントリオール大会：敢闘賞

2007年日本・静岡大会：銀賞

2011年イギリス・ロンドン大会：銀賞

2019年8月ロシア・カザン大会出場予定

※毎年全国で60名の大工職や左官職を採用しています



住友林業ホームエンジニアリング株式会社

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 TEL:03-6911-3341 <http://www.sumirin-he.co.jp/>

たくみ

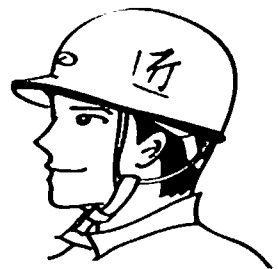
匠を目指してみませんか？

清水建設の施工協力会社求人情報サイトを開設しました。

建造物は沢山の専門工事が協力してつくります。

専門工事には「匠」の技が欠かせません。

職人になるという選択 匠を目指してみませんか？



新しい日本をつくるのは君だ！

匠を目指す人集まれ

検索

<https://www.shimztakumi.com/> 清水建設協力会社求人サイト



じっきょうのデジタル教材 ビジュアルコンテンツ シリーズ

木材加工DVD コンクリート試験DVD 溶接DVD

各DVD1枚組 定価（本体 15,000 円+税）

※指導資料扱いとなりますので、学校に出入りの書店様に直接ご注文下さい。



実教出版株式会社

<http://www.jikkyo.co.jp/>

本社 〒102-8377 東京都千代田区五番町5

TEL 03-3238-7773~7 FAX 03-3238-7755

大阪支社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原5-1-3 NLC新大阪アースビル

TEL 06-6397-2400 FAX 06-6397-2402

九州支社 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル

TEL 092-473-1841 FAX 092-471-7529



2019年度 第26回 全国建築塗装技能競技大会 国土交通大臣賞受賞
 2017年度 第25回 全国建築塗装技能競技大会 内閣総理大臣賞受賞
 2017年度 東京都中小企業技能人材育成大賞 優秀賞受賞

私たちは
 塗装技術を通じ
 豊かな暮らしを提供します。



佐藤興業株式会社

東京都千代田区神田駿河台 2-10

SATO KOGYO CO.,LTD.

<http://www.p-sato.co.jp>



アットホーム教育と就職に強い！

- ◆建築設計科 (2年制)
- ◆ビジュアルデザイン科 (2年制)
- ◆ゲームクリエイター科 (3年制)
- ◆建築士専攻科 (1年制)※
(※2級建築士受験資格取得者対象)
- ◆高度情報処理科 (3年制)
- ◆情報システム科 (2年制)



学校法人 国際理工学園

国際理工情報デザイン 専門学校

〒263-0024 千葉県稲毛区穴川 3-8-11 お問い合わせ 0120-498-593

写真で見る土木工事の施工手順

改訂
6版

土木施工の実際と解説

| A4判 定価 上巻 12,000円+税 下巻 12,000円+税

土木施工の流れと要点を
分かりやすく解説！

こんな方におすすめ!!

現場に行く機会の少ない学生の教材におすすめします！



こんな教材が欲しかった！

まんがめざせ！現場監督

まんがシリーズ
第3弾!!

【平成27年5月発行】| AB判 定価 本体 2,000円+税

現場のやりがいを
知ることができる一冊



これから建設業界を目指そうという学生の皆様におすすめします！



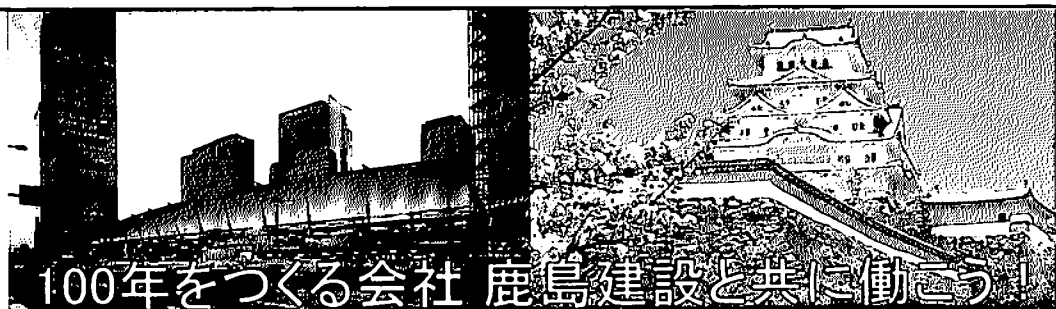
一般財団法人 建設物価調査会

☎ 電話でのお問い合わせ ☎ 0120-978-599 (9:00~17:00 土・日・祝日除く)

💻 パソコンからのお申込み <https://book.kensetu-navi.com/>

建設物価 Book Store





100年をつくる会社 鹿島建設と共に働こう！



鹿島事業協同組合連合会

〒107-8348 東京都港区赤坂6-5-11 TEL 03-3587-9547

<http://kajima-kyoren.com>



建築系



横浜で本物を学ぶ「浅野の建築」
浅野工学専門学校

ASANO INSTITUTE OF TECHNOLOGY
本校の学科は「建築実践専門課程」として文部科学大臣から認定されています。
建築工学科 建築デザイン科

ご予約・
お問い合わせはこちらへ

<https://ssl.asano.ac.jp/event-mail/>

☎0120-19-2903 Mail:info@asano.ac.jp

学校説明会もやっています！
詳しくはこちらへ

<https://ssl.asano.ac.jp> または **浅野工学** **検索**

学校説明会
やっています！
気軽に参加
OK!

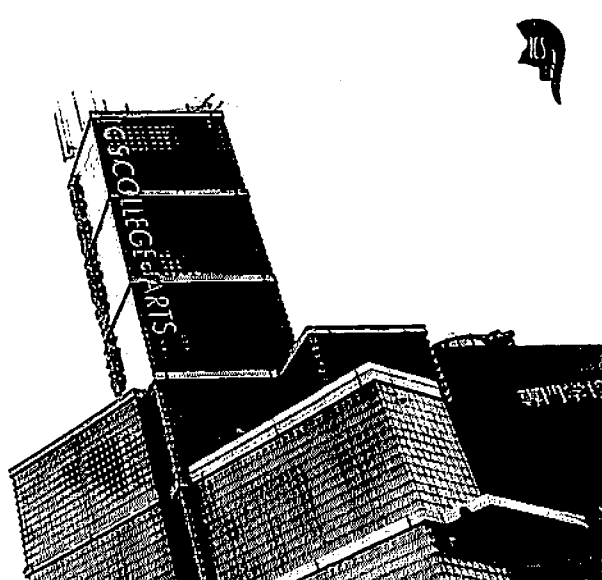
〒221-0012 横浜市神奈川区子安台1-3-1 ●設定日以降の学校見学も受け付けています。随時お問い合わせください。

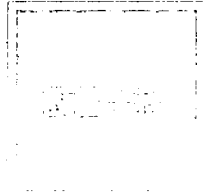
ICSカレッジオブアーツ

日本で最初のインテリア専門校で
建築・インテリア・家具の
デザイン・ものづくりを学ぶ



152-0022 東京都目黒区柿の木坂1-5-6
東急東横線「都立大学」駅下車 徒歩5分
Tel:0120-006-911 <http://www.ics.ac.jp>





全国建築士会連合会

建築CAD技術者協会

建築設計士会連合会

建築設計士会

全国建築士会連合会

建築設計士会連合会

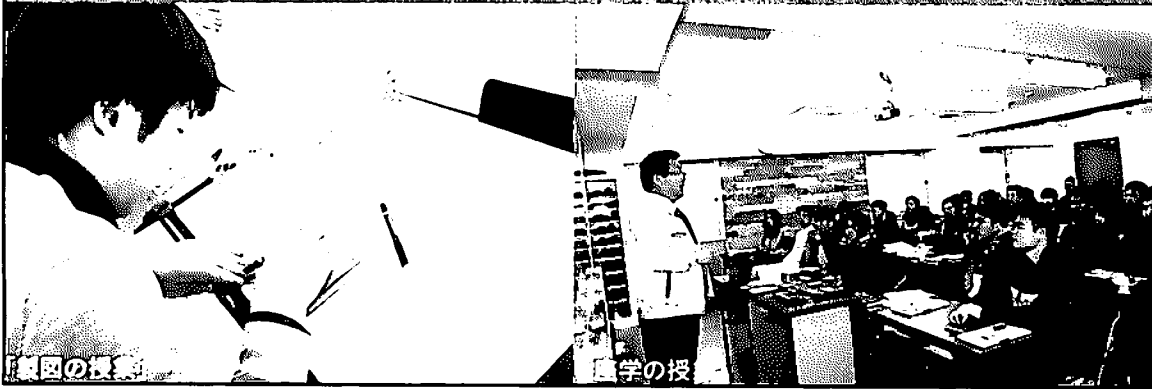
建築設計士会

建築設計士会



私たちが卒業した学校

「校外研修での集合写真」



製図の授業

講義の授業

お問い合わせ

〒260-0031
千葉市中央区
新千葉 2-20-1
TEL. 043-241-1300
FAX. 043-241-1302
<http://cnp.ac.jp>

技能講習

資格取得講習 ガス溶接 技能講習



電極ガス溶接
溶接を施して行う
金属の切断、溶接、
溶接の作業には、
ガス溶接機等の
設備が必要で、

¥9,300

資格取得講習 有機溶剤 作業主任者技能講習



¥11,100

資格取得講習 ボイラー取扱 技能講習



¥9,900

《出張講習のご案内》

労働安全衛生法に規定されている【技能講習】および【特別教育】
を各都県の学校中心に「出張講習」にて実施させていただいて
おり、記載されている以外の科目も実施しております。
ご質問・資料請求等、お気軽に御問い合わせ下さい。

※校内を会場として使用した場合の
1名当りの講習料です。

資格取得講習 フォークリフト運転 特別教育



労働安全衛生法
第57条第2項
第58条第2項
第59条
第60条第1項
第61条第1項
第62条第1項
第63条第1項
第64条第1項
第65条第1項
第66条第1項
第67条第1項
第68条第1項
第69条第1項
第70条第1項
第71条第1項
第72条第1項
第73条第1項
第74条第1項
第75条第1項
第76条第1項
第77条第1項
第78条第1項
第79条第1項
第80条第1項
第81条第1項
第82条第1項
第83条第1項
第84条第1項
第85条第1項
第86条第1項
第87条第1項
第88条第1項
第89条第1項
第90条第1項
第91条第1項
第92条第1項
第93条第1項
第94条第1項
第95条第1項
第96条第1項
第97条第1項
第98条第1項
第99条第1項
第100条第1項

¥9,400

資格取得講習 高所作業車運転 特別教育



労働安全衛生法
第57条第2項
第58条第2項
第59条
第60条第1項
第61条第1項
第62条第1項
第63条第1項
第64条第1項
第65条第1項
第66条第1項
第67条第1項
第68条第1項
第69条第1項
第70条第1項
第71条第1項
第72条第1項
第73条第1項
第74条第1項
第75条第1項
第76条第1項
第77条第1項
第78条第1項
第79条第1項
第80条第1項
第81条第1項
第82条第1項
第83条第1項
第84条第1項
第85条第1項
第86条第1項
第87条第1項
第88条第1項
第89条第1項
第90条第1項
第91条第1項
第92条第1項
第93条第1項
第94条第1項
第95条第1項
第96条第1項
第97条第1項
第98条第1項
第99条第1項
第100条第1項

¥9,300

資格取得講習 アーク溶接 特別教育



労働安全衛生法
第57条第2項
第58条第2項
第59条
第60条第1項
第61条第1項
第62条第1項
第63条第1項
第64条第1項
第65条第1項
第66条第1項
第67条第1項
第68条第1項
第69条第1項
第70条第1項
第71条第1項
第72条第1項
第73条第1項
第74条第1項
第75条第1項
第76条第1項
第77条第1項
第78条第1項
第79条第1項
第80条第1項
第81条第1項
第82条第1項
第83条第1項
第84条第1項
第85条第1項
第86条第1項
第87条第1項
第88条第1項
第89条第1項
第90条第1項
第91条第1項
第92条第1項
第93条第1項
第94条第1項
第95条第1項
第96条第1項
第97条第1項
第98条第1項
第99条第1項
第100条第1項

¥11,300

特別教育

労働局登録教育機関

◎ 一般財団法人 労働安全衛生管理協会

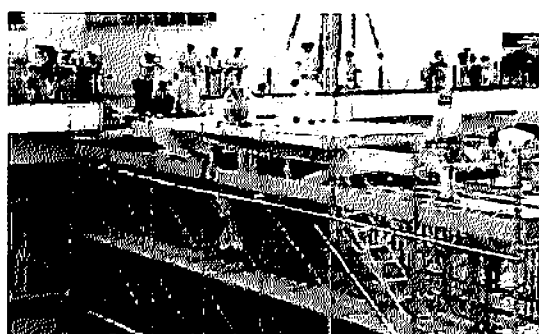
〒336-0017 さいたま市南区南浦和 2-27-15(信庄ビル3階) Tel 048(885)7773

ホームページ <http://www.roudouanzen.com>

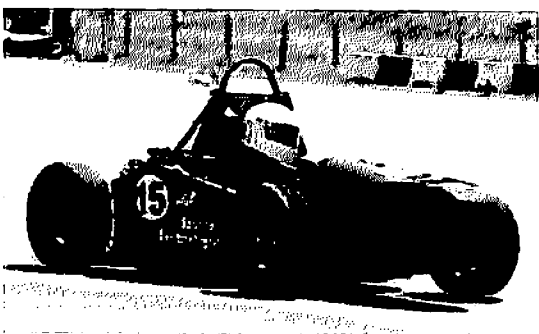
夢をカタチにできる大学



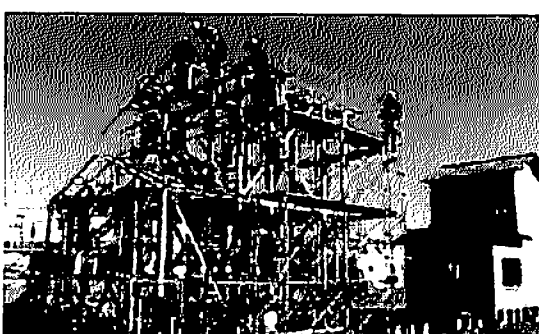
NHK 大学ロボコンで活躍



授業で本物の連絡橋を建設



全日本学生
フォーミュラで活躍



授業で戸建住宅を建設



ものつくり大学

Institute of Technologists

技能工芸学部 製造学科 **コース** 先進加工技術, 機械デザイン, 電気電子・ロボット
情報・マネジメント
建設学科 **コース** 木造建築, 都市・建築, 仕上・インテリア
建築デザイン

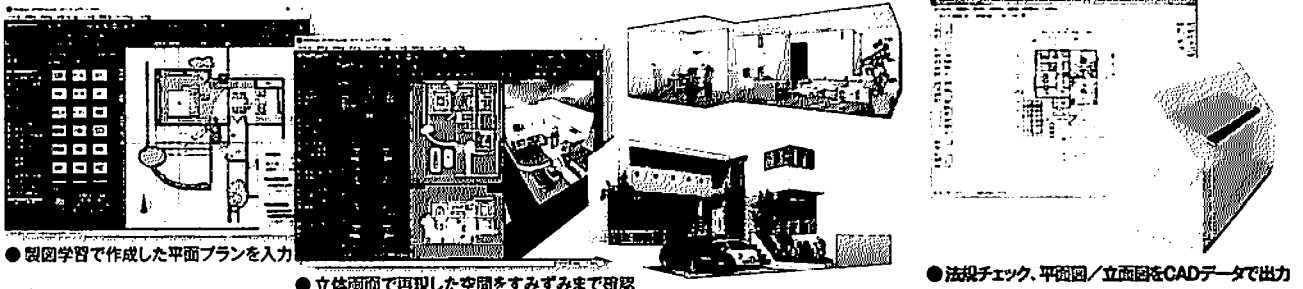
〒361-0038 埼玉県行田市前谷333番地 Tel 048-564-3816 URL <http://www.iod.ac.jp/>

3DCGで学習する 建築・インテリア・プレゼンテーション

MEGASOFT

主な学習効果

1 平面と立体の関係を容易に理解でき、空間把握力が育ちます



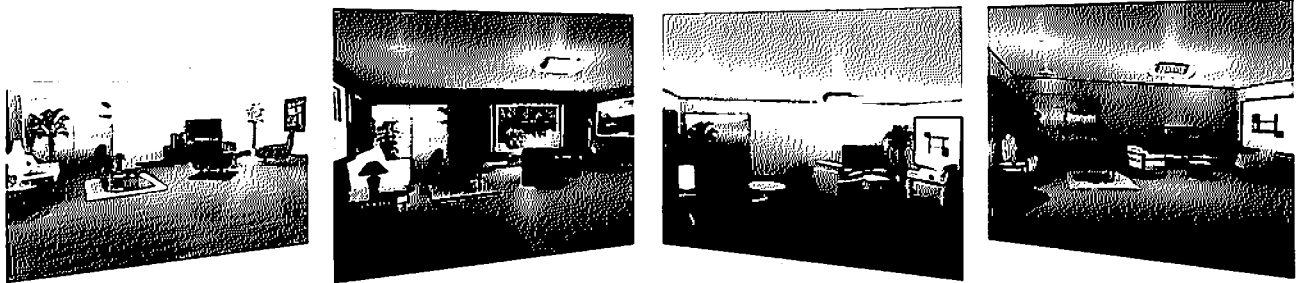
● 製図学習で作成した平面プランを入力

● 立体画面で再現した空間をすみずみまで確認

● 法規チェック、平面図/立面図をCADデータで出力

2 住宅デザイン、空間デザインの授業に広く活用されています

住宅デザイン、空間デザインを繰り返し検討することができるので、デザイン、イメージ力を養うことができます。



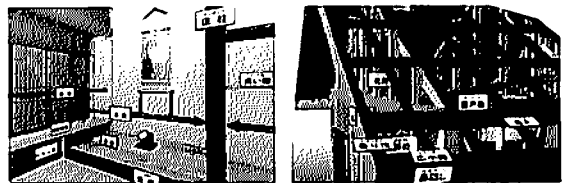
● 大牟田学園大牟田高等学校 生徒作品

3 プレゼンテーション力を養えます



● プレゼンボード機能で資料を作成し学習発表に利用

4 大工さんが作った3DCGムービーで学習する
「構造学習教材」附属



木造軸組構造・和室の構造
屋根の種類・階段・継手(木材の接合)

3DマイホームデザイナーPRO9 なら

■床編集機能

段差やスロープの設定、小上がり・掘りごたつの表現が可能。

■天井編集機能

吊り钩やコーブ照明付きの折り上げ天井、勾配天井、天窓、コーニス照明の設定が可能。



■モールディング装飾

壁面の上部と下部に化粧線を設定が可能。

■壁装飾

装飾用の開口、ニッチ、付け細も設置が可能。



プロの現場でも使われています!

3DマイホームデザイナーPROは、大手ハウスメーカー、工務店、設計事務所など17000社以上の企業に導入されており、成約を勝ち取るためのプレゼンツールとして多くのプロフェッショナルユーザーから信頼されるツールとなっています。

学校向け住宅デザインソフトセット

3DマイホームデザイナーPRO9 スクールパック

ボリュームライセンス(1ライセンス):標準価格 34,500円(税別)~

学校導入事例をご覧ください → <http://www.megasoft.co.jp/3d/school/pro9/>

使いやすさと信頼性

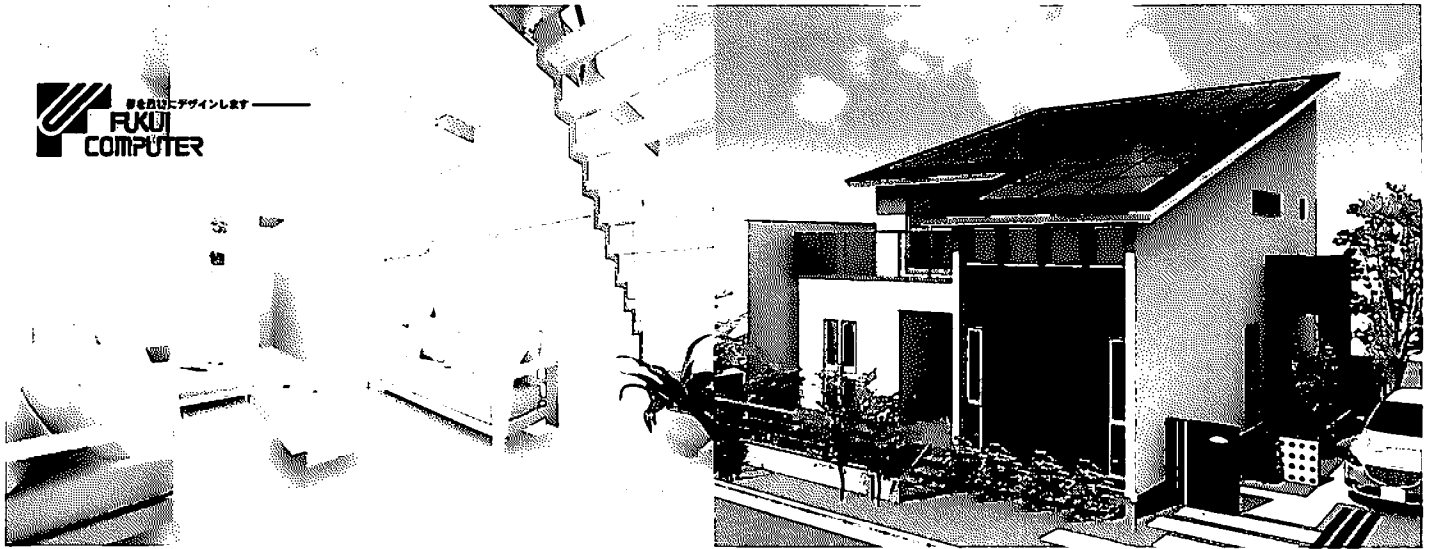
メガソフト株式会社

〒530-0015 大阪府大阪市北区中津西2-4-12 梅田センタービル11F TEL.06-6147-2780 FAX.06-6131-5081

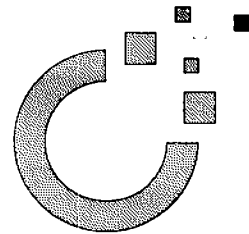
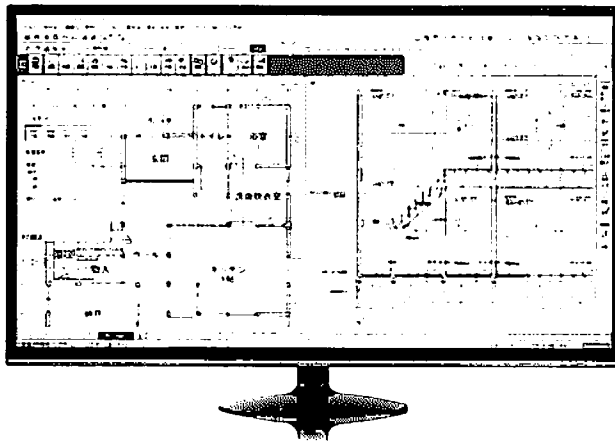
お問い合わせはこちらまで ⇒ インフォメーションセンター TEL.06-6147-2780

<http://www.megasoft.co.jp>

受付時間:9:30~11:45 13:00~17:00 (土、日、お盆休み)



設計・CGパース・プレゼン資料はもちろん ZEH・省エネ・耐震・積算もARCHITRENDで!

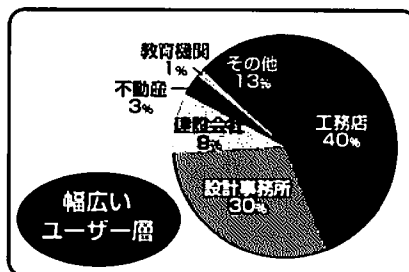
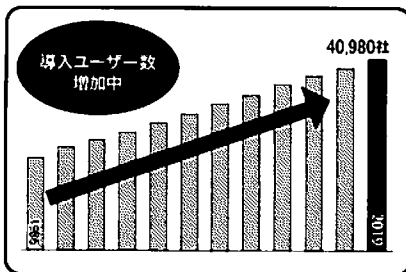


**ARCHITREND
 ZERO**

3D建築CADシステム アーキトレンドZERO

ARCHITREND ZEROは間取りや屋根等の基本データから、瞬時に3Dモデルを作成し、各種図面や書類、CGパースなどを一気に作成。圧倒的なスピードと操作性で、使う方一人ひとりにフィットする、流れるような高速オペレーションを実現します。

業界の動き、ユーザーニーズに応え、常に進化し続けるCAD、福井コンピュータの「ARCHITREND」シリーズ



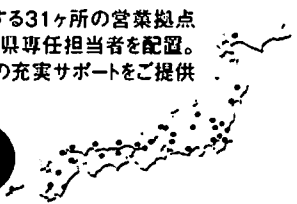
■300以上の公共・教育機関で活躍

全国の公共・教育機関で、CAD実習の教材としても、幅広く導入いただいております。専用CADの高度な専門性と使いやすさは、学ぶ方の学習意欲向上にもつながり、社会の即戦力となるスキルを身につける抜群のツールとなっています。

■万全のサポート体制

全国を網羅する31ヶ所の営業拠点に、各都道府県専任担当者を配置。地域未対応型の充実サポートをご提供いたします。

全国
31 拠点



■導入実績全国40,000社、ユーザー様の声を製品に反映

弊社のCADシリーズは、工務店・設計事務所のユーザー様を中心に、建築CAD市場ではトップシェアの全国約41,000社、累計74,000本*の導入実績を誇っています。また、その実績を元に幅広くユーザー様からの声を集約し、商品開発に反映。常に業界にとってより良い製品開発を心掛け、販売を行っております。

*2019年10月現在

福井コンピュータアーキテクト株式会社

本社 〒910-0297 福井県坂井市丸岡町渡部福庄5-6
 札幌・福岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋・岐阜・滋賀・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

[福井コンピュータグループ総合案内]

0570-039-291

無料体験版あります!

●体験版ダウンロード 資料請求は

福井コンピュータアーキテクト

archi.fukuicompu.co.jp



クリエイターズカレッジ

プロデューサー、カメラマン、声優、俳優、舞台スタッフ、マンガ家、アニメーターをめざす。

- ◎放送芸術科*
- ◎声優・演劇科
- ◎演劇スタッフ科
- ◎マンガ・アニメーション科四年制※◆
- ◎マンガ・アニメーション科*

デザインカレッジ

ゲームプログラマー、CGデザイナー、グラフィックデザイナー、Webデザイナー、インテリアデザイナー、プロダクトデザイナーをめざす。

- ◎ゲームクリエイター科四年制※◆
- ◎ゲームクリエイター科*
- ◎CG映像科(3年制)
- ◎グラフィックデザイン科(3年制)*
- ◎Webクリエイター科(3年制)
- ◎インテリアデザイン科(3年制)
- ◎プロダクトデザイン科(3年制)

☆2020年4月新設
 *職業実践専門課程認定学科
 ※高度専門士付与学科 ◆編入制度あり
 ●日本工学院専門学校設置
 ○日本工学院八王子専門学校設置

ミュージックカレッジ

ミュージシャン、コンサートスタッフ、レコーディングエンジニア、ダンサーをめざす。

- ◎ミュージックアーティスト科
 プレイヤー/ヴォーカリスト/
 サウンドクリエイターコース
- ◎コンサート・イベント科*
- ◎音響芸術科*
- ◎ダンスパフォーマンス科

テクノロジーカレッジ

ロボット技術者、電子・電気技術者、バイオ技術者、自動車整備士、建築士、土木技術者、CAD技術者をめざす。

- ◎ロボット科*
- ◎電子・電気科*
- ◎一級自動車整備科(4年制)※◆*
- ◎自動車整備科*
- ◎環境・バイオ科*
- ◎応用生物学科*
- ◎建築学科(4年制)※◆*
- ◎建築設計科*
- ◎土木・造園科*
- ◎機械設計科*

ITカレッジ

システムエンジニア、プログラマー、ネットワークエンジニア、セキュリティエンジニア、秘書、ホテルスタッフをめざす。

- ◎ITスペシャリスト科(4年制)※◆*
- ◎AIシステム科*
- ◎情報処理科*
- ◎パソコン・ネットワーク科*
- ◎情報ビジネス科*
 秘書・事務/ショップ販売◎/ホテル●☆コース

医療・保育カレッジ

鍼灸師、柔道整復師、医療事務スタッフ、保育士、幼稚園教師をめざす。

- ◎鍼灸科(3年制)*
- ◎柔道整復科(3年制)*
- ◎医療事務科*
- ◎こども学科*
 保育士/幼稚園教師/保育士コース

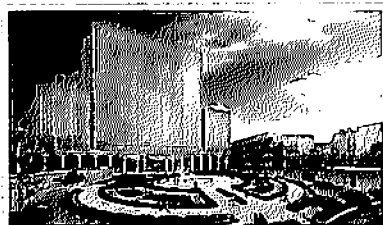
スポーツカレッジ

トレーナー、インストラクター、スポーツメーカー・ショップスタッフ、サッカー・テニスプレイヤーをめざす。

- ◎スポーツトレーナー科三年制*
- ◎スポーツトレーナー科*
- ◎スポーツ健康学科三年制*
 スポーツインストラクター/スポーツビジネス/
 サッカー/テニスコース
- ◎スポーツ健康学科*
 スポーツインストラクター/スポーツビジネス/
 サッカー/テニスコース

片柳学園給付型奨学金設置

オープンキャンパス+体験入学 開催中!

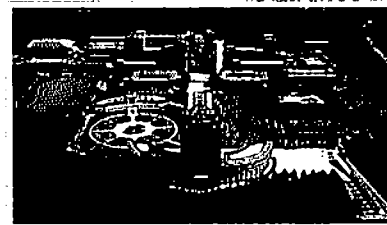


蒲田
キャンパス



八王子
キャンパス

日本工学院 検索



楽しく学んで、しっかり就職。
日本工学院

www.neec.ac.jp

日本工学院専門学校

☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

日本工学院八王子専門学校

☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

Facebook 日本工学院 | Twitter @nihonkogakuin | Instagram @neec_official | YouTube @nihonkogakuin

姉妹校 日本工学院北海道専門学校 | 併設校 東京工科大学 | 日本工学院を卒業後、併設校の東京工科大学へ有利に編入できる制度があります。

最先端技術BIMと資格を手に入れ、業界最前線へ

一級建築士をめざす!

建築学科 【高度専門士】 (4年制)※

建築設計コース/インテリア設計コース/
建築構造・設備コース/建築施工コース
ダブルスクールで「学士」も取得可能!
卒業後に大学院進学をめざすこともできます。

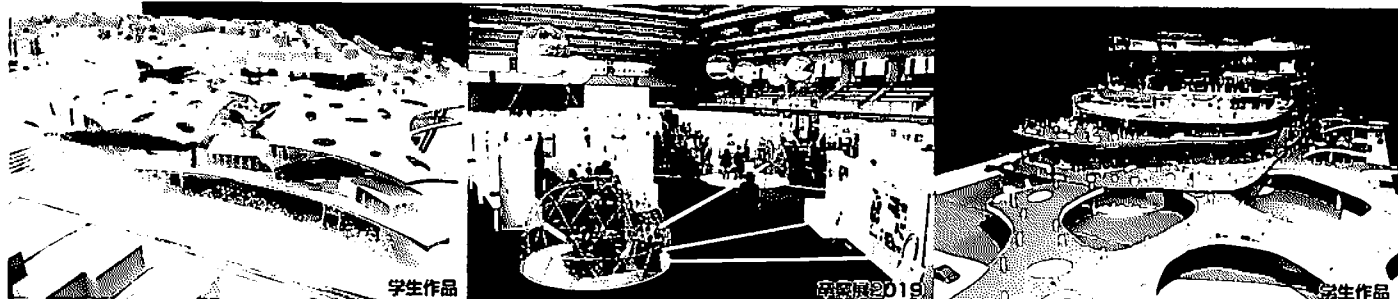
二級建築士をめざす!

建築設計科 (2年制)※

建築設計コース/インテリア設計コース/
建築構造・設備コース/建築施工コース
4年制への編入で在学中に二級建築士を取得可能!
他大学への編入実績も豊富。

- 土木造園科※☆
- ロボット科※☆
- 一級自動車整備科 【高度専門士】※☆
- 自動車整備科※☆
- 電子・電気科※
- 機械設計科※
- 環境・バイオ科※★
- 応用生物学科※☆

※職業実践専門課程認定学科 ★蒲田校のみ設置 ☆八王子校のみ設置



建築学科/建築設計科 News & Topics

◆建築士合格実績 [2015年~2018年]

二級建築士・木造建築士
113名合格(在学中)

◆建設の最先端設計技法“BIM”を学び、
BIM関連企業へ多数就職!

※BIM=ビルディング・インフォメーション・モデリング

◆主な就職先・大学編入学実績 [2015年~2018年]

東証一部上場企業 公務員 大学編入学
135名 5名 24名

◆建築学科[4年制]の卒業生が
「首都大学東京大学院」「芝浦工業大学
大学院」「工学院大学大学院」に進学!

高校生いす デザインコンテスト | 高校生 けんちく コンテスト | 高校生のものづくり川柳 コンテスト

日本工学院では、高校生が持つクリエイティブな才能や能力を発掘し、夢をつかんでもらうための大きなチャンスとなる、各種「高校生コンテスト」を実施しています。

楽しく学んで、しっかり就職。

日本工学院

日本工学院専門学校

☎ 0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

日本工学院八王子専門学校

☎ 0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1



クリエイターズカレッジ デザインカレッジ ミュージックカレッジ ITカレッジ テクノロジーカレッジ 医療・保育カレッジ スポーツカレッジ

■URL <https://www.neec.ac.jp/> ■Eメール info@stf.neec.ac.jp 日本工学院 @nihonkougakuin @neec_official @nihonkogakuin



BIMをはじめとした最新デジタル技術が身につく。

建築学科（2年制）

建築設計コース / 施工管理コース / 建築設備コース

住宅デザイン科（2年制）

住宅設計コース / リフォームコース

インテリアデザイン科（2年制）

インテリアスタイリングコース / ショップデザインコース / 家具・照明デザインコース

研究科（1年制）

【入学資格】二級建築士の受験資格を有する者（取得見込み者を含む）



学校法人 中央工学校

中央工学校 OSAKA

〒561-0872 大阪府豊中市寺内一丁目1-43

TEL 06-6866-5311（入学係直通） ☎ 0120-08-1143

URL <https://www.chuoko-osaka.ac.jp>



中央工学校 OSAKA の
オフィシャル HP に
アクセスできます。

中央工学校

110年を超える伝統と確かな教育実績！
即戦力として活躍できるプロフェッショナルを育成！

建築・木造・設備・室内・インテリア

《 建築関連学科 News 》

平成30年 一級建築士試験『設計製図の試験』学校別合格者数発表

平成30年一級建築士試験『設計製図の試験』

学校別合格者数一覧が公開されました。

専門学校では9年連続（平成22年～30年）

トップの合格実績でした。

※平成22年以前は、専門学校の発表は無し。



順位	学校名	合格者数	順位	学校名	合格者数
1	日本大学	209	17	名古屋工業大学	39
2	東京理科大学	117	18	京都芸芸造大	38
3	芝浦工業大学	100		東海大学	38
4	早稲田大学	96	29	〃	〃
5	近畿大学	77	30	熊本大学	31
6	明治大学	75		名古屋大	31
7	神戸大学	70	32	信州大	30
8	千葉大学	66		新潟大	29
9	工学院大学	58	33	前橋工科大	29
10	東京都市大学（武蔵工業大）	54		東京大	29
11	大阪工業大	50		北海道大	29
12	名城大	49	37	広島大	28
13	京都大	47	38	中央工学校	27
14	法政大	46	39	室積工業大	26
15	九州大（九州芸術工科大）	45	40	鹿児島大	25
16	関西大	42			

平成30年12月20日（公財）建築技術教育普及センター発表

《 中央工学校 News 》

2019年3月 新校舎2棟 完成

中央工学校では、学習環境の整備に重点を置き『王子キャンパス整備計画』を策定しました。傾斜した敷地条件を活かし、既存緑地と周辺環境に調和した校舎建て替えを中心とした設計内容です。想像力を育む学習空間の創出により、キャンパス全体が一体化した活動拠点となるよう整備を進めています。



土木・測量・造園・舞台美術・イベント設営・機械・CAD

※土木・測量関連学科では、卒業と同時に測量士補無試験取得学科あり

- 〒114-8543 東京都北区王子本町一丁目 26-17
- TEL : 03-3905-1511 (入学相談室)
- PC : <http://chuoko.ac.jp> (携帯からもアクセス可)
- Mail : info@chuoko.ac.jp



中央工学校の
オフィシャルHPに
アクセスできます。
資料請求や学校説明会・
体験入学の申込可能



中央工学校の公式アプリが
誕生しました！
最新の学校情報がいつでも
更新できます。

専門学校コンソーシアム Tokyo 加盟校 <http://www.senmon-con-tokyo.jp/>
the consortium of colleges in Tokyo



技術をつなぐ。
未来をつくる。



戸田建設全国利友会は、戸田建設のパートナー企業として
さまざまな建設プロジェクトを実現する1,500社の専門工事会社集団です。

【支部組織】

札幌利友会	〒 060-8535	北海道札幌市中央区北3条東2-2	TEL. 011-231-9211
東北利友会	〒 980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町3-3-6 星和仙台ビル	TEL. 022-222-1257
関東利友会	〒 330-0063	埼玉県さいたま市浦和区高砂2-6-5 浦和大栄ビル	TEL. 048-827-1418
千葉利友会	〒 260-0031	千葉県千葉市中央区新千葉1-4-3 フコク生命ビル	TEL. 043-242-4466
東京利友会	〒 104-8388	東京都中央区京橋1-7-1	TEL. 03-3535-1501
首都圏土木利友会	〒 103-0023	東京都中央区日本橋本町2-7-1	TEL. 03-3535-1580
横浜利友会	〒 231-0005	神奈川県横浜市中区本町4-43 A-PLACE馬車道	TEL. 045-228-6074
名古屋利友会	〒 461-0001	愛知県名古屋市東区泉1-22-22	TEL. 052-951-8541
大阪利友会	〒 550-0005	大阪府大阪市西区西本町1-13-47 新信濃橋ビル	TEL. 06-6531-3886
広島利友会	〒 730-0044	広島県広島市中区宝町1-20	TEL. 082-545-7500
四国利友会	〒 760-0062	香川県高松市塩上町2-8-19	TEL. 087-835-1153
九州利友会	〒 810-8502	福岡県福岡市中央区白金2-13-12	TEL. 092-525-0350
全国利友会合同事務局	〒 104-0031	東京都中央区京橋2-8-4-301	TEL. 03-3561-5332

「現場見学」、「出前講座」、「インターンシップ」などのご協力致します。詳細は以下を検索のうえ、ホームページをご覧ください。
採用等に関しては各支部宛にお問い合わせください。

 戸田建設全国利友会

利友会

検索

TBS系報道番組
「サンデーモーニング」で
～2019年
TVCM放送中!

YouTubeの
公式チャンネルでも
公開中です



その一本の線から、
街は生まれる。

2018～2014年度
1級建築士 学科+設計製図試験

全国ストレート合格者合計 8,080名中/
総合資格学院受講生 5,004名

全国ストレート合格者の6割以上は
総合資格学院の受講生!

61.9%
合格者
占有率
(2018年12月24日現在)

2018～2014年度
1級建築士 設計製図試験

全国合格者合計 18,464名中/
総合資格学院受講生 10,427名

全国合格者のおよそ6割は
総合資格学院の受講生!

56.5%
合格者
占有率
(2018年12月24日現在)

2018～2014年度
1級建築士 学科試験

全国合格者合計 23,360名中/
総合資格学院受講生 11,804名

全国合格者の2人に1人以上は
総合資格学院の受講生!

50.5%
合格者
占有率
(2018年9月4日現在)

総合資格学院は
1級建築士試験も
2級建築士試験も
「日本一」の合格実績!

No.1

おかげさまで
「1級建築士も2級建築士も合格実績日本一」を達成しました。
これからも有資格者の育成を通じて、
業界の発展に貢献してまいります。

総合資格学院 学院長 岸 隆司



2018年度 2級建築士 設計製図試験

資格取得スクールとしてNo.1の

合格実績を達成しました!

総合資格学院当年度受講生合格者数

2,179名

全国合格者54.0%に対して総合資格学院
が達成当年度受講生合格率

87.1%



8割二席・8割四席棟出・棟出試験2ラックA
達成当年度受講生703名中 合格者612名
(2018年12月16日現在)

建設業界研究
セミナー

全学年対象

開催費用
無料



授業1コマまたは2コマ、
貴校教室をお借りして実施!

建設業界の仕事内容・職種 / 業界の動向
地元企業の採用情報 / 役立つ資格 / 企業紹介 など

他、ビジネスマナー講習や保護者向けセミナーなど
先生方のご要望に応じ、最適な内容をご提案します!

2級建築/土木施工管理技士

合格支援サービス ―すべて無料―

在学中から2級建築 / 土木施工管理技術検定学科
試験合格をめざす学生を対象に、ガイダンスを実施!

当学院オリジナルの学習教材を見本として
献本。副教材としてご検討ください。

大好評「無料学科模擬試験」
日々の学習成果を客観的に把握。
試験結果通知票で弱点を分析!



各種お申し込み・ご相談は
当学院、学校法人課まで

お気軽にお問い合わせください!

学校法人課TEL.03-3340-2812 MAIL.kenchiku@shikaku.co.jp



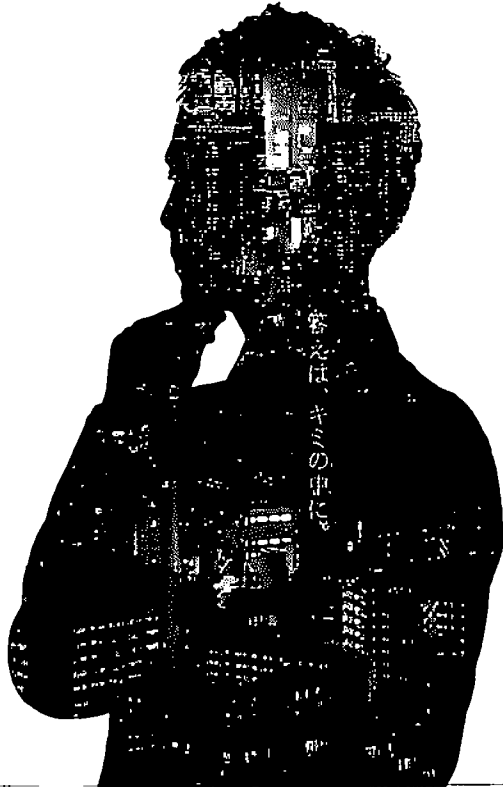
総合資格学院

スクールサイト
コーポレートサイト

www.shikaku.co.jp

www.sogoshikaku.co.jp





まっすぐ。

建築CAD検定試験は、CADの操作技能レベルを客観的に判断し、社会に証明するもので全国の教育機関で採用されるのが国最大のCADの実技検定試験です。

また、ジュニアマイスター顕彰制度の対象になっており、高校生による受験も昨年は3,872名に上り、ここ数年増加傾向にあります。

試験はすべて実技試験で、一定の建築知識をもとに与えられた条件のもと建築一般図を完成させる、あるいは課題図面を正確にトレースするなど、CADのスペシャリストとして認定されます。

今や84,000余名の有資格者が社会の第一線で活躍しており、年々CAD技術者のニーズが増え続ける中、当試験に対して有能な人材確保を目指す多くの産業界からも熱い注目を集めています。

ジュニアマイスター顕彰制度の得点

准1級	2級	3級	4級
20点	12点	4点	2点

※「令和元年度前期区分表」より

建築CAD検定試験 実施概要

受験方法

団体受験

試験日

1・4・7・10月(年4回)

※准1級は10月のみ

受験会場

全国の教育機関にて実施

一般受験

4・10月(年2回)

全国主要都市の認定会場にて実施

※各回毎に異なりますので願書にてご確認ください。

平成30年度技能表彰制度 表彰校のご紹介(高校の部)

- 最優秀団体賞/≪2級≫ 長崎県立長崎工業高等学校(第75回) 島根県立出雲工業高等学校(第73回)
- ≪3級≫ 新潟県立上越総合技術高等学校(第72回)
- ≪2級≫ 北海道帯広工業高等学校(第75回) 神奈川県立藤沢工科高等学校(第74回)
- 長崎県立大村工業高等学校(第73回) 佐賀県立鳥栖工業高等学校(第72回)
- 優秀団体賞/≪3級≫ 広島県立広島工業高等学校(第74回・第72回)
- ≪4級≫ 高知県立高知農業高等学校(第75回) 筑紫台高等学校(第75回)
- 山梨県立笛吹高等学校(第75回) 佐賀県立鳥栖工業高等学校(第74回)
- 岩手県立水沢工業高等学校(第73回) 群馬県立前橋工業高等学校(第73回)
- 石川県立小松工業高等学校(第72回)

◆試験の詳細についてはホームページをご覧ください ☞ <http://www.aacl.gr.jp>



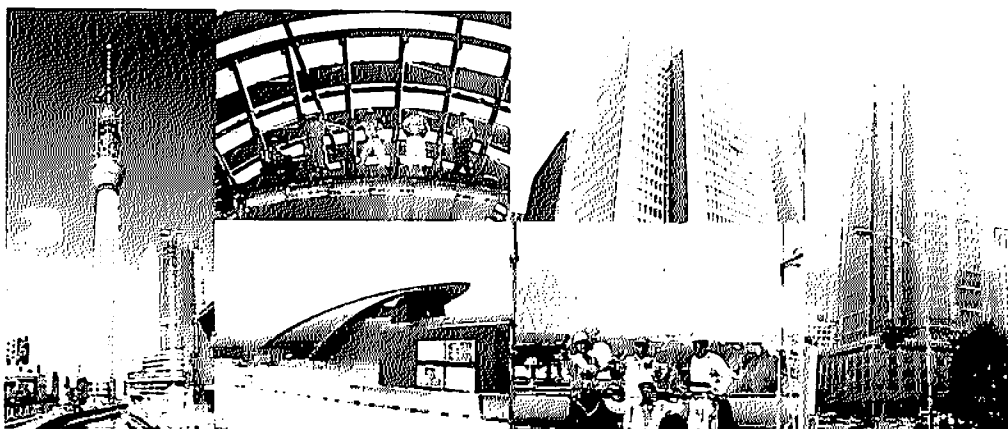
主催

一般社団法人
全国建築CAD連盟 試験センター

(本部) 〒461-0008 名古屋市東区武平町5-1 名古屋栄ビルディング7階 TEL. 052-962-5544 / FAX. 052-962-5570 [E-mail] info@aacl.gr.jp

東京都知事認定

株式会社 鈴木組 ・ 鈴木職業訓練校



「とびを^た架設工^に変える!!」

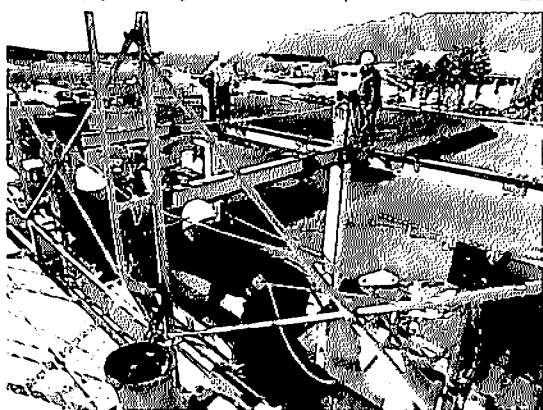
当社は建設業専門業種 鳶の職人の会社です。平成 6 年 東京都知事認定職業訓練校「建築施工系とび科」を開校し、現在 25 期生の新卒者（高校・大学・専門学校）が入社して 1 年間 訓練校にて、座学・実技の授業（訓練）を受け 2 年目から現場で活躍出来る様、取得可能な玉掛技能講習・クレーン運転 5 t 未満特別教育・研削といし特別教育の資格取得をしています。

訓練校での授業内容

学科	普通学科	48 時間	実技	系基礎実技	188 時間
	系基礎学科	344 時間		専攻実技	824 時間
	選考学科	202 時間			
計 1606 時間					

【最近の主たる当社施工実績】

- ・新タワー(東京スカイツリー) 2012.4 竣工
- ・パレスホテル 2012.4 竣工
- ・ロジポート相模原 2013.8 竣工
- ・イオンモール幕張 2013.12 竣工
- ・虎の門ヒルズ(環二)2014.4 竣工
- ・新宿駅新南口ビル及びバスタ新宿 2014.3 竣工
- ・大手町二丁目地区再開発施設建築物建設工事 2018.5 竣工
- ・浜松町駅前プロジェクト 2018.7 竣工
- ・オリンピックアクアティクスセンター2019.6 建設中 他



富士教育訓練センターでの鉄骨建方実習

株式会社鈴木組（本社）

〒113-0022 東京都文京区千駄木 3-43-3

電話：03-3822-1785 FAX：03-3822-1787

鈴木職業訓練校

〒121-0012 東京都足立区青井 4-44-20

電話：03-5681-1833 FAX：03-5681-1833

建築設計・製図CAD

DRA-CAD18

クラウドでつながる モバイルにつなげる 情報が繋がる

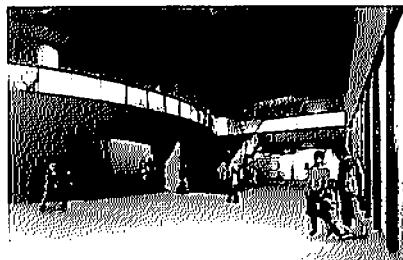
シンプルで自由度の高い国産の建築設計・製図CAD。

建築の企画から生産、運用までのあらゆる場面を強力に支援します。

※教育版価格は別途お問い合わせください。

》 設計支援

日影・天空率や、面積表、採光、構造、電気設備コマンドも標準装備です。



データ提供：株式会社桑・伊藤設計 様

》 操作性

直感的な操作を可能にする、画面デザイン、メニュー構成でスマートに操作できます。レイヤーはサムネイル表示で分かりやすく操作できます。

》 互換性

PDF入出力をはじめ、AutoCADやJw_cadとの互換性に優れています。さらに、BIMやSketchUpのデータも利用できます。

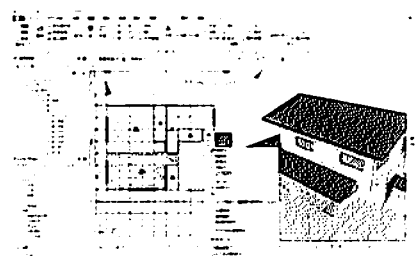
建築設計プラットフォーム

i-ARM

建築の企画・基本設計の段階でデザイン検討から法適合確認、設計図書作成が可能な3次元の建築設計ソフトウェアです。

直観的なユーザーインターフェースで3Dモデリングを行い、多彩なビジュアル表現で設計情報を確認できるので、頭の中にあるイメージをスムーズにかたちにすることができます。

建築オブジェクトで構成される立体モデルを軸に、建築法規制確認や環境解析、各種設計図書の作成やプレゼンテーションなど、企画・基本設計の一連の作業に必要とされる機能が充実しています。



株式会社 **建築ピボット**
(構造システム・グループ)
<https://www.pivot.co.jp/>

本社営業 〒112-0014 東京都文京区関口2-3-3 TEL 03-6821-1691 FAX 03-5978-6215

大阪支社 06-6232-0760 札幌営業所 011-218-6628 仙台営業所 022-267-2811 名古屋営業所 052-583-0350 福岡営業所 092-716-9311

高度な解析をより高速に解りやすく

任意形状立体フレームの弾塑性解析

SNAP Ver.7

SNAPは、任意形状の構造物に対する部材レベルの弾塑性の動的応答解析、応力解析、増分解析を行うソフトです。優れた操作性と高度な解析機能を備え、データ入力から解析結果の表示・出力まで、スピーディーに行えます。解析を行う構造物の規模・データに制限はなく、マルチコアCPUを活用して複雑な構造物を高速で計算します。豊富な自動計算機能により効率よく解析モデルを作成し、多彩な出力機能により解析結果を視覚的に把握できます。超高層建物、制振構造、免震構造や木造など各種構造物の設計や耐震診断・補強に対応できる機能を備えています。

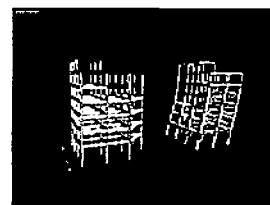
※教育版価格は別途お問い合わせください。

解析結果のアニメーション表示ツール

関連製品

SNAP-GP Ver.2.5

SNAPの動的応答解析および増分解析の履歴をワイヤーフレームや3Dソリッドモデルで再現し、変形状・部材の損傷状態を容易に把握することができます。

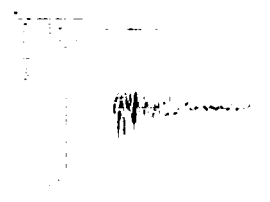


模擬地震波作成

関連製品

SNAP-WAVE

地震波の解析、模擬地震波作成、等価線形化解析(SHAKEの方法)による地盤増強計算を行います。作成した地震波時刻歴データはSNAPで利用できます。



株式会社 **構造システム**
URL <https://www.kozo.co.jp/>

本社営業 〒112-0014 東京都文京区関口2-3-3 TEL 03-6821-1311 FAX 03-5978-6215
大阪支社営業 〒541-0041 大阪市中央区北浜1-1-10 TEL 06-6203-2430 FAX 06-6203-4117
札幌営業所 TEL 011-218-6628 仙台営業所 TEL 022-267-2811 名古屋営業所 TEL 052-583-0350 福岡営業所 TEL 092-716-9311

教職員の皆様!

全国の工業高校で多数使われている、資格合格への必携テキストをご案内します。

全国全ての都道府県で採用頂いております

○2級建築施工管理技士 学科テキスト

全面カラーで構成された「目で見て覚える受験テキスト」です。過去の本試験問題を中心とする長年の蓄積されたデータを基に徹底分析し、学科試験受験対策用教材としてまとめたものです。

- ・はじめに、目次、試験問題の構成
- ・第1章 施工・共通
- ・第2章 施工管理法
- ・第3章 法規
- ・第4章 建築学
- ・第5章 実地

**全面カラー
目で見て覚える
受験テキスト!**

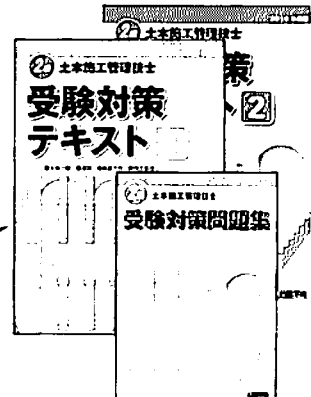


○2級土木施工管理技士 学科テキスト

試験に合格することを第一の目標に、過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集しています。NOTE欄に、出題頻度・ポイント・用語・注意・参考等を記載したわかりやすいテキストです。

- ・はじめに、目次
- ・第1章 土木一般
- ・第2章 共通工学
- ・第3章 法規
- ・第4章 施工管理
- ・第5章 専門土木

**試験に合格の
エッセンスを
凝縮!**

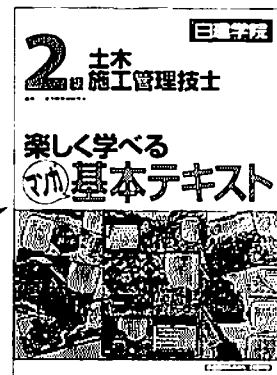


○2級土木施工管理技士 マンガ基本テキスト

土木の内容をあまり理解していない人や、はじめて土木の勉強をしようとしている人のための、目で見て学習できる、わかりやすいテキスト。難しい用語や理解し難しい内容も、楽しく読むことで、理解力はアップ!

- ・はじめに、目次
- ・第1章 土木一般
- ・第2章 専門土木
- ・第3章 法規
- ・第4章 共通工学
- ・第5章 施工管理

ついに解禁!



日建学院

お問い合わせは、お近くの日建学院、または法人部までお問い合わせください。
(株)建築資料研究社(日建学院) 営業本部 法人部学校担当
TEL.03-6872-1158

**1級建築士
合格実績 No.1**

どれどれ？

俺でも受けられるの？

将来の為に今から資格を取っておこうと思うんだ！



建設業経理検定

これ！

高校生が在学中に取得できる

業界注目のシ・カ・ク

俺も受けてみようかな



うん！私がんばる！



・多くの建設企業が欲しい人材！

・一生モノの資格を今すぐ手に入れよう！

・ジュニアマイスター顕彰の対象資格！

“プロ”への一歩を踏み出そう！！

建築・電気工事 施工管理技術検定試験

施工管理技術検定試験

<http://www.fcip-shiken.jp/>



可能性は無限大∞！！

建設業経理検定

建設業経理検定

<https://www.keiri-kentei.jp/>



建設業の魅力がたっぷり♡

見る。知る。働く。
建設産業のJobポータル



建設現場へGO!

一般財団法人 建設業振興基金